

第六十九回
帝國議會
貴族院

米穀自治管理法案特別委員會議事速記録第二號

昭和十一年五月二十一日(木曜日)午前十時十八分開會

○委員長(子爵片桐貞央君) ソレデハ是カラ懇談會ヲ閉ヂマシテ、會議ヲ開キマス

○松村眞一郎君 私ハ此ノ米穀自治管理法案ヲ廻ッテ産業組合ニ對スル、所謂反産運動ト云フヤウナコトガ、片方ニ行ハレテ居リ、一方商人側ニ於テ此ノ法案ノ本當ノ意味ヲ理解スルコトノ不十分ナルニ基ク不安ノ觀念モアルヤウニ思フ、ソレデ卒直ニ申シマスト云フト、行懸リニ依ッテ出來テ居ル案ノヤウニ私ハ思フノデアリマシテ、若シ農林大臣ガ從來ノ行懸リト云フモノニ捉ハレズシテ極ク端的ニ此ノ案ヲ御取扱ニナッタ場合ニ於テハ、此ノ法律ノ名稱ガ初メカラ私ハ變ッテ來タモノト考ヘル、ソレハ米穀自治管理法案デハナクシテ、少クトモ過剰ト云フ文字ヲ頭ニ附ケラレタラウト思フ、過剰米自治管理法案デアル、何故カト申シマスト、前ニ出テ居ル米穀自治管理法案ノ規定カラ、今度ハ重要ナ規定ヲ除イテ居ラレル、ソレハ本會議デ大臣ガ説明サレタノデ、大體盡シテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ際ニモマダ拔ケテ居ルコトガアル、例ヘバ農業

第四部第九類 米穀自治管理法案特別委員會議事速記録第二號 昭和十一年五月二十一日

貴族院

倉庫ト云フコトハ、大臣ハ仰ッシャッテ居ナイガ、農業倉庫ノ問題モ拔ケテ居ル、前ノ案ハ米穀ト云フ、一般的ノ米穀ト云フ名前ヲ被セテモ餘リ惡クナイト云フヤウナ内容ヲ持ッテ居ッタ、ソレハ過剰米穀ニ非ラザル普通ノ米穀ニ付テノ問題ガ規定シテアッタノデアリマス、ソレハ産業組合ノ平均賣リノ規定、是ハ過剰米穀デハナイノデアアル、ソレカラ過剰ト云フコトヲ解イテシマヘバ、モウ過剰米穀デハナイ、解イタ場合ニ於テ、最高米價ト最低米價トノ間デ賣ラセルト云フコトモ是ハ過剰米穀デハナイ、ソレハ又或意味ニ於テハ價格調節ノ意味デアッテ、政府ガ最高、最低ノ價格ヲ決メタ場合ニ、ソレガヨク徹底スルヤウニト云フ意味ニ於テ、中間デモ賣ラセルト云フノデアリマスカラ、是ハ重大ナル使命ヲ持ッテ居ル規定デアアル、ソレデ平均賣リト云フノハ數量調節ノ規定デアアル、米穀統制法第四條ニ於テ其ノ事ヲ規定シテ居ルノデアリマスカラ、ソレニ相應シタル施設ヲヤラシメヨウト云フコトノ規定デアリマスカラ、是レハ非常ニ重大ナル規定デアアル、其ノ上ニ産業組合ノ強化ノ思想ガ入ッテ居ル、ソレハ全國的ニ産業

組合ニ依ッテ、此ノ統制法ノ仕事ヲヤラセヨウト云フコトノ意味ガ入ッテ居ッタノデアリマス、ソレカラ先程申シタヤウニ、農業倉庫ノコトモ書イテアリマス、サウ云フモノヲ示シタ法律デアアルガ故ニ、米穀自治管理法案ト云フ名前ガ相應シイト思フガ、所ガ此ノ今申シタヤウナ重要ナル使命ト云フモノハ、スッカリ削ッテシマッテアル、今度殘リマシタモノハ、是ハモウ過剰米穀ノ自治管理ノミデアリマス、若シ之ヲ立法ノ初メニ於テ、サウ云フ内容ノアル法律ヲ茲ニ作ルトスレバ、ドウシテモ其ノ表題ハ過剰米穀ト書カナクチャイカヌ、何故書カナイカト云フコトニナルト、ソレハ從來ノ行懸リカラ來テ居ル、衆議院デ内容ヲ修正サレタヤウニ……併シナガラ其ノ内容ガ修正サレルナラバ、其ノ内容ニ相應シイ表題ニ改メラレベキダト思ヒマスガ、ソコニハ觸レナカッタ、ソコデ今米穀商ノ非常ニ恐レテ居ルノハ、是ハ風聲鶴唳デアルカモ知レマセヌガ、併シナガラ政府ハ名稱ハ矢張り同ジニシテ、ソレデ進ンデ行クト云フ所ニ、矢張り前ノ案ト同ジヤウナコトヲ、法律以外ニ於テヤルノデアラウト云フ不安ガ私ハ起ルデアラウト思

フ、既ニ政府ノ心持ガ案ヲ改メテ居ル以上ハ、從來ノサウ云フ内容ニナイコトヲ、之ヲ法律制度デヤラウト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルモノデアルト云フヤコトニ、想像セシメルト云フヤウナコトハ、是ハ此ノ際避ケラレタ方ガ宜イト思フノデアリマスガ、遺憾ナコトニハ名稱ガサウナッテ居ルト云フコトガ、私ハ此ノ法律案ノ一大不備デアルト思フ、ソレガ爲ニ非常ナ不安ヲ起シテ居ル、米穀商人ノ間ニ、是ハ過剰米穀ト云フコトデ宜シイ、此ノ法案ハ非常ニ條文ガ澤山アリマスケレドモ、是ハ極ク簡單ナモノデアッテ、皆米穀統制組合ノコトバカリ書イデアリマス、サウ云フヤウナ問題デアリマスカラ、條文ハ多數アッテモ、其ノ内容ハ過剰米穀ノ處置ニ過ギナイ、尙之ヲ結晶ニシテ申シマスレバ是ハ此ノ附則デモ宜シイ、附則ノ第二項ダケデモ宜シイ、ソレダケノ法律ヲ出セバ宜イノデアッテ、私カラ申シマスコンナモノハ要ラナイ、内地ト朝鮮ト臺灣トノ間ニ於テ過剰米穀ノ協定ヲ分ト云フヤウナコトデ御互ニ個々ニ保管スルト云フコトサヘ出シテ置ケバ、ソレデ宜

シイ、其ノ外私ハチットモ要ラスト思フ、附
則ノ第二項ノ一ツ出セバソレデ總テ問題ハ
解決シテシマフ、元來米穀對策調査會デス
カ、其ノ調査會ヲ設ケラレテ、非常ニ審議
ヲ重ネラレタノデアリマシテ、其ノ答申ニ
依ッテ茲ニ其ノ儘實ハ法律ニ書カレテ居ル
ヤウデアリマスガ、是ハ政友會モ民政黨
モ、總テ黨ノ内部ニ於テハ研究ニ研究ヲ重
ネテ、サウシテ各方面ノ方々モ御集リニナ
リ、御役人ノ方々モ智慧ヲ絞ッテ御作リニ
ナッタ結果、色々ノ事情モアリ、複雑多岐ニ
互ッテ、茲ニ結唱シ來タモノデアルト思
フ、私ハ當時役人デモアリマセヌシ、委員
デモ何デモアリマセヌカラ、此ノ問題ノ經
過ニ付テハ全然干與シマセヌガ、兎モ角外
部カラ見マシテモ、苦心慘澹ノ結果出來タ
モノデアル、ダカラソレヲ唯極ク素直ニ取
容レテ出來テ居ル案ガ米穀自治管理法案デ
アラウト思フ、所ガソレガ議會ニ來マス
ト、矢張り是ガ修正セラレナケレバナラ
ヌ程、實ニムツカシイ案デアルト云フコト
ハ、モウ世間ガ能ク承知シテ居ル、併シナ
ガラ要點ハ何處ニ在ルカト言ヘバ、外地米
ノ統制ト云フコトガ唯一ツノ要點デアル、
其ノ外ノモノハ總テ附隨ノ問題デアルト私
ハ思フ、ソコデ此ノ外地米ノ統制ヲスルト

云フコトヲ機會トシテ、産業組合ヲ強化ス
ルト云フ必要ハ、私ハ少シモナイト思フ、
産業組合ハ平素ニ於テ強化シテ宜イノデア
リマスカラ、此ノ機會ニ産業組合ヲ強化ス
ルト云フ、別ノ運動ガ茲ニ入ルト云フト、
本體ヲ傷ケルト云フコトニナル虞ヲ非常ニ
私ハ感ズル、私ハ農林省ノ産業組合ノ指導
方針ニ付テ、餘程御考ヲ願ハナケレバナラ
ヌト思フト同時ニ、元來米穀問題ヲ廻ッテ居
ル政府ノ態度ヲ私ハ宜クナイト思フ、ソレ
ハドウ云フ意味カト云フト、今日モ農林大
臣ガ出席セラレテ居リ、農林大臣ダケガ引
受ケテ居ルト云フ態度デアル、所ガ米穀政
策ハ農林大臣ダケデハ到底出來ナイ、殊ニ
自治管理法案ハ昨日モ申シタ如クニ、六割
五分ト云フ大ナル責任ハ拓務大臣ニアル、
其ノ本家ノ方ガ餘リ積極的ニハ説明ヲシナ
イ、質問ニ應ジテハ説明サレマセウ、併シ
案ニ對スル態度ガ農林省ヲシテ唯之ヲ取扱
ハセテ居ルト云フ關係ニナル、ソレカラ例
ヘバ其ノ會計ノ問題ト云フヤウナモノヲ茲
ニ非常ニ伴ッテ居ル譯デアリマスガ、會計ノ問
題ハ其ノ次ニ申シマスガ、ソレカラ内務省ニ
モ關係シテ居ル、ソレハ貯藏米穀ノ關係ニ於
テ、備荒貯蓄ト云フ思想ガ起ルト云フコトデ、
是ハ農林省ノ經濟問題ヲ離レタ問題デアッ

テ、是ハ内務省ノ救恤ト云フコトノ思想カ
ラ來ル問題デアリマスカラ、内務大臣モ之
ニ付テハ相當御考ニナラナケレバナラス、
穀貯藏ハヤッテ居ルノデアリマスカラ、先年
議會ノ協賛ヲ經テヤッテ居ル、郷藏ト云フヤ
ウナ問題モ、是ハ御下賜金ヲ戴キマシタノ
ヲ基礎ニシテ御造リニナッテ居ルノデアル
ガ、是ハ農林大臣ト内務大臣トノ主管ノ事
項デアル、兩大臣ノ主管ノ事項ニナルト、
ソコニ熱ガ兩方共入ッテ居ナイト云フヤウ
ナ感じガスル、ソレト同じ意味ニ於テ米穀
問題ハ内地、外地ノ關係ガアルト云フコト
ニ依ッテ、内地、外地協力ヲシテ、非常ニ強
ク強調セラレナケレバナラスノニ拘ラズ、
農林省ノミ非常ニ力ミ返ッテ居ッテ、昨日申
上ゲタ如ク、統制法ノ第四條ガ施行サレテ
居ルカ、居ラナイカト云フコトモオ構ヒナ
シニヤッテ居ラレルヤウデアリマスガ、是ハ
此ノ言葉ハチヨットソコデ止メマスガ、統制
法ノ第四條ノ規定ハ朝鮮・臺灣ニ於テ行ハレ
テ居ルヤ否ヤト云フコトヲ、農林省ト拓務
省ト法制局ト能ク御相談ニナッテ、ソコヲ明
確ニ、此ノ委員會ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイ、
其ノ意味ハ實ハ其ノ御答ガドツチデアッテモ
私ハイカナイト思フ、施行サレテ居ルトス
レバ朝鮮總督、臺灣總督ハ、凡ソ朝鮮ニ施

行サレ、臺灣ニ施行サレタモノニ付テハ、
職權ハ大體ニ於テ統一シテ仕事ヲサセルト
云フ意味ニ於テ今ノ法制ノ建前ガアルノデ
アリマスカラ、朝鮮總督、臺灣總督ガ其ノ
米穀調節ノ事務ニ當ラナケレバナラスト思
フ、若シ施行シテ居ナイトスレバ、施行セ
ラレザル法律ト云フモノヲ取扱ッテ、朝鮮、
臺灣ニ於テ農林省ガ仕事ヲシテ居ルト云フ
コトハ、何レニシテモ行政ノ實際ニ於テハ
惡イガ、唯施行サレテ居ルカ居ナイカト云フ
コトヲ能ク確メテ置クト云フコトガ必要デ
アル、併シドツチデモ實際ニ於テハ惡イト
思フ、其ノ答辯ガ何レデアッデモ、行政ノ實
際ニ於テハドツチデモ惡イ、サウ云フコトハ
今日、近時ニ於ケル時弊ト云フモノハ、法
律秩序ト云フモノニ付テノ認識ガ鈍ッテ居
ルト云フ所ニ非常ナ弊害ノ源泉ガ茲ニ横
ハッテ居ルノデアリマスガ、其ノ一ツ事例
ガ米穀問題ニ於テ非常ニ重大ナルコトヲ示
シテ居ル、會計ノ問題ニ付テモ米穀自治管
理法案ニ限ラズ、色々ノ問題ニ付テハ特別
會計ノ負擔トスト云フコトガ書イテアル、
總テ何デモ特別會計ニ持ッテ行ク、所ガ特別
會計ト云フモノハ借金會計デアアル、サウ
シテ一方ニ於テハ穀ノ貯藏ヲスルトカ、或
ハ郷倉ヲ建テルトカ云フヤウナ場合ニハ無

料デ米ヲズン、讓與スル、借金デ米ヲ買ッテ置イデ、其ノ米ヲ只デ讓與スルト云フ觀念ガ普通ノ經理狀態ニ於テハ出テ來ナイ觀念デアル、サウ云フコトヲオ構ヒナシニ、ソレハ私ハ大藏省モ大イニ説明セラレナケレバナラスト思フ、大藏大臣ハ餘リ熱心ニ説明セラレナイ所ニ、米穀問題ト云フモノハ、實ニ職責ト云フ關係ニ於テモモウ少シ緊張シテ藏カナケレバナラスト云フコトヲ私ハ痛切ニ感ズル、ソレカラ尙會計問題ノ議論ノ續キトシテ申上ゲマスルノハ、前ニ臨時米穀移入調整法ト云フ法律ヲ作ラレタ、此ノ法律ハ昭和十年三月三十一日マデ買入ヲ行フコトヲ得ル規定デアル、朝鮮米及臺灣米ヲ……ソレデアリマスカラ此ノ法律ハモウ働カナイコトニナツテ居ル、此ノ規定ニ據テ買ハレタ米ノ跡始末ヲ爲サラナケレバナラストセウ、ダカラソレニ對スル金ノマダ後始末ヲサレル關係上特別會計ノ考慮ヲセラレル必要ガアルト思ヒマス、併シナガラ此ノ移入調整法ヲ施行スル爲ニ政府ハ米穀ノ會計ニ於テ一億五千萬圓ト云フモノヲ増額サレタ、主トシテ其ノ理由デ増額サレタ、サウシマス云フト、法律ガ消滅シタナラバ其ノ一億五千萬圓ノ後始末ヲ茲ニ明瞭ニサレナケレバナ

ラスト私ハ思フ、此ノ法律ノ爲ニドノ位金ヲ使ツテ居ルカ、サウシテ將來此ノ位ノ金ガ要ルト云フコトニナレバ、其ノ計算ヲ先ヅ明ニシテ、然ル上ニ新シク支給スベキ方面ニ支給スルト云フコトニナラスト云フト、ソレヲ理由トシテ議會ノ協賛ヲ經テ一億五千萬圓ノ増額ヲシテ置キナガラ、其ノ法律ガ無クナツタ場合ニ於テ其ノ後始末ヲ何等報告ヲシナイト云フヤウナコトデ米穀ノ特別會計ヲ處理サレルト云フコトハ私ハヲカシイト思フ、總テ其ノ米穀問題ヲ廻ッテノ政府ノ行政ノヤリ方ト云フモノハ私ハ餘程此ノ際ニ、殊ニ此ノ時勢ノ關係カラ申シマシテモ緊張セラレナケレバナラスト私ハ思フ、ソコデ内地ト外地トノ間ニ於テ餘程考ヘナケレバナラスト問題ハ、其ノ意味ニ於テ非常ニ重要ニナルコトハ、役所ノ間ノ權限爭議ト云フコトガ始終行ハレル、ソレハ兩方共繩張ヲ爭ッテ行ク、兩方共職務ニ忠實ナル餘リ兩省カラ手ヲ著ケルト云フ問題ガ起ル、之ヲ米ニ關係シタ問題デ云ヘバ、例ヘバ耕地ノ改善ヲヤラウト云フコトニナルト、耕地ノ改善即チ耕地整理ノヤウナコトヲヤラウ、用排水ノ幹線工事ヲヤラウト云フコトヲ農林省デ茲ニ計畫スルト云フト、内務省ハ小河川トシテ自分ノ方デヤラウト

云フコトニナル、ソレハ積極的ニ權限ノ爭ガ矢張りソコニ行ハレル、其ノ權限爭ノ終了スル迄ノ間ハ農地ノ改良ガ出來ナイト云フガ如キ狀態ニアル、是ハ積極的權限爭議デアリマス、ソレカラ消極的權限爭議ニナリマス、兩方共主管ノ事務ガ澤山アル、兩方共主管ノ事務デアッテ少シ面倒デアルト云フコトニナルト兩方共ヤラナイ、私ハ米以外ノ問題ニ付テ國家ノ重大ノ案件、サウシテ國民ガ非常ニ早ク解決シテ貰ヒタイト云ツタヤウナ問題ニ付テ消極的ニ權限爭議ガアルト云フコトハ、私ハハッキリ茲ニ或モノヲ申上ゲルコトガ出來マスガ、併シ是ハ米穀問題ニ關係ナイカラ申シマセス、ソレカラモウ一ツハ積極、消極ノ權限爭議ト云フモノガアル、ソレハ片方ハ爲スベカラザルコトヲ爲ス、ソレハ積極デアリマシテ、片一方ハシナケレバナラストヲ退却スル、爲スベカラザル方ハ進出シテ來テ片一方ハ退却スル、其ノ事例ガ米穀統制法ニ於テ私ハ行ハレテ居ルト思フ、農林省ハ已ムヲ得ズ朝鮮マデ出掛ケテ行キ、臺灣マデ出掛ケテ行クト云フコトハ是ハ積極的ノ進出デアルト私ハ思フ、ソレヲ朝鮮及臺灣ニ於テハ自己ノ職權トシテ爲スベキコトヲ退却シテ爲サナイ、是レ結局積極、消極ノ權限爭議

ト云フコトガ茲ニ現レテ居ルノデアッテ、斯クノ如キ事態ハドウシテモ明瞭ニサレルト云フ必要ガアルト私ハ考ヘル、ソレカラ此ノ米穀ノ統制組合ニ付テ同ジヤウナ法制上ノ疑義ヲ私ハ感ズル、ソレハ今度過剩米穀ヲ取扱ハシムル爲ニ米穀統制組合ヲ設ケルコトニシテアル、此ノ統制組合ニ米穀ノ統制ヲサセテ、サウシテ此ノ代行ヲ產業組合ニ行ハシムルト云フコトヲ米穀對策調査會ノ答申ノ中ニ書イテアル、書イデアリマスカラ、產業組合ヲシテ代行セシムルト云フコトヲ法文ニ現サレルコト迄ハ私ハ宜カラウト思フ、併シナガラ統制組合ノ本質ガ非常ニ強イ、此處ニ自治管理法案ニ書イデアリマスガ如キ強力ナル統制組合ヲ造リマシタ場合ニ於テ、產業組合ニ代行セシムルコトガ適當ナリヤ否ヤト云フコトハ、私ハ之ヲ法制上ノ見地カラ議論スル、今モ申シマシタ如ク、今日ハ法制ガ案レテ居ルノデアリマス、先ヅ法ノ秩序ト云フモノヲハッキリ尊重シテ總テノ施設ヲシナケレバナラスト、今度ノ二・二六事件モサウナンダ、ソレモ矢張り法律秩序ト云フコトノ問題ノ尊重ト云フコトガ矢張り重大ナ關係ヲ持ッテ居ル事件デアリマス、ソレト同ジ意味ニ於テ法律秩序ト云フコトヲ始終明瞭ニ考ヘテ、斯ウ

云フ法制ヲ立テナケレバイカスト私ハ思フ、所ガ此ノ米穀統制組合ト云フモノハ非常ニ強イ團體デアル、是ハ條文ヲ御覽ニナリマスレバ分リマスガ、第二十二條ヲ見マスト云フト、統制組合ト云フモノハ經費ヲ分賦シ、過怠金ヲ徴收スルコトヲ得ルコトニナツテ居ル、サウシテ此ノ經費及過怠金ノ滯納ガアツタ場合ニハ市町村稅ノ例ニ依ッテ之ヲ處分スルト云フ、サウシテ其ノ「徴收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徴收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル」ト、斯ウ云フ強イモノデアル、ソレカラ其ノ次ニハ朝鮮及臺灣ニ於ケル米穀統制組合ノ經費及過怠金ノ問題ハ命令ノ定ムル所ニ依ルトアリマスガ、其ノ次ニ更ニ非常ニ強イコトガアル、ソレハ經費ノ分賦及過怠金ノ徴收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟「朝鮮ニ於テハ異議ノ申立、臺灣ニ於テハ異議ノ申立及訴願ニ限ルト括弧ノ中ニ書イテ、」ヲ爲スコトヲ得「トアル、其ノ次ノ第二十三條ニハ、」統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵集スルコトヲ得「ト書イテアル、其ノ問題ニ付テハ第二十四條ニ、」本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民事訴訟

ヲ提起スルコトヲ得、或ルモノハ民事訴訟デ司法上ノ權利義務トシテ取扱フケレドモ、經費過怠金ノ如キモノハ、市町村稅ノ例ニ依ッテ之ヲ徴收スルコトガ出來ルト云フ規定ノアル非常ニ強イ是ハ團體デアル、此ノ團體ハ農會ト擇ブ所ガナイ團體デアル、是ハ公法的ノ團體ナンド、公法的ノ權力團體ノ代行ヲ産業組合ニヤラセルト云フコトソレ自身ガ法制上非常ナ問題ダト私ハ思フ、産業組合ハ斯ノ如キ權力團體ノ代理行爲ヲヤルト云フコトニ付テハ、是ハ餘程慎重ナル考慮ヲシナイト云フト、チョット是ハ手ヲ著ケラレナイ問題デアルト私ハ思フ、私ハ法制上ノ見地カラ言フ、産業組合ハドウ云フ本質ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ能ク見詰メテ、サウシテ助長獎勵ヲセラレナイト云フト、産業組合自身ノ本體ヲ傷ケルコトニナル虞ガアルコトヲ私ハ痛感スル者デアツテ、産業組合ノ將來ノ爲ニ非常ニ私ハ憂ヘル、ソレハ此ノ農會ト云フヤウナモノハ公法上ノ法人ト云フコトニナリマセウ、公法的ノ法人ト云フコトニナリマセウ、一番強イ團體ト云フモノハ是ハ國家、ソレカラ公共團體、ソレカラ公法人ト云フコトニナリマセウ、サウシテソレニ對立スルモノガ私法人、私法人ノ中ニモ公益法人ト云フモ

ノガアル、ソレガ私法人ノ中デハ一番公共ノコトヲ考ヘルノデアリマスガ、私法人ノ中ニ公益法人ト云フモノガアル、ソレカラ私法人中ニ營利法人ト云フモノガアル、是ハ商賣人ナド、株式會社ナドハ營利法人デアリマスガ、産業組合ハ其ノ中間ノモノデアル、私益法人デアル、私法人デアツテ私益法人デアル、私益法人デアツテ公益法人ニ非ザルト云フコトハ、是ハ産業組合ノ本質ニ付テ十分ナ認識ヲ私ハ缺イテ居ルヤリ方デハナイカト思フ、サウ云フコトヲ能ク御考ニナラナイデ、斯ウ云フ法制ヲ立テラレルト云フコトニナルト云フト、産業組合ハ唯勢力ノ擴張スレバ宜イト云フコトデ指導スルト云フコトハ自己ノ本質ニ非ザルコトノ指導ニ終ル虞ガ私ハアルト思フ、産業組合ハ元來何カト申シマススト云フト、私ハ此ノ問題ニ付テ少シ岐路ニ入ルヤウデアリマスガ、此ノ間商工中央金庫ノ法案ヲ商工大臣ガ本會議デ説明サレマシタ際、ナゼ同業組合モ其ノ中ニ入ッテ金融ヲ受ケルコトガ出來ナイノカト云フ一議員ノ質問ヲサレタノニ對シテ商工大臣ハ、是ハ商業組合ナドトハ本質ヲ異ニシテ居ルモノデアツテ、營業ノ弊害矯正ト云フ所ノモノデアラガ故ニ、中ニ入

ラサナイ、法人ノ本質ガ違フト云フコトニ答辯サレテ居ル、私モ確カニサウデアルト思フ、全然ハ營利ノ法人デヤナイノダ、ソコデ同ジ關係ガ此ノ米穀統制法ノ間ニモ出テ來ルノデアツテ、米ノ商人ノ作リマシタ統制組合ノ代行ノ機關トシテ商業組合ト云フモノト同業組合ト云フモノガ兩方共出來ルコトニナツテ居ル、是ハ自治管理法案ノ第五十四條ヲ見マススト云フト「米穀取扱業者ノ組織スル商業組合又ハ重要物產同業組合法若ハ朝鮮重要物產同業組合法ニ依ル同業組合ハ、」米穀商統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得「ト云フコトニナツテ居ッテ、此ノ問題ニ付テハ商業組合ト云フモノト、同業組合ト云フモノトヲ一律ニ見テ居ラレルト云フ所ニ商工中央金庫トハ違ッテ居ル、商工中央金庫デハ區分シテ書イテ居ル、併シナガラ茲ニハ一緒ニ書イテ居ル、ソレハ商業組合ハ、寧ロ是ハ産業組合系統ノ組合デアリマス、同業組合ハソレト趣キヲ異ニシテ居ル、ソレト同ジ關係ガ今度此ノ代行組合ニ付テモ生産者ノ作リマス方面ニ於テノ統制組合ニ付テモアルノデアリマス、ソレハ農會ト云フモノモ代行スルコトガ出來ルコトニナツテ居ル、産業組合モ代行スルコトガ出來ルコトニナツテ居ル、此ノ規定ハ

第二十八條ノ第一項ニ、販賣組合ガ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得ト云フコトガ第一項ニアル、ソレカラ第二項ニ於テ「販賣組合ナキ市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農會ハ」、「米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得」、斯ウ書イテ居ル、此ノ順序ガ私ハ間違ッテ居ルト思フ、統制組合ハ今申シマシタ如ク非常ニ強イ團體デアリマス、公法的ノ行爲、權力的ノ行爲ヲスルノデアリマスカラ、若シソレヲ代行セシムルナラバ先ヅ農會ニヤラセナケレバイケナイ、農會ナキ時ハ已ムヲ得ズ私益團體デアル所ノ産業組合ニヤラセルト云フ順序ニナラナケレバ、法制ノ立テ方トシテハ秩序ヲ紊ルモノデアルト私ハ思フ、サウ云フヤウナコトヲ眺メテ見マスト云フト、産業組合ガ統制組合ノ代行ヲスルト云フヤウナコトヲ米穀對策調査會ガ答申シテ居ルノハ、サウ云フヤウナ強制行爲ヲヤラセルト云フ意味ニ於ケル統制組合ヲ考ヘテ居ッタカドウカト云フコトハ、私ハ答申ノ中ニハ發見シナイ、訴願、訴訟ヲ許スト云フヤウナコトカ、市町村税ノ例ニ依ルトカ云フコト程強イコトヲ行ハセル意味ニ於テノ統制組合ヲ米穀對策調査會ガ考ヘタノデアルカドウカト云フコトハ、私ハ此ノ答申ヲ見テハ能ク明瞭ニサウ

云フヤウニハ思ハレナイ、サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、若シ産業組合ヲシテ本當ノ本質的使命ヲ完ウセシメ、農村ノ福利ヲ増進セシメ、健全ナル發達ノ爲ニ産業組合ヲ出來ルダケ機能ヲ發揮セシメルト云フコトヲシナケレバナラヌコトハ、是ハ當然ノコトデアル、産業組合ハ農村ニ於テ非常ニ必要ナル機關デアリ、其ノ意味ト此ノ統制ノ事務ト云フコトヲ行フ關係ノ統制組合ト云フモノヲ、サウ簡單ニ結付ケラレルト云フコトハ、私ハ餘程問題ダラウト思フ、サウ云フ譯デアリマスカラ、政府ハ此ノ産業組合ガ統制組合ノ仕事ヲ代行スルノハ、先ヅ萬已ムヲ得ザル場合デアツテ、原則トシテハ統制組合ヲ作ラシメルト云フ態度ヲ執ルノデナケレバ、私ハ此ノ法制ノ運用ヲ誤マルト云フコトヲ考ヘル、既ニ農會ト産業組合トノ順序ヲ誤ッテ居ル所ノ法制デアリマスカラ、誤ッタル法制ヲ正シク運用スルト云フコトハ非常ニムツカシイ、若シ是ガ此ノ儘通過スルトスレバ、法律ソレ自身ガ間違ッテ居ル、間違ッテ居ル法律ヲ今度正シク運用スルト云フコトハ、立法ノ際ニ間違ッテ居ルモノニサウ云フコトヲ期待スルト云フコトハ、私ハ非常ニムツカシイコトデアルト思ヒマスカ、サウ云フ意味ニ於テ御覽ニナラ

ナケレバ私ハイケナイと思フノデアリマス、茲ニ産業組合ヲシテ代行セシメルコトヲ便宜トスルガ如キ御考ヲ懷カレタノニハ、私ハ事實、實際上ノ茲ニ問題ガアルノデハナイカト思フ、ソレハ成ベク餘計ナ組合ヲ作ラセテ、農家ニ色々ナ經費ノ増加ヲ生ズルヤウナコトガナイヤウニト云フ親切心カラ出テ來テ居ル、私ハ御心持デアラウト思フ、是ハ能ク農村ニ於テハ色々ナ團體ガアリマスカラ、團體ヲモウ少シ纏メテ貫ヒタイト云フ所ノ要望ガアルソレハ尤モナ要望デアリマスカラ、其ノ親切ノ方ニ實際ニ頭ガ向イテ、法制ノ方ノ秩序ト云フコトハ幾ラカ御注意ガ薄クナッタノデハナイカト思フ、ソレハ昨日ノ答辯デモ私ハ能ク了解スルノデス、朝鮮ニ出掛ケテ行ッテ米ヲ買フヤウナコトニ付テモ、事實上ノ必要カラオヤリニナッテ居ルコトデアリマスカラ、是ハ内地ノ統制法ト云フモノヲ内地ニ於テ十分效力ヲ發揮セシメ、サウシテ國家ノ要求シテ居ル所ノ職責ヲ十分ニ御盡シニナル上ニ於テハ、是ハ已ムヲ得ナイ事柄トシテ其ノ行ハレタコトニ對シテハ、私ハ非常ニ御同情ハ致シマスケレドモ、ソレト同ジ關係ガ、矢張り此ノ代行ト云フ際ニ於テ御考ニナッテ居ルノデヤナイカト思フ、併シナガラ幾ラ團

體ヲ統制スルト申シマシテモ、性質ヲ異ニスルヤウナモノハ是ハ矢張り別ニシテ置カナケレバナラス、經費ヲ要スルト申シマシテモ必要ナル經費ハ矢張り負擔スルノ外ハナイノデアリマス、混同スベカラザルモノヲ經費ガ節約出來ルカト云ッテ一緒ニシテシマフト云フコトハ私ハ宜クナイと思フ、其ノ一ツノ例ハ先達ッテ農家ノ負債整理組合法ノ改正ノ際ノ委員會デ私ハ質問シタノデス、其ノ際ニ矢張り此ノ負債整理組合法ノ中ニモ信用組合ヲシテ負債整理組合ヲ代行セシメル規定ガアル、其ノ代行セシメル規定ヲ法律ニ置カレタノハ、矢張り産業組合ヲシテ出來ルダケサウ云フ仕事ヲ擔任セシメテ、餘計ナ組合ハ作ラセナイデ、濟メバ濟マセタイモノデアルト云フ深切心カラ出テ居ルト思フ、所ガ結果ハドウカト申シマスト、其ノ負債整理組合ガ、組合ノ總數ガ三千八百五十五アル中デア行組合ハ二ツシカナイ、三千八百五十五ノ中デア行組合ハ二ツシカナイ、信用組合ガタツタ二ツダケガ代行シテ居ル、サウスルト、假令代行ト云フコトヲ認メテモ、産業組合ハ自己ノ事業經營上堅實ヲ缺クト云フ仕事ハ引受ケナイト云フ所ニ、産業組合ガ非常ニ忠實ニ職務ヲ見ルト云フコトニ對シテ結構ナコトト

私ハ思フ、代行ハサセテモ、之ガ利益ニナ
ラナイ、自分ノ方ノ本質ヲ傷ケルト云フコ
トニナルト、法律ニハ書イテモ、タツタニツ
シカ出来ナイト云フ所ニ、産業組合自身ガ
餘程良ク分ッテ居ルガ、政府ノ方ハ分ラナ
カッタ、三千八百五十五アル中デニツシカ代
行組合ガ出来ナイ、サウ云フモノノ爲ニ法
律ノ條文ヲ作ルト云フコトハ私ハワカシイ
ト思フ、ニツ位ノモノナラバ、法律ノ條文ヲ
特ニ作ル必要ハナイ、又ナクテモ宜イ、信
用組合ノ代行ハ、併シナガラソコニ餘程御
考ニナラナケレバナラヌコトハ、産業組合
ガ爲スベキコトヲ爲シテ居ナイト云フコト
ガ一方ニ於テハ言ヘル、産業組合ガ御世話
ヲシテ、産業組合ノ組合員ノ中カラ、世話
ヲシテ負債整理組合ヲ作ラセルト云フコト
ニスル方ガ宜シイ、サウシテ足ノ弱イ組合
員ヲ別ニ産業組合ガ世話シテ負債整理組合
ヲ作ルト同時ニ、産業組合トノ連絡ヲ圖ル
コトニスル方ガ宜イノダガ、ソレハ随分面
倒ナコトデアルト同時ニ、算盤勘定カラ言
フト餘リ引合ハナイ、茲ガ私益團體トシテ
ノ機能ヲ或意味ニ於テ非常ニ發揮シテ居ル
所デ、此處マデ理解ガ付イテ居ルトスルト、
産業組合モ能ク分ッテ來タト云フコトヲ言ッ
テモ宜カラウト思フ、其ノ産業組合ニ、今

申シタ如ク權力的ノ行爲ヲヤラセルト云フ
コトニシク場合ニ、産業組合ガ引受ケルカ
ドウカト云フ問題モ考ヘナケレバナラス、
政府ハ深切ニ代行ノ規定ヲ設ケタガ、既ニ
負債整理組合ニ於テ政府ノ方ガ失態ヲ演ジ
テ居ル、拵ヘタケレドモ産業組合ノ方ガ引
受ケナカッタ、二十八條ノヤウナ規定ニ依ッテ
拵ヘテ見タケレドモ、産業組合ハ一向代行
ヲシナイ、農會モ代行ヲシナイ、所ガ米穀
商人ハ此ノ代行ヲ恐レテ居ル、恐レテ居ル
規定ヲ書イテ、風聲鶴唳ト申シマスカ、マ
ア或意味ニ於テ先ヲ見越シタ心配デ餘程運
動ガ行ハレテ居ルノデヤナイカト思ハレ
マスガ、サウ云フヤウナ規定ヲ此處ニ書
イテ産業組合ニ行ハセルト云フコトハ本
質上良クナイ、良クナイ規定ヲ置イテ、今
度ハ産業組合ガ行ハナカッタト云フコトニ
ナルト、此ノ米穀商人ヲシテ無用ナ心配ヲサセ
テ居ルト云フコトニ於テ、政府ノ方ニ於テ餘程
重大ナル御配慮ガ茲ニアルベキデヤナイカ、
所ガ其ノ問題ニ付テ商工大臣ノ説明ガナイ
ト云フコトハ、私ハ矢張り此ノ米穀問題ヲ
繞ッテ居ル主管大臣ノ間ノ御態度ガドウモ
私トシテハ餘リ敬服シ兼ねル、米商人ガ茲
ニ非常ニ心配シテ居ル、其ノ心配ハ主管大
臣タル商工大臣ニ於テ、心配ナシト云フコ

トヲ斷言セラレルナラバ、我々ハ米穀商ノ
關係ニ付テノ心配ノ程度ハ餘程輕クナルト
思フノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テノ政
府ノ御心持ヲ、農林大臣ニ御伺ヒスルノモ
如何カト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ關係
ニ付テ、今申シマシタコトノ中カラ、御答
辯セラル、ヲ適當ナリト考ヘラレタ部分ヲ
御答ヘ願ヒタイト思ヒマス
○國務大臣(島田俊雄君) 只今松村君ノ理
解アル御言葉ニ付テハ、法案ノ見方等ニ關
スル御意見ニ付キマシテハ謹ンデ拜承致シ
マス、御議論ニナリマシタヤウナ意味ノ、
御批評ト申シマスガ、御意見ニ對シマシテ
ハ、左様ナ見方カラ御話ガアリマスレバ、
ソレモ一ツノ有力ナ見方ダト斯様ニ考ヘテ
居ルノデアリマスガ、段々御話ニナリマ
スヤウニ、此ノ法案ノ成立ノ事情ハ相當ノ
沿革ヲ經マシテ茲ニ至ッタノデ、此ノ原案ガ
出来上ッタ次第デアリマスノデ、例ヘバ法案
ノ名稱等ニ關シテモ、御意見ノ點ニ付テハ傾
聽スベキモノガアルト考ヘテ居ルノデア
リマスガ、是等ハ御意見トシマシテ御聽キ
ヲ致シテ置キ、原案ニ付キマシテハ、原案
ノ建前カラ御考慮ヲ願ヒタイ、斯様ニ考ヘ
テ居ルノデアリマスガ、此ノ代行機關トシ
テ統制組合ト云フモノガ權力ヲ持つベキモ

ノデアッテ、松村サンノ所謂御言葉ニ依レバ、
權力團體デアルガ、之ヲ代行セシメル機關
トシテ、先ツ順序カラ云ツテモ農會ヲ先ニシ
テ、併シナガラ已ムヲ得ナイ場合ニハ産業
組合ニスル、斯ウ行クベキモノデハナイカ
ト云フ御議論モ、御意見トシテハソレハ筋
ノ立ツ御意見ダト思フノデアリマス、併シナ
ガラ事實ニ於テ地方ノ實情カラ考ヘマス、
矢張り御話中ニ御述ベニナリマシタヤウニ、
混同スベカラザルモノヲ、經費ノ節約ノ爲
ニ混同スルコトハ宜クナイデハナイカト云
フ御議論ハ正當ノ御議論ト考ヘル、又ソレ
ヲヤル場合ニハ順序ガ假令亂レテモ、其ノ
順ヲ逐ウテ行クベキデアルト云フ御議論ハ
其ノ通りト考ヘマスケレドモ、事實此ノ地
方ノ實情ト云フコトカラ考ヘマス、結局
斯様ナモノニナルヨリ外ニ途ガナカッタ
云フ事情デアッタト云フコトヲ御諒承願ヒ
タイト思フノデアリマス、ソレカラ只今ノ統
制法ノ第四條ノ規定ガ朝鮮ニ行ハレテ居ル
カ云々ト云フコトハ昨日モ御話ガアッタ思
ヒマスガ、是ハ政府委員ノ方カラ後ニ御答
ヘ申上ゲルコトニ致シマス、其ノ他大體此
ノ御意見ヲ拜聽致シマス、御意見トシテ
ハ之ニ對シテ反駁ヲ加ヘルトカ、或ハソレ
ニ對シテ辯明ヲスルト云フヤウナ點ニ付テ

へ、只今原案ノ説明ヲ致シマス機會ニ於キマシテハ、是ハ政府トシテ拜承シテ、御意見ニ對スル見解ニ付テハ差控ヘテ置クヨリ外ハナカラウト考ヘマスガ、多年ノ御經驗カラ、又實際ニ就テ、色々御承知ニ相成ッテ居リマス點カラノ御議論デアリマシテ、政府トシマシテハ御話ノ點ハ非常ニ啓發サレ、參考ニ相成ル點ノミヲ承ツタヤウニ考ヘ、其ノ點ニ對シマシテハ謹ンデ御禮ヲ申上ゲテ置キマス、唯此ノ法案ノ組立ガ御話中ニモアリマシタガ、御述ニナリマシタ御意見ノ中ニアリマシタヤウナ事情カラ、大體此ノ法案ガ出來上ツタト云フコトヲ御諒承下サイマシテ、此ノ原案ノ趣意ニ依リマシテ、之ヲ實行スルニ於テ誤リナキヲ期スルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、唯此ノ米穀商ノ産業組合ニ對スル關係カラ不安ヲ懷イテ居ルト云フ點ニ付キマシテハ是ハ私ハ餘リ多クハ述べマセスガ、色々ナ事情ガアルト思ヒマス、ソレカラ一言ニシテ申セバ米穀商側ノモノ、是モ御話ニナリマシタ、此ノ法案ヲ實行スル場合ニ代行機關トシテ産業組合ヲ用キルト云フ點カラシテ其ノ産業組合ノ活動ノ強化ト云フコトニナリ、サウシテソレガ組合ノ……衆議院邊リノ意見ニ表レテ居ル、不當ノ進出、脱法的ノ程度

マデ埒ヲ越エテ産業組合ガ行キハシナイカ、斯ウ云フ點カラ米穀商ガ脅威ヲ感ジテ居ル、法案ノ内容自體カラハサウ云フコトハ出テ來ナイノデアリマスガ、ヤリ方ニ依ッテサウ云フコトガ出ルデアラウ、出ハシナイカト云フ點ニ此ノ原因ガアルヤウニ思フノデアリマス、私ハ此ノ點ヲ強調シテサウシテ米穀商ノ恐怖ト云フカ脅威ヲヨリ深ク感ゼシムルヤウナ傾向モ或ハアツカモ知レヌト思ヒマスガ、此ノ法案ガ……私モ實ハ委員トシテ調査會等ニ關係ヲ致シテ居リマシタノデアリマスガ、調査會等ニ於テ論議ヲシタリ研究ヲ致シマス道程ニ於テハ、此ノ答申ニ表レテ居ル如キ意味ノコトハマア此ノ法案ニ盛ラレテ居ルノデアリマスガ、其ノヤウナ此ノ研究ノ道ニ於テハ之ガ米穀商ニ害ヲ與ヘル、脅威ヲ與ヘルト云フヤウナ意味ノ事柄ハ心配ヲシテ居ナカッタノデアリマス、唯此ノ法案ガ實施サレルニ至リマスト既ニ統制法ノ實施ノ爲ニ米穀取引所ト云フモノノ機能ヲ相當ニ弱メテ、此ノ法案ガ出來ルト一層取引所ノ機能ガ弱マル、其ノ點カラ申シマシテ取引所ニ對シテハ何トカ善後救済ノ處置ヲ執ルベキ必要ガアラウト云フコトヲ希望決議ノ中ニ加ッテ出サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ米

穀商ニ對シテ特別ナ脅威ヲ與ヘルト云フコトニ付テハ委員其ノ他關係シテ居リマス者ハ多クノ心配ヲ持ッテ居ラナカッタノデアリマス、唯是ガ事實法案トシテ議會ニ提案サレマシタ場合ニ於テ、其ノ問題ガ表面ニ表レテ來タ、ソレハ御話ノ通り私共モ左様解釋シテ居ルノデアリマスガ、産業組合ノ關係、之ガ不當進出ヲスルデアラウ、シハシナイカト云フ所ニドウモ胚胎シテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、本案ヲ審議致シマス際ニ成立チノ經過カラ見マスルト云フト、是モ質問中ノ御意見トシテ御述ニナリマシタヤウニ、是ハ矢張り此ノ現行統制法ニ對シテ過剩米穀ト云フ問題カラ内地・朝鮮・臺灣ヲ通ジテ過剩問題ヲ解決スルニアラザレバ結局米ノ問題ノ此ノ統制法ノ效力ヲ維持スルコトガ難シイ、斯ウ云フコトニ重點ガ置カレテ、ソレ等ノ點ガ主モニ論議サレタヤウナ次第デアリマシテ、從ッテ只今此ノ産業組合ニ對スル關係ト云フモノニ付キマシテハ是ハ法案實施ノ場合ニハ政府トシマシテ十分此ノ點ニ付テハ注意ヲ致シマシテ其ノ間ノ所謂米商トノ間ノ摩擦トカ、或ハ衝突ヲ避ケル、緩和スルト斯ウ云フ風ニ出來ルダケノ力ヲ注ガナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、

或ハ御質問ト云フモノニ對スル答辯トシテハ不適當カモ知レマセスガ、此ノ機會ニ於テソレダケノ政府ノ考ヲ申上ゲテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村眞一郎君 私ハ産業組合ト商人ト云フモノトノ關係ニ付テハ餘程親切ニ御指導ヲ願ハナイト云フト、國民ノ生業ニ付テノ不安定ヲ惹キ起スコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、私ハ商務局長トシテ、商ニ關スル御仕事ヲ仰セツカッテ居ッタコトガアリ、農務局長トシテ産業組合ノ助長ノ御仕事ニモ與ッテ居ッタ關係上、商ト農トノ職責ニ於テ痛感シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ關係カラ申シマシテ、兩方トモモウ少シ理解ヲシテ戴キタイト云フ感想ヲ深クスルノデアリマス、商工大臣、農林大臣ハ此ノ兩者ノ關係ニ付テ種々ノ御配慮ニナリ、御心配ニモナリ、此ノ法案ヲ進行セシメテ行ク上ニ付テ政府内部ニ於テノ色々ナ御打合せガアツタコトト私ハ思フノデアリマス、私ハ出來ルダケハキリシテ、善イ所ハ善イ、惡イ所ハ惡イト云フコトヲ能ク諒解セシメテ、其ノ諒解ノ下ニ行クベキ途ニ進マセルト云フコトガ私ハ一番宜イト思フ、産業組合ハ非常ニ必要ナコトデアッテ、農村ニ於キマシテハ、ドウシテモ産業組合

ト云フ團體ヲ纏メテ指導シテ行クト云フコトニシナイト云フト、日本ノヤウナ小サイ農家ノ多イ所ニハ、其ノ外ニ私ハ良策ハナイト思フ、ドウシテモ小産業組合ハ助長シナケレバナラス、元來産業組合ハ共同ノ利益ヲ目的トシテ居ル團體デアリマスカラ、サウシテ自分達ノ自助ニ依ツテ、サウシテ共ニ働イテ行クト云フ意味ニ於テ共同シテ行ク、其ノ共同ト云フコトニ産業組合ノ要點ガアルノデアリマスカラ自治的團體デアアル、自分達ガ自覺ヲシテ、サウシテ一緒ニナツテ我々ノ福利ヲ増進シテ行カウデヤナйкаト云フ機關デアリマスカラ、本當ヲ申セバ、政府ノ補助ヲ受クベキ性質ノモノデハナイ、自分達ガ自覺ヲシテ、ドウシテモ團體デナケレバナラスカラト云フノ發達スベキ筈デアアルノデアリマス、政府カラ補助ヲ受ケルト云フコトニナレバ、自助ノ團體デナクナツデシマフ、他力ノ團體デハイケナイ、農村自力ノ根柢ヲナシテ居ル所ノ産業組合ハ、一日モ速カニ政府ノ補助金ト云フモノノ御厄介ニナラナイヤウナ強力ナモノニナルト云フコトガ理想デアツテ、又目標デナケレバナラスト思フノデアリマス、併シナガラ今日ノ産業組合ノ状態ハ、殊ニ日本ノ農家ノ状態ハ、政府ノ方デ色々指導ヲ

シ、サウシテ農家ノ實狀ニ即シタヤウニ農家ト協調ヲシテ進メテ行カナケレバナラナイト云フ立場ニアル關係上、産業組合ニ對シテハ、今日色々補助ヲシテ居ル譯デアリマス、サウシア物的ノ補助ノミデハ足りナイノデアリマスカラ、知識ナリ、世間ノコトナリ、經驗ナリ、知見ヲ廣メルコトニ於テ非常ニ不便ナ地位ニアル農村ノ指導トシテハ、ドウシテモ役人ノ方デ色々一緒ニナツテ御世話ヲシナイト、十分ニ發達スルコトガ出來ナイ、非常ニ是ハ遺憾ナ事情デアリマスケレドモ、ドウモソレヲスルヨリ已ムヲ得ナイ、其ノ已ムヲ得ナイコトカラ、産業組合ニ政府ハドウシテモ補助金ヲ出サナケレバ今日ハ成立タナイノデアリマス、サウ云フ譯デ、金ハ一方ニ於テ補助ヲシ、一方ニ於テ職員ヲ充實シテ、漸クニシテ産業組合モ亦今日ハ大分一人立チガ出來得ルガ如キ所マデ進ンデ居ルノデアリマス、今日假ニ産業組合ニ色々政府ガ與ヘテ居ル或ハ納税上ノ特權ヲ剝奪スルトカ云フヤウナコトハ、今日俄ニ私ハ行ヒ得ベキモノデナイト思フ、所ガ商業組合ノ方デ商權擁護トカ云フヤウナ運動ガアリマス、反産運動ナルモノガ世ノ中ニアツテ、先ヅ産業組合ノ特權ヲ剝奪セヨ、然ル後赤裸々ノ状態ニ於テ我

我ト闘フベシト云フヤウナコトデ主張シテ居ルコトハ、餘程是ハ商工大臣トシテ考ヘラレナケレバナラス問題ガ私ハアルト思フ、ソレハ商業ノ方ノ團體ニハ政府ノ方デハ補助ヲシナイ、産業組合程補助ヲシナイカラ、産業組合ノ如ク補助ヲシテ貰ヒタイ、サウシテ助長指導ノ職員ヲ充實シテ貰ヒタイト云フコトヲ要求スルコトノ代リニ、産業組合ノ方ノ特權ヲ奪ツテ呉レト云フコトニ議論ヲシテ居ルノハ、私ハ實ニ氣ノ毒ダト思フ、ドウシテモ政府ノ方デ或意味ニ於テハ見放シテ居ルト云フコトニ感ズル、政府ノ方デ見放シテ居ッテ、一向商業者ノ方ニ、色々ナ行届イタ……大キナ資本家ノ爲ニハ色々ナ施設モアリマセウ、大キナ工業ナンカニ色々ナ施設ヲスル場合ニ於テ統制ヲシナクチャイカヌ、助長スル意味ニ於テノ統制モアリ、之ヲ矯正スル意味ニ於テノ統制モアリマセウ、併シナガラ其ノ小サイ小賣商人ノ如キ者ハ懇フル所ガナイカト私ハ思フ、サウ云フヤウナ状態デアルガ故ニ、已ムヲ得ズ茲ニ政府ニ積極的ノ補助ヲ要求スルコトノ代リニ、産業組合ノ方ノ利益ノ方ヲ取ツテ貰ヒタイト云フコトニ運動ガ向イテ居ルト云フコトガ、餘程考ヘナケレバナラス問題デヤナйкаト思フ、人ガ利益ヲ得

テ居ルノデアレバ、自分モ利益ヲ得サセテ貰ヒタイト云フ要望ナラ宜シイノデアリマスケレドモ、人ノ利益ヲ取ツテシマッタラ宜イデヤナйкаト云フヤウナ運動ヲシナケレバナラスト云フ事情ニ私ハ差迫ツタノデヤナйкаト云フ意味ニ於テ、商工大臣ニ於テ餘程御考ニナラナケレバイカナイト私ハ思フ、其ノ意味ニ於キマシテ、兩方トモ保護シナケレバナラスト私ハ思フ、産業組合ト小サナ商人トハ、共ニ非常ナ窮地ニ居ル、殊ニ小サイ商人ノ廢業スル所ノ率ハ非常ニ多イノデス、開業スルト直グ廢業シテシマフ、ソレハ精密ナル統計ガナイガ爲ニ、サウ云フ小サナ商人ニ對シテノ保護ガ行届イテ居ナイ、此ノ意味ニ於テ私ハ資本制度ト云ヒマスカ、資本主義ト云ヒマスカ、サウ云フヤウナ意味ノ弊ガ茲ニ出デ居ルノデヤナйкаト私ハ思フ、モウ少シ考ヘナケレバナラスト思フ意味ニ於キマシテ、産業組合ノ保護助長ハ減ズルコトヲ得ズ、商工組合ニ對シ、商業者ニ對シテモウ少シ行届イタ保護ヲ行ハナケレバイカヌ、斯ウ云フ意味ニ於テ兩者成立ツテ行クヤウニ政府ハ御考ニナルコトノ必要ガアルト私ハ思フ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、産業組合ノ方ノ經營ノ方モ、商人ノ團體ノ人モ一緒ニナツテ、何

トカ我々が成立して行クヤウナ工合ニ一ツ
ヤラウデヤナイカト云フコトニ導イテ行ク
ベキモノデアルト私ハ思フ、其ノ際ニ非常
ニ指導上御考ニナラナケレバナラヌコトハ、
産業組合ノ方面ニハ商ヒノ機能ト云フコト
ニ對シテノ理解ガ缺乏シテ居ル、能ク其ノ産
業組合ノ指導ニ付テ私ハ農林大臣ニ御尋ネ
スルノデアリマスガ、産業組合ノ監督官ノ
中ニ商ヒノ知識ノアル者ヲ御入レニナラナ
ケレバイカスト思フ、産業組合ノ監督官ヲ少
シ増員サレテ、商機能ニ付テノ知識ノアル人
ヲ御入レニナラナケレバ、産業組合ノ本當
ノ指導ハ私ハ出來ナイト思フ、是ハドウ云
フ意味カト申シマス、産業組合ノ今日ノ
仕事ヲシテ居ルノハ、農業ノ教育シカ受ケ
テナイ人ガ多イ、商ヒノ何事タルカラ能ク
知ラナイ、ソコデ農會ト産業組合トノ間ニ
於テモ色々ナ問題ガアツテ、販賣斡旋ト云フ
ヤウナコトハ農會ガヤリ出ス、私ガ其ノ際
ニ農林省ニ職ヲ奉ジテ居タ時ニ農會ノ諸
君ニ言フノハ、商賣ト云フモノハサウ簡單
ナモノデヤアリマセヌゾ、ト云フコトヲ頭
ニ置カナケレバイカヌ、是ハ商品ノ種類ニ
依リマス、米ノ如キモノハ明カニ商機能
ノ發揮ノ餘地ガ少イカモ知レヌ、是ガ即チ
米商人ガ今非常ニ恐レテ居ル所以デアル、

商機能ノ發揮ノ非常ニ必要ナル部分ニ於テ
ハ、産業組合ハナカ／＼進出出來ナイ、ソ
レハドウ云フ意味カト申シマス、ソレハ
適切ナル生産ト消費トヲ結付ケルト云フコ
トハ、是ハ商機能ノ發揮デアリマスカラ、
是ハ産業組合デハ出來ナイ、卑近ナ例ヲ言
ヘバ、産業組合ノ販賣組合ト云フモノハ、
自分ノ生産シタル米シカ賣レナイ、ダカラ
新潟縣ノ販賣組合ハ新潟米シカ賣レナイ、
サウスルト云フト消費者ガ朝鮮米・新潟米
ヲ混合シタヤウナ一等米二等米ヲ食ベタイ
ト云フ消費者ニ對シテハ産業組合ハ配給ハ
出來ナイ、サウ云フ譯デアリマスカラ、全國
的ノ産業組合ガ、今度全國ヲ區域トシテ居
ル販賣組合ガアリマスカラ、ソレハ全國ノ
米ヲ調合シテ見テモ、朝鮮米ヲ調合スルコ
トハ出來ナイ、是ガ販賣組合デアル以上ハ
ソコニ産業組合デ出來ナイ天地ガアルト云
フコトヲ産業組合自身モ考ヘナケレバナラ
ヌト同時ニ、商賣人モ恐レル必要ハナイノ
デアツテ、産業組合ノ出來ナイ天地ガ自分達
ニモアルト云フコトヲ恐レテ居ルカラ、安
心シテ仕事ヲサセル必要ガアル、ソコデ商
機能ノ發揮ト云フコトハ、是ハ産業組合ガ
ヤツテモ商人ガ行ツテモ、是ハドウシテモ必
要ナコトデアル、能ク産業組合ナドノ指導

シテ居ル人ガ誤ッタコトヲ言フ、ソレハ生産
ヨリ消費者ヘ、斯ウ云フコトヲ言フ、生産
ヨリ消費者ヘト云フコトヲ申シマス、中
ニハ商機能ト云フモノナクシテシマッテ居
ル、ソレデハ消費者ハ自分ノ欲シテ居ルモ
ノハ得ラレナイト云フコトニナル、商機能
ト云フモノハドウシテモ生産者ト消費者ト
ノ間ニハ要ル、ソレハ適切ナル生産物ヲ最
モ適切ナル消費者ニ結付ケルト云フコトハ、
商機能ノ發揮ガナクチャ出來ナイ、此ノコ
トガ分ラナイデ生産者ヨリ消費者ヘト斯ウ
言フ、サウ云フコトデヤナイノデアツテ、商
機能ヲ商人ニ擔當セシメルカ、自分ノ方デ
商機能ヲ擔當スルカト云フ問題デアリマス、
商人ニ商機能ヲ擔當ヲ止メテ、自分ノ方デ
引受ケルト云フナラバ、自分ガ商ニ關スル
知識、經驗技能ガナクチャイカナイ、商ヒ
ノ才能ガナクチャイカナイ、商才アル者ニ
シテ始メテ商機能ニ對シテ適切ナル施設ガ
出來ル、今日ノ農業教育ヲ受ケテ居ル人ガ
商機能ニ付テノ理解ガナイノミナラズ商才
ガナイト思フ、商ニ付テノ才能ガナイ、ソ
レガ自カラ商機能ヲ擔當スルコト云フコト
ヲ言出スト云フコトハ、ソレガ農林省トシ
テハ自ラ指導ノ役人ヲ持ツテ居ナイ、商ニ關
スル産業組合ノ監督官ガナイ、指導シ切レ

ナイモノヲ産業組合ガヤリ出ス場合ニ於テ
ハ農林省トシテソレハ考ヘナクチャイカヌ
ト思フ、斯ウ云フヤウナ意味ニ於テ商機能
ヲ産業組合ガ擔當スルカ、商人ガ擔當スル
カラト云フ問題デアツテ、商ト云フモノハ廢
スルコトハ出來ナイ、出來ナイノニ生産カ
ラ消費者ヘト云フ幼稚ナ議論ヲシテ居ル場
合ニ、早速ソレヲ教ヘナイデ進ンデ行クト
云フヤウナ議論ヲヤツテ居タノデハ、商賣
人ト産業組合トノ誤解ニ基ク色々ナ衝突ノ
起ルコトハ當然デアル、教ヘナイデ、自分
モ餘リ分ラナイカモ知レヌガ、農林省ノ産業
監督官ガ分ラナイ、分ラナイカラ教ヘナイ、
サウ云フ監督官ヲ以テ産業組合ヲ指導獎勵
スルト云フコトハイカナイカラ、是ハ農林
大臣ニ申上ゲマスガ、産業組合ノ監督官ヲ
相當充實ナサラヌトイカナイ、サウシテ商
ノ機能ヲ有ツテ居ル者ヲ茲ニ御植付ケニナ
ラナクチャイカヌ、ソコデドウ云フコトニ
ナルカト云フト商人ガ何故商人ヲ排斥スル
カト云フト、商人ハ不當利得ヲ、暴利ヲ貪
ル、ソコニ非常ニ利己主義ノ誘惑ガアル、
商ヒノ本質ガ暴利ヲ貪ル機關デモ何デモナ
イノデアツテ、商ノ機能ヲ適正ニ發揮スルト
云フコトハ、自己ノ努力ニ對シテ適當ナル
報酬ヲ貰フト云フコトヲ自覺シタナラバ、商

人デナケレバナラス所ガアリマスカラ、商人ヲ排斥スルト云フコトハ出来ナイ、現在ノ状態ニ於テハ出来ナイ、商人ヲ排斥スベシト云フ要望ハ商人ノ暴利ヲ廢セシメヨト云フコトデアル、商人根性ガコビリ付テ居ルガ爲ニ、商人ヲ廢スルニアラザレバ……暴利ト云フモノガ惡イト云フコトガ分ラナイト云フノガ今ノ商人ナンデス、商人モ教ヘナケレバイカヌ、利益サヘ取レバ宜イ、アル所カラ取レバ宜イト云フヤウナ、サウ云フコトガコビリ付テ居ル根性ガアレバ、ソレハモウ商人ハ廢メナケレバナラスト云フ意味ニ於テ中間機關タル商人ヲ廢止スベシト云フコトニ出テ來ル、ソレハ商人ノ、惡イ商人ヲ廢スベシト云フコトデアッテ、良イ商人ヲ廢スベシト云フ議論デハナイ、サウ云フコトニ付テノ指導ガ農林省、商工省ニ於テ、モ少シ行届イタコトヲヤッテ戴キタイト私ハ思フ、サウシテ此ノ次ニ起ル問題ハ米穀統制法ノ強化ニ伴ッテドウシテモ統制經濟ノ如キハ國家施設ガ段々擴張シテ行くコトニナル、チヨット私ノ自分ノ申ス所ヲ玆ニ止メテ農林大臣ニ御伺ヒ致シタイコトハ本會議ニ於テ米穀問題ノ將來ニ付テハ玆ニ自由經濟ニ進ムベキカ、統制經濟ニ逆行スベキカノ岐路ニ立ッテ居ルコトニナルカ

モ知レヌト云フコトデアリマスルガ、岐路ニ立ッテ立止ッテ居ラレルノデハナイカト私ハ思フ、今、岐路ニ在ルガ、ドッチニ向イテ行くカト云フコトハ既ニ大臣ハ御決心ニナッテ居ルト思ヒマス、自由ノ方ニ逆戻リスルカ、統制ヲ更ニ強化スルカ、統制ヲ更ニ強化スルカト云フコトニ付テ頭ノ中ニ於テ御考ニナッテ居ルコトと思フ、今日ノ趨勢ハ統制ノ方ニ進メテ行カウト云フコトノ議論ニ於テ此ノ米穀自治管理法案ト云フモノガ現レテ居ルノデアリマスカラ、若シ自由ノ方ニ歸ル方ガ宜イト云フノデアルナラバ、農林大臣ノ御考トシテハ先ヅ統制ノ方ニ、米穀自治管理法案デ進メテ置イテ、然ル後ニ逆轉シタ方ガ逆轉ノ爲ニモ便利デアルト云フ御考デアルカ、ソレハ少シ變則デアルト思フ、若シ自由ニ歸ル積リナラバ米穀自治管理法案ト云フモノヲ出サナイ方ガ宜イ、一旦統制ノ方ニ一歩ヲ進メテ置イテ、一應是デ後始末ヲスル、米穀對策調査會ノ後始末トシテ米穀自治管理法案ヲ繼メナイト云フト困ルカラ繼メルコトハ繼メル、併シソレハ強化ノ方ニ進ンデ居ル、併シ自分ハ後デ自由ニ移ルト云フコトデアレバ私ハソレハ餘程主義トシテ御考ニナラナケレバナラスト思フ、若シ自由ノ

御考デアルナラバ米穀自治管理法案ハ出サナイ方ガ宜イ、寧ロ自由ニモウ少シ進メル意味ニ於テ是デ立止ルノデアレバハ出ス必要ハナイ、若シ岐路ニ立止ッテ居リマスルナラバ米穀自治管理法案ヲ提出サレルコトハ私ハ惡イト思フ、自由ノ方ニ傾イテ居ラレルナラバ尙惡イト思フ、強制ヲスルト云フ方ニ於テハ……サウ云フコトヲ綜合シテ考ヘルナラバ世間ハ岐路ニ立ッテ居ルケレドモ農林大臣ハ統制ヲ強化スルト云フ方ノ頭デ是カラ進ンデ行カウト云フ御考デアルト私ハ思フノデアリマスガ、其ノ點ヲ一應御答辯ヲ願ヒタイ

○國務大臣(島田俊雄君) 只今再度ノ松村君ノ御尋デアリマスガ、是ハ私ノ自分トシテノ一個ノ考ヲ此ノ場合ニ申上ゲルコトハ差控フベキコトと思ヒマス、併シ米穀法、其ノ以前ノ經過モアリマスガ、米穀法制定以來是ガ現在ノ統制法ニナリ、サウシテ中間ニハ臨時米穀移入調節法ト云フヤウナモノガ狹ッテ、サウシテ此ノ法案ノ提出ト云フコトニ相成リマシタ、此ノ米ヲ自由商品トシテ扱ウタ時代カラ今日ニ至リマシタ幾年間ノ我國ノ農林當局ト云ヒマスガ、歷代ノ政府ガヤッテ來テ居リマスル此ノ徑路カラ申シマス云フト、所謂最後ノ問題ニハ到達ヲ致シテ居ラスト致シマシテモ米ニ關スル國ノヤリ方ニ付テノ方針ハ大體或程度マデ漸次重要ナ食糧品ノ統制ヲシテ行く、斯ウ云フヤウナ方針ニ來テ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、從ッテ是レ以上之ヲ何處マデ進メテ行くカト云フコトニ付キマシテハ是ハ本法案ノ實施セラレル限り又本法案ガ成立致シマスル限り、相當ノ效力ノアルモノト左様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレヨリ以上ニ何處マデ進ムルカト云フコトニ付キマシテハ是ハ更ニ大イニ其ノ法案ヲ離レテ、根本的ニ考ヘテ行くベキコトデアラウト、又考ヘラルベキコトデアラウト考ヘルノデ、是ガ自分ノ在任ニ解決スルモノデアリマスガ、或ハ次ノ人ニ依ッテソコ迄行くノデアリマスガ、只今ノ政府ノ執ツタ幾年カノ傾向カラ申シマス之ヲ全ク自由ノ昔ニ返スト云フ傾向ニハナリ難イモノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、自分ノ意見トシテ申上ゲルコトハ私見ハ差控ヘマスケレドモ傾向ハサウ云フ風ニナッテ居ルヤウニ考ヘマス

○松村眞一郎君 大臣ノ御考ハ傾向ト逆行スルト云フ御考デハナイヤウデアリマスカラ、矢張り統制ヲ強化スル方向ニ傾向ガ向ヒツツアル、是ハ如何ニ有リナ大臣ト雖モ個人ノ力ヲ以テ此ノ大勢ト云フモノニハ反抗シ

得ナイガラウト私ハ思ヒマス、政府ノ傾向ガ若シ是ガ國家ノ傾向デアルトスルナラバ、サウシテ是ガ大勢デアルトスルナラバ、此ノ傾向ヲ一人ノ力ヲ以テ阻止スルコトハ出來ナイコトハ當然デアリマスカラ、サウスルト云フト政治家ノ立場トシテ、國務大臣ノ立場トシテ、矢張り統制ハ強化サレルモノデアルト云フコトヲ御考ニナッテ今ノ御答辯デアルト私ハ拜承スルノデアリマス、ダカラ統制ガ何處マデ進ムカト云フコトハ分ラナイガ、兎モ角ソレガ徐々デアルカ、急激デアルカハ別トシテ、統制ノ方向ニ向ヒツ、アルコトハ御認メニナッテ居ル、大臣ハソレヲ阻止スルト云フ御考ハ無イヤウデアアル、裏ニ歸ル御考ハ無イヤウデアリマス、其ノ御考ニ付テ進メテ私ハ申述ベタイト思ヒマス、サウ致シマス云フト統制ガ益、進ンデ來ルト云フト其處ニハ自由經濟カラ統制經濟ニ移ッテ來ルコトニナル、其ノ移リ行キニ對シテノ餘程懇切ナル御用意ガ無イト云フトジリジリニ極ク靜カニ自然ニ統制ガ行ハレテ來ル場合デアレバ政府ハ其ノ善後策ヲ考ヘル必要ハナイト思ヒマス、是ハ大勢デス、經濟上ノ大勢トスレバ……併シナガラ政府ノ施設ト云フモノニ依ッテ明カニ統制ガ強化サレ、其ノ影響ガ政府ノ施設カラ直グニ

適切ニ起ッテ來ルト云フ場合ニ於テハ是ハ政府ガ同時ニ其ノ影響ニ對スル考慮ヲサレルコトノ用意周到ナルコトガ必要デアルト私ハ思フ、ソコデ既ニ米穀法カラ米穀統制法ニ移ッテ結果、米穀統制法ト云フモノハ此ノ米ノ最低價格ト最高價格トヲ公定シ、之ヲ告示スト云フコトガ第二條ニ書イテアル、サウシテ第三條ニ於テ最低價格ニ依ル賣渡ノ申込、最高價格ニ依ル買入ノ申込ニ應ジテ米ノ買入又ハ賣渡ヲ爲スト云フノデアッテ、申込ガアレバ必ズ應ジルト云フ態度ヲ執ッテ居ル、即チ政府ハ既ニ米ニ付テハ最低價格ト最高價格ト云フモノヲ茲ニ公定シテシマツタ、此ノ公定ノ意味ハ官廳、公署ニ於テ公ニ定メルト云フ意味ノ公定デアリマシテ、自由經濟ノ下ニ定メル公定相場場ハナイ、文字ハ同ジデアアルケレドモ全然違ヒマス、自由經濟デ言ヒマスル公定相場場ト云フノハ公衆ガ公ニ定メラレルト云フ意味ニ於テノ公定デアアル、今度、統制法ニ依ル公定ト云フノハ政府ノ側デ定メルト云フ公定ナノデアリマシテ、全然違ヒマス、片ッ方ハ民間ノ自由經濟デ公ニ定メルト云フノデアリ、片ッ方ハ政府ガ、或ハ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ机上デ定メルト云フ相場場デアアル、ソコデ統制經濟ニ自由經濟カラ移ル場合ニ於テノ階

梯トシテ先ヅ所謂自由經濟上ノ公定相場場ト云フモノノ時代カラ次ニ起ル問題ハ協定相場ト云フモノガ起ルト私ハ思フ、協定ト云フノハ兩方デ相談スル、是ハ產業組合ノ問題ニナッテ來ル、ソレハ產業組合ニ於キマシテ、此ノ販賣組合ト購買組合トガ相談ヲシテ値段ヲ定メル、サウ云フコトニナッテ來ル譯デス、ソコデ產業組合ハ又ソレヲ考ヘナケレバイカスト云フコトニナル、產業組合運動ガ段々進ンデ參リマス云フト、極ク素材デアアル農産物ノ如キモノ、或ハ米ノ如キモノ、ソレハ場合ニ依ッテハサウ云フコトハ行ハレ得ルカモ知レヌ、併シ外ノ副業品トカト云フヤウナモノ、非常ニ品質ノ多岐多端ニ互ッテ居ルモノニ付テハ連モ協定ガ出來ナイ、併シナガラ米ト云フモノノ品質ヲ段々政府ニ於テモ生産ノ助長ノ上ニ於テ之ヲ統一シテ掛カル、サウシテ餘リ錯雜ナモノガナイト云フコトニナリマス、政府自身ガ或ル値段ヲ定メ得ルト云フコトデアアルノデアレバ當業者ハ尙能ク定メ得ルコトニナル、ソコデ協定相場場ト云フモノガ出テ來ル、詰リ相談シタ相場デス、ソレハ產業組合ノ生産者ト生産者ノ團體デアアル所ノ生産者組合即チ購買組合ト、消費者ノ團體デアアル所ノ消費者組合即チ購買組合トガ茲ニ結付

ク譯デアリマス、所ガ此ノ販賣組合ト云フモノハ多クハ是ハ都市ニアル譯デアリマス、消費組合運動ト云フモノハ都市ノ方ニ起ッテ來ルノデアリマス、サウシテ或ハ勞働ニ從事シテ居ル人トカ、工場ニ働イテ居ルトカト云フヤウナ人が茲ニ消費組合ト云フモノヲ作ッテ、ソレガ農家ト手ヲ携ヘテ、サウテ直接ノ配給ヲ受ケル場合ニ於テハ茲ニ協定相場ト云フモノガ出來テ來ル、所ガ協定相場ガ出來テ來マス云フト、米穀統制法ノ中ニ書イテアル時價ニ準據シテ定メルト云フ、此ノ時價ガ今度分ラナクナッテ來ル、是ハ餘程御考ニナラナケレバイケナイト思フ、前ノ米穀法時代ニ於キマシテハドウシテモ時價ニ據ラナケレバイカスト云フコトハ是ハ議會ニ於テソ聲デアツタ、政府ガ勝手ニ定メル値段デハイケナイ、公ニ定ッテ居ル相場、所謂其ノ際ノ公定相場ト云フモノハ政府デ定メル公定相場デナイ、社會的ニ定ッタ所ノ公定相場デアアル、是ハ時價ニ準據シテ公定スベシト云フコトニナッテ居ルノデアアル、所ガ段々產業組合運動ガ進ンデ來マスト云フト、公定ガ協定ニ移ルト云フコトニナルト、其處ニ問題ノ起ルノハ正米市場ノ問題ガ起ッテ來ル、前ニ最高最低ノ價格ト云フモノヲ政府ガ公定シタ場合ニ起ッテ

來ル問題ハ、取引所ノ問題ガ起ツテ來ル、元來取引所トカ、正米市場ト云フモノハ自由經濟ノ下ニ生キテ居ル機關デアリマスカラ、最高最低ト云フヤウナコトモ需要供給ノ競合ニ依ツテ茲ニ相場ヲ定メルト云フ機關デアルノデアリマスカラ、机ノ上デ最高最低ガ定メラレテ居ルト云フコトハ既ニ取引所トカ、正米市場トカト云フヤウナ自由經濟ノ下ニ出來テ居ル機關ニ對シテ其處ニ或ル統制ヲ加ヘルコトニナル、サウ云フ譯デアリマスカラ、此ノ取引所ノ有ツ機能ガ少シ狹ッテ居ル譯デス、所ガ取引所ノ機能ノ狭ルコトハ結構デアルカ、結構デナイカト云フトソレハ結構ナコトデアアル、元來相場ニ色々荒イ開キガアルカラ取引所ガ必要ニツテ來ルノデ、此處デ全取引所ノ事ヲ議論スル必要ガアリマセスガ、大體ヲ此處デ言ハナイト云フト、最高最低ノ價格ノ問題ニ觸レルコトガ出來マセヌカラ申シマスカ、政府ガ定メルト云フコトハ非常ニ結構ナコトデアッテ、其ノ間ニ相場ガ安定致シテ來ル譯デアリマス、產地デ買入レテ市場ニ持ッテ來ル時ニドウナルカ分ラヌカラト云フノデ清算市場ニ對シテ賣繋ギト云フコトヲヤル、是ハ取引所ト云フモノガ眞面目ナ取引所デアラナラバ、是ハ保險作用ヲシテ居ル譯デアリマス、賣

繋ギニ依ル所ノ價格變動ニ關スル保險ノ機關トシテ、本當ニ此ノ取引所ガ使命ヲ完ウスルナラバ、唯博打ヲスルトカ、投機ヲスルトカト云フヤウナ方面ニ對シマシテ取引所ガ力ヲ盡スナラバ、是ハ取引所ノ本來ノ主義ヲ破ッテ居ルノデアリマス、本當ノ取引所ノ使命ト云フモノハ保險作用ニ依ル掛繋ギニアルノデアリマス、所ガ相場ガ荒ク開カナイト云フコトニナルナラバ、取引所デサウ云フコトノ御世話ヲシナクテ濟ムト云フ意味ニ於テ非常ニ結構ナコトと思ヒマス、ソコデ政府ガ最高最低ノ價格ヲ作ルト云フコトハ非常ニ結構ナコトデ、安心シテ商賣人ガ買入レルコトガ出來ル、是ハ非常ニ統制經濟トシテ宜イコトデアリマス、併シナガラ取引所ノコトハ考ヘナケレバイカヌゾト云フコトニナルノデアリマスカラ、是ハ自由經濟カラ出發シテ居ル機關デアリマスカ、ソレト同時ニ正米市場ノコトモ考ヘナケレバナラヌノデアッテ、今日米穀統制法ヲ運用シテ居ル場合ニ始終時價ヲ見テ居ル、今日高クナツタカ廉クナツタカ、最高最低ヲ侵サナイカ、之ニ迫ッテ居ルカ迫ッテ居ラヌカト云フコトハ、何ヲ眺メテ今日農林省ノ方ハ仕事ヲシテ居ルカト云フト、正米市場ノ仕事ヲ見テ居ラレル、正米市場ニ何ガ來

ルカト云フト、問屋ガ集ッテ、問屋ガ賣リニ來テ、小賣商ガ買ヒニ來ル、今日ノ正米市場ト云フモノハ、所謂公定相場ト云フモノハ農林省ノ公定スル相場デナイ、商人ノ公定相場ガ此處ニ出來テ居ル譯デアリマスカ、此處ニ產業組合ガ段々進出シテ來テ、販賣組合ガ賣出シ、消費組合ガ其處ニ出テ來テ買ヒニ來ルト云フコトニナル、其處ニ公定相場ト云フモノガ協定相場ニ變化シテ來ルノデアリマス、サウスルト時價ノ或モノニ付テ農林大臣ガ統制ヲ運用スル場合ニ於テノ問題ガ此處ニ起ツテ來ル、更ニ進ムト云フト、今度最高最低ノミナラズ、色々ノ値段ヲモット公ニ定メルト云フ意味ニ於テノ公定ニナル譯デアリマス、自由經濟ノ公定相場カラ協定相場ニ移ル、即チ官廳ノ公定相場ト云フコトニ徑路ハ進メラレルモノデアリマスカ、斯クノ如キ徑路ニ應ジタル對策ヲ考ヘナガラ正米市場ノ前途ヲ考ヘナイデ置イテ統制法ヲ運用シテ居ル、近頃ハ始終正米市場ノ相場ヲ頻リニ言ッテ居ラレル、片方ニ於テハ產業組合ヲ助長シテ居ラレル、所ガ正米相場ト云フモノガ今度政府ノ統制ノ爲ニ基準ニナラナクナツテ來ル、サウ云フヤウナ事態ガ起ルノデアリマスカラ、產業組合ノ助長ト云フコトニ付テハ、同時ニ統制經濟ト

由自經濟ノ問題ニ付テ餘程慎重ナル御用意ガナイト云フト、今日ノ米穀自治管理法ヲ通シサヘスレバ宜イト云フ考デハ到底私ハイケナイト思フノデアリマスカラ、斯クノ如キ不備ナル法案ガ若シ是ガ成立シタト致シマスルナラバ、尙更後始末ヲ早クシナクテハイカスト云フコトニナルト私ハ思フ、ドウシテモ政府トシテハ根本ノ政策ヲ早ク御出シニナラヌトイケナイト私ハ思フ、先程モ申シマシタ如ク、米ノ過剩ノ後始末ヲスルト云フコトヲ爲ス前ニ生産ノ統制ト云フコトヲ考ヘナケレバイケナイコトハ當然デアリマスカラ、是ハ一日モ緩ウスルコトノ出來ナイ問題デアッテ、根本政策ト云フコトノ樹立ハモウ目前ニ迫ッテ居ル、是ハ先程申シマシタ會計法ノ關係デモサウナンデス、ソレハ前ノ高橋大藏大臣ハ、會計法ノ此ノ大キナ損失ニ付テハ後始末ヲシナケレバナラヌ、ナントカシテ會計法ハ整理ヲシナケレバイケナイケレドモ、根本ノ政策ガ立タナイノダカラ、會計バカリヲ整理スル譯ニハイケナイト云フコトヲ言ッテ居ラレル、是ハ私ハ御尤モダト思フ、所ガ今度ハ會計ニ關スル何等ノ説明モシナケレバ、何等ノ整理ガ此處ニ現レテ居ナイ、現内閣ハサウ云フコトハ他ノ内閣ヨリモ力ヲ非常ニ入レテ

御出デニナルベキ筈デアルガ、此ノ極メテ不利ノ頂上ニ達シテ居ルト申シテ私ハ宜イダラウト思フ、彌縫ニ彌縫ヲ重ネテ居ル所ノ米穀特別會計法ニ付テノ根本ノ政策ヲ此處ニ御示シニナラナイト云フコトハ、即チ根本政策ガ立ッテ居ナイト云フコトヲ政府自身ガ證明シテ居ラレル、特別會計ヲ整理スル意味カラ申シテモ、根本政策ノ樹立ハ一日ヲ緩ウスベキコトハ出來ナイモノト思ヒマスガ、本議場ニ於ケル農林大臣ノ此ノ會計法ニ付テノ答辯デハ根本政策ト云フモノハ餘リ急ヲ要シナイモノト云フ響キヲ私ハ感ジタ、ソレデ自治管理法案ト云フモノガ間ニ合セノ法案デアルト云フコトニ付テノ御考ヲ餘程私ハ疑ハザルヲ得ナイ、行懸リ上出シタノデアルト云フ考デ居ラレルト云フト、行懸リニアラザル案ヲ此處ニ御考ニナラナケレバナラスト云フコトハ、大臣ノ職責トシテ一日モ緩ウスベカラザル問題ガ此處ニ横ハッテ居ルト云フコトヲ私ハ痛感スルノデアリマスガ、色々官廳ノ職權ガ此處ニハッキリシテ居ナイト云フト、此處ニ法制上ノ不備ノアルコト、會計上ノ混雜シテ居ルコト、更ニ又御考ニナラナケレバナラスト問題ガアル、是ハ尙官廳上ノ關係ニ付テ申シマスガ、統制法ノ八條ト云フモ

ノ、九條ト云フモノガ、是ハ朝鮮、臺灣ニ施行サレテ居ル、是ハ粟トカ黍トカト云フモノノ輸入ヲ制限スルコトヲ得ト云フ規定ガ第八條ニアル、是ハ輸入ノ制限デアッテ、輸出ノ制限ハシテ居ナイ、何故カト申シマス、朝鮮ニ於テ粟ヲ食ベテサウシテ米ヲコ、ニ賣出シテ、サウシテ、内地ニ送ッテ來ルコトニナルト云フト困ルト云フコトガアル、其ノ關係カラ出來テ居ル規定デアッテ、内地ノ爲ニスル規定デアリマス、ダカラ輸入ノコトダケ書イテアル、其ノ次ニ又輸入税ノ輕減……増減免除ト云フコトモアリマス、是ガ其ノ思想カラ來テ居ル、今度此ノ點ニ付テ改正サレテ、小麥、小麥粉ト云フモノヲ御加ヘニナル、是モ矢張りハ輸入ダケシカナイノデアリマスガ、内地ノコトダケ考ヘラレルナラバ、小麥ニ付テハ輸出共ニ御書キニナラスト私ハイカスト思フ、所ガ今度ハ小麥ハ輸入ダケシカ載ッテ居ナイヤウデス、統制法ノ改正案ノ第八條、第九條、十二條ノ規定デス、是ハ八條、九條ハ輸入ト云フ……輸入税ノコトガ書イテアル、ソウシテ輸出ノコトヲ考ヘテ居ナイ關係ニ於テ、是ハ内地ノ統制ノ爲ニスル規定デアルト云フコトガ、茲ニ分ル譯デアリマス、ソコデ私ハ粟ト云フ問題ハ、

内地ノ爲ニ粟ノ問題ヲ考ヘルト云フコトハ、是コソ私ハ朝鮮ノ統治問題ダと思フ、粟ガ朝鮮人ニ、朝鮮ニ居住シテ居ラレル人々ノ生活必需品デアルナラバ、出來ルダケ安クシテ、ソレヲ食ベルヤウニスルノガ私ハ宜イト思フ、内地ニ粟ノ代リニ米ヲ持ッテ來ルカラ、之ヲ輸入ヲ制限シ、米ヲ關稅ヲ高クスルト云フヤウナ狀態ヲ、拓務省デ極ク輕ク考ヘテ居ラレルト云フコトガ、米穀問題ヲ、私先程申シタ如ク米穀問題ヲ纏ッテノ行政ノ緊張ガ私ハ缺ケテ居ルト思フ、朝鮮トシテハ、粟ノ問題ハ重大問題デ、内地ノ統制ノ爲ニト云フヤウナコトダケデ、眺メタラ私ハ問題ダと思フノデアッテ、粟ノ問題ハ場合ニ依ッテハ安ク輸入シテモ私ハ宜カラウト思フ、或ハ若シ之ニ輸入税ヲ高クスルノデアルナラバ、粟ト云フモノノ生産ヲ、耕作ヲ、朝鮮ニ於テ助長スル意味ニ於テモ、保護關稅デナクチャイカスト思フ、保護關稅ニ非ズシテ、内地ヘ米ガ送ラレルト云フコトノ爲ノ防止關稅デアルト云フ意ニ於テ統制法ノ中ニ書イテアル、私ハ是ハ餘程重大ナ問題ダと思フ、今日ハ朝鮮ト内地ダケノコトヲ考ヘテ居ルベキ時代デハナイノデアッテ、朝鮮ト滿洲ヲ考ヘナケレバナラスト私ハ思フ、滿洲國ニ内地人ト朝鮮人トノ移

住ヲサセルト云フコトデ、今度何カ會社ヲ作ルト云フヤウナ意味ニ於テノ法律案ガ出テ居ル譯デアリマスガ、内地人ノ移住スル所必ズ水田ヲ造ル、朝鮮人ノ移住スル所、張り水田ヲ造ル、サウシマス滿洲ノ米ト、朝鮮ノ米ト内地ノ米ト云フ問題ガ、是ハ起ルベキ茲ニ種子ヲ蒔キツ、アルト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト、今日ハ内地ト外地トノ問題デアルケレドモ、今度ハ滿洲ト日本トノ問題ニナルト云フコトガ茲ニアルナラバ、初メカラ生産ノコトモ考ヘテ掛ラストイカスト思フ、ソレハ先キニナッテドウトカナルダラウト云フヤウナ意味ノ其ノ場逃レヲヤッテ居ルベキ時代デハナイト私ハ思フ、ソコデ其ノ意味カラ申シマシテモ、此ノ米穀政策ト云フモノハ、單リ内地ト外地トミナラズ、廣ク滿洲ニ亘ッテモ考ヘナケレバナラスト、今其處ニ到達シテ居ル、其ノ意味ニ於テ根本政策ノ樹立ト云フモノハ、元トハ違ッタ觀點カラ之ヲ展望シテ、此ノ視野ヲ廣クシテ、茲ニ考察ヲ新タニスルト云フ必要ガアルト私ハ思フ、サウ云フヤウナ關係カラ考ヘマシテモ、粟ノ問題ハ獨立シテ考ヘナケレバイカス、ソコデ朝鮮ハ粟ヲ食ベテ、滿洲ノ粟ヲ食ベテ、滿洲ニ米ヲ當分ノ内ハ送ルト云フ、政策ノ方宜イカト

思フ、ナカ／＼滿洲ノ方デハ餘剩ガ出來ル程米ガ出來ルト云フコトハムツカシイデセウ、サウスレバ日本人ノ居ル所米ハ必ズ消費スルノデアリマスカラ、其ノ供給米ト云フモノヲ朝鮮カラ考ヘルト云フコトガ、一ツノ方策デアラウト思フ、サウシテ朝鮮ノ問題トシテ内地ヲ見ルヨリモ、滿洲ヲ見ルト云フ問題ガ茲ニ起ッテ來ルカモ知レヌト思フ、サウシテ外地、内地ト云フヤウナ其ノ障壁ノ問題ヲ茲ニ論ジテ居ルト云フ時期ハ、既ニ私ハモウ超越シナケレバナラスト云フヤウニ考ヘマスカラ、且ツ唯其ノ生産ヲ、代作ヲ獎勵スルトカ、生産ヲ制限スルト云フ問題ハ、實ハ目先キノ問題デアッテ、日本ノ人口ノ將來カラ申シマスカラバ、米ハ足ラナイノデスカラ、生産過剩ト云フヤウナ問題ヲ考ヘテ居ルト云フコトハ、モウ既ニ目先キバカリ考ヘテ居ルト云フ私思想デアルト思フ、遠キ將來ヲ考ヘテ、米ハ不足デアルト云フ方面カラ、生産助長ノ方カラ考ヘテ然ルベキデアッテ、過剩ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル時期デナイト私ハ思フ、今ノ現狀ニ沒頭シテ居ルト云フコトヲ、既ニ米穀政策ヲ根本的ニ頭ヲ變ヘナケレバナラス、新ナル頭ヲ以テ從來ノ行懸リヲ全然脱却シテ、ソコ決メタコトハ、議會ヘ持ッテ來タラ又修正

スルトカ、政黨ノ方ノ調査會ト云フヤウナ所デ決メタコトガ、チョットモ行ハレナイト云フヤウナ意味ノ調査會デハ、是ハ實ハ何等意味ナサナイノデ、ソレハ餘リニ此ノ米穀問題ヲ政治的ニ眺メテ居ラレルノデヤナカラウカト思フ、政治ノミデナク、是ハ學問カラ考ヘナクチヤナナイ、實際社會ノ問題トシテモ考ヘナクチヤイカヌ、唯政黨ノ勢力ノ消長トカ、或ハ選舉區ノ關係ト云フヤウナ意味ニ於テ眺メルベキ問題ニ限局スベキ問題デナイ、モウ少シ廣ク色々ナ觀點カラ冷靜ニ考ヘベキ時期ニ到達シテ居ルモノダトスルト云フト、私ハ其ノ根本政策ハ實際ニ一日モ緩ウスベカラザルモノデアルト思フノデアリマスガ、大臣ハドウ御考ヘニナッテ居リマスカ、其ノ點ヲチョット御伺ヒシタイ

○國務大臣(島田俊雄君) 只今松村君ノ御

述ニナリマシタヤウナ御趣意カラ考ヘマスト、私ハ非常ニ急ラ要スル、又早く著手シテ根本的問題ノ研究ヲシナケレバナラス、斯ウ思ッテ居リマス、唯此ノ議會ニ提案シテ居リマス法案ノ點カラシテ、今問題ニ觸レテ色々述ベマスト云フト、此處ニ誤解ヲ生ズル虞ガアリマス、早クヤルト云フノデアアルナラバ、其ノ方ヲ早クヤレバ宜イデヤナイ

カ、是ハ後廻シニシテ宜イデヤナイカト云フ問題ガ、直グ、是ハ政黨ノ問題トカ、サウ云フコトデナシニ、必ズ質問應答ノ間ニ起ッテ來ル事柄デアリマシテ、ソコデ此ノ點ニ付キマシテ、政府トシマシテ言明ラ甚ダ憚カル譯デアリマス、此ノ點ヲ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ自由カラ統制ニ進ンデ居ル傾向ガ大體サウデアルト斯様ニマア先刻御答ヲ致シマシテ、其ノ統制ニ進ム大勢カラシテ、之ヲ急激ニヤルト云フコトガイケナイト云フ御意見ニ對シテモ、十分其ノ通りニ考ヘテ居リマスケレドモ、根本ノ問題カラ言ヒマスト、此ノ米穀ニ關スル特別會計ノ現狀カラ、又現ニ臺灣、朝鮮ヲ論ジテ居ル目ノ前ニ、滿洲ノコトモ起ッテ來ル、斯ウ云フヤウナ大キナ動キノ方ト兩方カラ考ヘマスト云フト、此ノ食糧、人口、斯ウ云フ點カラ米ノ問題ニ付テ根本的ニ之ヲ處置ラスルノ方法ヲ考究シナケレバナラスト云フコトノ急務デアルト云フコトニ付キマシテハ、其ノ通りダト考ヘテ居ルノデアリマス、唯其ノ點ヲ強調致シマスト云フト、斯クノ如キ法案ハ根本對策ノ樹立シテ後デ宜イデヤナイカ、ト云フ議論ガソコニ起ッテ來ル虞ガアリマシテ、ソレヲヤッテ居ルト云フト特別會計、政府ノ負擔、斯ウ云

フ點カラシテ現狀ドウモ之ヲ放任シテ置クコトハ出來ナイ、差向キ本年若シモ平年作以上デアリマスト云フト、直グ内外地米ノ問題、統制法ノ缺陷、斯ウ云フコトニ付テ本法案ノ如キモノヲ實際ニ運用シナケレバナラスト云フ問題ガ茲ニ起ッテ來ル、眼前ニ横ハツテ居ル次第デアリマスカラ、ソコデ私ハ農村ニ關スル米ノ問題、ソレカラ先ニ協賛ヲ得タ爾ノ問題、ソレカラ今現ニ審議中ニ屬シテ居リマス肥料ノ問題、何レモ見方ニ依リマスカラ、不徹底ト言ヘバ不徹底デアリマスケレドモ、今日ノ農村ノ關係等ヲ考ヘマシテ、是等ノ懸案ニナッテ居ル所ノ問題ヲ先ヅ解決シテ、而シテソレカラ先ニ行クベキ問題ニ付テ肚ヲ据エテ研究スル、サウシテ成案ガ得ラレルナラバ成ルベク急イデ成案ヲ得ルヤウニシナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ考ヲ以テ行クベキデアラウト、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、只今ノ問題ニ付キマシテモ根本問題ノ解決ノ必要如何、斯ウ云フ意味ガ松村君ノ御述ニナリマシタヤウナ御趣意デ述ベラレルナラバ、私ハ其ノ通りデアリマスト云フトヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、ソコニ前申シマスカラ點カラシテ誤解ヲ生ズルノ虞ガアリマスカラ、理解ノアル間ニ

對シテ今ノヤウニ御答ヘスルコトハ、自分
モ一向躊躇シナイノデアリマスケレドモ、
之ヲ逆ニ用ヒラレル場合ニ於テ、原案ノ提出
者トシテハ甚ダソコニ懸念ヲ持ツ譯デアリ
マスカラ、此ノ點ハ只今現ニ出テ居ル法案
ノ審議ニ關シテ政府ノ答辯ト云フ意味ニ於
テ御斟酌ノ意味ヲ以テ御了解願ヒタイト思
フノデアリマス

○松村眞一郎君 サウ致シマスト云フト、
私ノ申シテ居ルコトヲ能ク御了解ニナッテ
居ルト考ヘマス、私ハ斯ウ云フ趣旨ヲ言ウ
テ居ルノデアリマス、米穀對策調査會ト云
フモノノ設ケラレテ今日ニ至ルノニハ、紆
餘曲折ヲ極メテ、何トカシテ之ヲ片付ケナ
ケレバナラスト云フコトハ、是ハ誰モ認メ
テ居ルト私ハ思フ、是ハ大臣ト全然同感デ
アル、今日大臣ガ御心配ニナッテ居ルコトハ
私ハ御心配ノ偵打ガナイト思フ、サウ云フ
御心配ハイラナイト思フ、ソレハ米穀自治
管理法案ノ根本ニ横ハッテ居ル所ノ問題ハ
外地米ノ整理デアアル、外地米ノ制限デア
今日商人ノ團體ガ色々誤解シテ此ノ法案ト
云フモノノ撤回トカ、或ハ阻止トカ云フヤ
ウナコトヲ希望シテ居ルカモ知レマセヌ、
併シソレハ産業組合トノ關係ヲ考ヘテ居ル
ノデアアル、外地米統制ニ付テ考ヘテ居ルノ

デハナイ、此ノ法案ノ根柢ハ外地米ノ統制
ニアル、外地米ノ統制ヲ此ノ際解決シナケ
レバナラスト云フコトハ、私ハ是ハ輿論ダ
ト思フ、サウスレバ其ノ方面ニ於テノ此
ノ法案ノ成立ノ根本問題ヲ茲ニ必要ナリト
痛論スルガ爲ニ、妨ゲルト云フ理由ハ私ハ
出テ来ナイト思フ、是ハ大臣ガ餘リニ此ノ
法案ト云フモノヲ提出サレタ場合ニ於テ其
ノ色々ナ政治ノ懸引キトカ、動キトカ云
フヤウナコトハ私ハ存ジマセヌ、併シソレ
ハ多年サウ云フ方面ニ於テノ色々ナ御苦勞
ナリ、練達ノ大臣トシテハ其ノ御苦勞ノ方
ガ私ハ非常ニ大キイト思フ、併シ私ハ其ノ
コトヲ申スノデハナイ、自治管理法案ノ根
柢ニ流レテ居ル所ノ外地米ノ調節ト云フコ
トニ付テハ輿論ガ是ハ一致シテ居ルト思フ、
ダカラ其ノ意味ニ於テノ法案ニ流レテ居ル
所ノコトニ付テ、私ハ此ノ法案ガ根本的ノ
調査ノ必要ナリト云フコトヲ議論スルガ
爲ニ、外地米調節ノ方ハ後デ宜イト云フコ
トハ私ハ起ッテ来ナイト思フ、大臣ハサウ御
心配ニナル必要ハナイ、根本對策ノ樹立ハ
誠ニ必要ダト思フ、併シナガラ對策ノ調査
會ト云フモノヲ、何トカ之ヲ始末ヲ一應付
ケテ置カスト云フト、進メナイト云フコト
ニナルト此ノ問題ノ練リニ練ッテ對策ノ調

査會ノ案ハ又初メカラヤリ直ス必要ハチッ
トモナイノデアッテ此ノ後始末ガ之ニ依ッテ
終了シナケレバ收拾ガ付カナイ、併シ收拾
ヲ付ケル所ノ案デアアルガ故ニ、是ハ成立セ
シメル必要ガアル、併シナガラ根本ノ問題
ハ焦眉ノ急ヲ要スルト云フコトヲ言ッタガ
爲ニ、此ノ新法ガ後始末ヲ付ケナクテ
宜イト云フコトノ議論ハ私ハ出テ来ナ
イト思ヒマスカラ、大臣ガ餘リニ政治ニ
練達ナルガ爲ニ、餘リニ心配ガ過ギル
ト思フカラ思ヒ切ッテ根本ノ對策ガ必要
ナリト云フコトヲ言明サレテ、私ハ差支ナイ
ト思フノデアリマスガ、是ハ私ノ考ト、大
臣ノ考ガ違フト言ヘバ仕方ガナイノデアリ
マスガ、サウ云フ意味デモウ少シ思ヒ切ッテ
言ッテ戴キタイ、大臣ト共ニ私ハ米穀問題ノ
將來ヲ心配シテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フ將來ノ米穀問題ノ解決ニ害ヲナスガ
如キ、茲ニ事態ガ生ズルコトハ希望シテ居
ルコトデナイトコトハ當然デアアル、モウ少シ
力強い大臣ノ考ヲ率直ニ言ッテ戴イタ方ガ
宜イ、個人ノ御意見ハ御聽キスル必要ガナ
イ、國務大臣ノ御意見ヲ我々ハ聽イテ居ル
ノデ、モウ少シ力強い御答辯ヲ願ヒタイ
○國務大臣(島田俊雄君) 私トシテ言ヒ得
ル限りハ申シタ積リデアリマスガ、只今松

村君ヨリ重ネテ御話ノアリマス意味ニ於テ、
此ノ差向キ統制法ノ強化ヲスル、補強工作
ヲスル意味ニ於キマシテ内外地一貫ノ精神
ヲ以テ、此ノ只今問題トナッテ居リマス自治
法案ヲ成立シテ之ヲ解決スルコトニ依ッテ、
米ノ問題ハ先ヅ一段落付ク、斯ウ云フ點ニ
於テハ政府モ左様ニ考ヘテ居リマシテ、此
ノ一段落ヲ付ケタ機會ヲ端緒トシマシテ、
根本ノ問題ニ進ミタイト斯様ニ考ヘテ居ル
コトダケハ言明ヲ致シマス
○委員長(子爵片桐貞次君) 時間デゴザイ
マスカラ午前ノ何ハ此ノ程度デ止メテ……
○伯爵有馬頼寧君 午前中ノ質疑應答ガ終
リマシテ今休憩ニ入ラレルヤウデアリマス
ガ、此ノ際チヨット私委員長ニ御願ガアルノ
デアリマス、先程松村委員ノ御質問ノ中ニ
付テ私委員長カラ松村君ニ御確カメヲ願ヒ
タイコトガアルノデアリマス、ソレハ農學
校ノ卒業生ハ産業組合ノ經營ニ從事スル資
格ガ無い、是ハ言葉ハ違フカモ知レマセヌ
ガ、農學校ノ農學ヲ修メタ者ガ産業組合ノ
仕事ヲシテ居ルカラ産業組合ガ皆ク行カナ
イト云フヤウナ御言葉ガアツヤウニ記憶
スルノデアリマス、是ハ速記録ヲ拜見シナ
ケレバ確カナコトハ分リマセヌガ、私ハサ
ウ云フ風ニ承ハッタノデアリマス、果シテサ

ウ云フコトヲ仰セラレタノデアリマスガ、委員長カラ御確カメヲ願ヒタイと思フノデアリマス、私ハソレヲ取消ヲ願ヒタイトカ、或ハドウ云フ理由デサウ云フコトヲ仰ッシヤルカト云フコトヲ承ラウトスルノデハナイノデアリマシテ、サウ云フコトヲ仰ッシヤツカ、仰ッシヤライカト云フコトヲハッキリ伺ッテ置キタイ、是ハ私一個ガ受ケタ侮辱ト申シマスガ、サウ云フ私憤ヲ申上ゲルノデハナイノデアリマシテ、日本ノ産業組合ニ從事シテ居リマスル者ノ中ニハ農學校ノ卒業生ガ非常ニ澤山アルノデアリマス、更ニ日本ノ産業組合ノ發展途上ニ於キマシテ少クトモ農學校ノ出身者ハ相當ナ貢獻ヲシ、努力ヲシテ來タト我々ハ自信致シテ居ルノデアリマス、私ガ聽損ヒデアレバ仕合セデアリマスガ、私ハ自分ノ受ケタ侮辱ニ對スル憤慨ト云フ意味デ申上ゲルノデハナイノデアリマス、現在ノ産業組合ニ從事シテ居ル多數ノ農學校ノ出身者、又五十萬ニ垂トスル全農學校出身者ノ爲ニ、私ハ一應松村サンノ御言葉ヲハッキリ承ハリタイと思ヒマス

○松村眞一郎君

私ノ申シマシタ言葉ガ、私ハ今日原稿ヲ持ッテ讀ンデ居リマセヌカラ、或ハ農學校ヲ侮辱シタト云フヤウナエ

合ノ、御感想ニナルトスレバ、私ハ其ノ行過ギタコトガ若シアレバ、ソレハ斯ウ云フ意味デアルト云フコトヲ申上ゲタイ、産業組合ノ中ニ商業教育ヲ受ケタ者ヲ採入レテ、仕事ヲスルト云フコトガ必要デアルト云フ意味ヲ申シテ居ル、農學校ト云フモノガ不完全デアルト云フ意味デヤナイ、農學校ノ教育ヲ受ケタ方ダケデ、狭ク産業組合ヲ御指導ニナルヨリモ、商業教育ヲ受ケタ人ヲモ包容シテ、仕事ヲヤツテ戴ク方ガ宜イト云フ意味ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、詰リ産業組合ヲ廣クシタイト云フコトデアリマシテ、ソレハ商機能ヲ産業組合デヤツテ戴キタイ、サウ云フ意味デアリマス、ソレハ農業教育ト云フコトノ關係ト、商業教育トノ關係ヲ私ハ申シテ居ル、ソレハ既ニ東京ノ商科大學ノ卒業生ヲ全購聯ニ採用シテ居ル、其ノ事實ヲ私ハ申シテ居ル、全購聯ニ商科大學ノ卒業生ヲ採用スルコトガ農學校卒業生ノ侮辱デアルト云フコトハナイと思ヒマス、農學校ヲ卒業シタ方モ、商科大學ヲ卒業シタ方モ、一緒ニ産業組合ガ非常ナ大キイ包容力ヲ持ツト云フ意味ニ於テ申シテ居ルノデアッデ、農學校ノ教育ガ不完全デアルト云フ意味デヤナイノデアリマス

○伯爵有馬頼寧君

只今ノ松村サンノ御言

葉ハ確カニ承ッテ居リマスガ、其ノコトヲ仰ッシイマス前デアリマシタカ後デアリマシタカニ、違ッタ意味ノコトヲ仰セラレタヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデアリマス、ソレハ速記録ヲ拜見致シマシテカラ改メテ申上ゲマス

○委員長(子爵片桐貞央君)

私モ今農學校

彼レ此レノコトヲ松村サンガ仰ッシヤツタコトハ、ハッキリ御答ハ出來マセヌガ、速記録ヲ拜見致シマシテ松村サンニ申上ゲタイと思ヒマス

○松村眞一郎君

私ハ農ト商トノ協調ノ方

カラ申シテ居ルノデアリマシテ、私ハ先程モ申シタ如ク農林省ノ方ニ職ヲ奉ジテ居タ方ガ長イ、産業組合ヲドウカシテ包容力ノ多イモノニシタイ、サウシテ商業教育ヲ受ケタ人モ産業組合ノ監督官ニ入レテ貰ヒタイ、サウシテ商業教育ヲ受ケテ居ル人モ産業組合ノ指導ヲシテ、商人ノ方デ引受ケテ居ル仕事モ産業組合デアルダケノ實力ヲ備ヘテ貰ヒタイト云フ意味デアリマス、國家ガ既ニ農學校ト云フ制度ヲ認メ、茲ニ商業學校……私カラ云ヘバ商ノ學校ト云フモノヲ茲ニ作ッテ居ル場合ニ、産業組合ハ農學校ノ卒業生ダケデヤツテ事足リルト云フヤウナ觀念ガ若シアリハシナイカト云フ意味

カラ私ハ心配シテ居ル、ダカラ商業教育ヲ受ケタ人ヲ包容シテ、廣ク産業組合ヲ助長シテ戴キタイト云フ意味デアルト申上ゲテ置キマス

○委員長(子爵片岡貞央君)

午前ノ會議ハ

是デ止メマシテ、午後一時半カラ開會致シマス

午後零時五分休憩

午後一時四十三分開會

○委員長(子爵片岡貞央君)

午前ニ引續イ

テ開會ヲ致シマス、前田子爵カラ質問ノ通告ガゴザイマシタカラ御許シヲ致シマス

○子爵前田利定君

私ハ昨日來豫算第一分

科會ノ方ヲ擔當致シテ居リマシタ爲ニ本委員會ニハ參席出來兼ネマシテ、甚ダ申譯アリマセヌ、皆様ノ御寛容ヲ願ッテ置キマス、諸テ今日只今マデ定メシ色々ナ權威ノアル重要ナ御質疑モアツタゴザイマセウシ、ソレニ對スル政府ノ御答辯モアツタコトデアラウト存ジマス、從ヒマシテ私ノ是カラ伺ヒマシヤウナ點ハ既ニ一應御質疑應答ガ御濟ミニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、若シ左様デゴザイマシタナラバ委員長カラ御注意下サイマシテ御差止メヲ願ヒタイと思ヒマス、私ハ米穀問題トハ大分深い因縁ガ結バレテ居ル一人デアリマシテ、即チ大正ノ中期ニ

設置サレマシタ米穀委員會、將又昭和三年頃ヨリ田中、濱口内閣ニ互リマシテ米穀調查委員會ノ委員竝ニ特別委員ノ一人トナリマシテ、永イ間米ヲ作ル方、米ヲ賣ル方、米ヲ食スル方、及ビ權威アル學者、帝國農會々長、外米商、朝鮮、臺灣ノ總督府ノ關係當局、貴衆兩院議員ノ多クノ名士、代表的ナ方ニ接觸致シマシテ名論卓說、蘊蓄ヲ傾ケ盡シマシタ論争ヲ多年伺ヒ知ルコトノ出來ル機會ガアリマシテ、有ユル米ノ對策、且ツ各向キノ間ニ於ケル立場上ノ御議論ト相對立セル利害ノ關係ニ付キマシテハ、耳學問デ大分教ヲ蒙ッタノデアリマス、尙記憶ニ存シテ居リマスノデアリマス、デ、先走ルヤウデアリマスガ、本案ニ對シマシテハ、私一個ト致シマシテノ贊否ノ意見ハ大體ハ吐ハ決ッテ居ルノデアリマスルケレドモ、併シ齋藤内閣以來今日マデ米穀調査會ニ關係ヲ持ッテ居リマセヌガ爲ニ、最近ノ情勢ヲ詳カニ致シマセヌカラ、私ノ信念ヲ固メマス爲ニ甚ダ幼稚ナ問デ皆様ニモ御迷惑カト存ジマスルケレドモガ、昨今各地ノ米穀商ヨリ頻々ト到來シテ參リマス陳情トカ、歎願書ニ記載シテアリマス數項目ニ付キマシテ、政府當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、是等數項目ニ對シマ

シテハ簡明ナ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマスルガ 但シ此ノ數項目ノ内ニ農村更生ノ政策トナルコト、竝ニ國家財政ノ輕減トニ重點ヲ置カレタモノノヤウニ本案ハ考察セラレマス故ニ第一生産者ニ利益デナイト云フコトト、第三國庫ノ負擔ハ激増スルト云フ、此ノ二項目ニ付キマシテハ他ノ項目ヨリモ稍、詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、其ノ數項目ト云フハ政府ノ御手許ニモ參ッテ居ルデアラウト思ヒマスケレドモ、第一ハ生産者ニ決シテ利益デナイト云フコトガ第一、消費大衆ノ生活ヲ脅威スルト云フノガ第二、國庫ノ負擔ハ激増スルト云フノガ第三、米穀商ハ生業ヲ奪ハレルト云フノガ第四、重大ナル社會問題ヲ惹起スルト云フノガ第五、販賣組合ニ本法ノ事業ヲ擔當セシムルノハ非常ニ危險ヲ伴フト云フノガ第六、衆議院ノ附帶決議ニ對スル當局ノ言明ハ安心ガ出來スト云フノガ第七デアリマス、此ノ中デ他ハ簡單ナ御答辯デ結構デアリマスガ、第一ノ生産者ニ決シテ利益デナイト云フ點ト、第三ノ國庫ノ負擔ハ激増スルト云フ二點ニ付キマシテハ稍、首肯ニ足ルヤウナ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○國務大臣(島田俊雄君) 前田子爵ノ御

尋ノコトニ對シマシテ、私ヨリ御答ノ出來マス點ニ付テ一應御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、尙詰細ナ點ニ付キマシテハ政府委員ヨリ御答ヲ致シタイト思ヒマス、生産者ニ對シテ利益デナイト云フコトニ付キマシテハ、是ハ利益ノ程度ノ問題ニ歸著スルト思フノデアリマスガ、此ノ本法案ヲ實施致シマシテモ農民中デ一番困ッテ居ル小農、貧農、サウ云フモノニ對シテハ何ラ利益デナイ、寧ロ大キナ力ヲ持ッテ居ル地主ナドニ對シテハ多少ノ利益ハアルカモ知レヌガ、利益デナイ、斯ウ云フヤウニ論ズル人ガアルノデアリマシテ、サウ云フ意味ガ只今御引用ニナリマシタ聲明書ト云ヒマスガ、其ノ方ニモ書カレテアルコトト思ハレルノデアリマスガ、徹底的ニ此ノ法案、此米ノ關係ノ法律ニ依リマシテ農村ノ救済トカ、更生トカ云フコトヲ、是ノミヲ以テ達スルト云フコトノ出來難イコトハ勿論デアリマシテ、是モ、本法案ノ如キモ其ノ點ニ於テ農村問題ノ解決ノ一ツノ働キヲ爲ス、斯ウ云フ意味ニ考ヘマシテ、本法案ハ生産者ニ取リマシテ、殊ニ此ノ一部ノ論者ノ申シマスル小サイ農民、サウ云フ方面ニ利益ヲ齎ラスモノデナイト云フ點ニ付キマシテハ、統制ニ依ッテ管理貯藏ヲナス場合、或ハ能力ノアリマ

セヌ場合ニ買上ヲナス、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ生産者ニ對シテ相當利益ヲ與ヘ、便宜ヲ與フルモノト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、殊ニ小サイ規模ノ農業者、或ハ小作人ト云フヤウナ小農、貧農ト稱スル所ノ人ニ對シマシテ、米ノ出來秋ニ於キマシテ供給ガ非常ニ多クナル爲ニ、需要供給ノ關係カラ致シマシテ値下リヲ生ズル、其ノ場合ニ於キマシテハ生産者ニ取リマシテ左様分ニ對シテ之ヲ統制ノ結果自治的ニ管理ヲスル、管理ノ能力ニ於テ困難デアル場合ニ於キマシテハ、相當ノ價格ヲ以テ政府ガ之ヲ買上ゲルト云フコトニナリマスカラ、出來秋ニ於テ安賣ヲスル、金ニ換ヘル方ニ急ギマス爲ニ、安賣ヲスルト云フ場合ニ於テハ安賣ヲスル所ヲ金ヲ借りテ、一番米ノ安クナル時代ニ於テ安賣ヲシナイデ済ム、斯ウ云フ點ニ於テハ確カニ貧農、小農總テ此ノ生産者側ニ利益ヲ與ヘル、ソレヲ金ニ換ヘタイカラ品ヲ持ッコトガ出來ナイ、賣ラネバ仕方ガナイト云フ時ニハ、其ノモノニ對シテ政府ニ向ッテ買上ヲ求メテ、規則ニ依ッテ買上テ貰フト云フコトニナリマスカラ、安賣ヲ免レルコトニナルノデアリマス、其ノ點ニ於テハ生産者ニ

取ツテハ非常ニ利益ヲ與ヘルモノデ、ソレガ一面カラ申シマス、米ノ消費者側カラ申シマス、却テ引上策デアル、斯ウ云フヤウナ非難ガ一方ニ於テハ行ハレルト云フヤウナ意味ニ於テ、ソレダケ生産者ハ此ノ法案ニ依ッテ保護サレル譯デアリマス、只此ノ場合ニ於テソレモウ出来タ時ニハ米ガ自分ノモノデハナイ、俗ニ申シマス青田賣ト云フヤウナ場合、或ハマダ米ヲ植付ケナイ前カラ、先ヅソレヲ引當ニシテ金ヲ借りテ居ルト云フヤウナ困窮シタ者ニ對シマシテハ、是ハ別ノ方法ヲ以テ、金融其ノ他ノ方法ヲ以テマシテ救済スルト云フコトデナケレバ、此ノ法案ニ依ッテ左様ナモノマデ區域ヲ擴ゲテ救済スルノ途ハ立テラレテ居リマセスケレドモ、現ニ米ヲ作ッテ持ッテ居ル其ノモノガ、出来秋ニ於テ安賣ヲシナケレバナラヌト云フ場合ニ對シマシテハ、確カニ本法案ノ發動ニ依リマシテ生産者ハ保護サレルモノト、斯様ニ考ヘル次第デアリマス、ソレト丁度逆ノ場合デ、是ハ消費者ニ對シテ利益ヲ與ヘナイト云フコトニ付キマシテハ、是ハ端境ノ時ニナルト云フト、今度ハ値上リヲスル傾向ガアル、此ノ値上リヲシマス場合ニ、マア殊ニ貧農ト云フ場合ニ付テ考ヘマス、貧農ハ出来秋ニ於テ

ハ、出来タモノヲ安ク賣ラナケレバナラス、安ク賣ッテ、手ニ米ガナクナッテ、端境期ニナルト、今度ハ値ガ上ルカラシテ、本當ニ米ガ要ル時ハ、高い値ヲ出シテ作ッテ自分ノ米ト同ジ米デハナイトシマシテモ、米ヲ安ク賣ッテ、高ク買ハナケレバナラス、斯ウ云フコトニナッテ、結局マア極端ナ場合ヲ言ヘバ、サウ云フ場合ニ於テ少クトモ消費者トシテ利益ガナイデヤナイカト云フヤウナ意味カラ考ヘマス、其ノ場合ニ於キマシテハ此ノ米ガ一定ノ値上リヲシマシタ場合、最低價格ヨリ一定ノ値上リヲ致シマシタ場合ニハ、其ノ統制米ヲ解除スルト云フコトニナリマスカラ、其ノ解除ノ結果供給ガ多クナルカラシテ端境期ニ於ケル値上リヲ防止スル結果ガ此處ニ生ジテ來ルノデアリマス、其ノ統制ノ作用ニ依リマシテ消費者側ニ對シテモ、殊ニ米ヲ作り、自分ノ米ヲ作リナガラ米ヲ買ハネバナラヌト云フヤウナ消費者ニ對シマシタ場合ヲ考ヘテ安賣ヲスル危険ヲ免レテ保護サレル、サウシテ高買ヲシナケレバナラヌト云フ場合ニハ値上リヲ防グ制度ニシテ、其ノ場合ニ又消費者側トシテモ保護サレル、是ヲ詳シクズツト申シマスレバ各場合ニ於キマシテサウ云フコトガアリマシテモ、結局米ノ値幅ト云フモ

ノガ生産費ヲ中心トシテ、其ノ値幅ノ上下ガ非常ニ狭クナル結果ト相成リマスカラ、其ノ點ニ於テ消費者モ相當ニ保護サレル、斯ウ云フ結果ニ相成ルヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ此ノ財政上ノ點ニ付キマシテハ、之ハ色々ナ場合ヲ考ヘマシテ、先ヅ最悪ノ場合ヲ考ヘマシテ、現在ノ統制法ヲ其ノ儘運用シテ行ク場合ヨリ惡クナル、現狀ヨリ此ノ財政上ノ點ガ本法案ノ實施ニ依ッテ惡クナルト云フコトハ、之ハドウ云フ風ニ想像致シマシテモ、サウ云フ場合ハ出ナイヤウニ考ヘルノデアリマス、却テ本法案ニ依リマシテ、米ノ出来秋ニ於テ過剩米ガ殺到スル、過剩米ノアリマシタ場合ニ從來米ノ統制法ノ場合ニ於キマシテハ無制限ニ買ハナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ建前ニナッテ居リマス、或ル値段ニ下ガル場合ハ幾ラデモ買ハナケレバナラス、其ノ場合ニ於キマシテ、管理ノ方法ニ依リマス、云フト、其ノ物ヲ大體統制組合、若シクハ其ノ代行機關ヲ通ジテ自治管理ヲセシメル、組合ニソレヲ貯藏セシメルコトニナルノデアリマスカラ、其ノ貯藏シタモノニ對シマシテハ、或ハ保管料トカ、其ノ他助成ハ致シマスケレドモ、各自ニ貯藏致シマスル結果トシテ、政府ガ巨額ノ金ヲ出シ

テ是マデヤツタヤウニ多クノ持米ヲスルト云フヤウナ、政府自ラガ買上スルト云フコトガナクナルノデアリマシテ、其ノ點ニ於テ國庫ノ負擔ト云フモノハ非常ニ減ゼラレル結果ニ相成ルノデ、支出ハ減ゼラレル結果ニ相成ルノデアリマス、一人モ自治管理ヲスル能力ガナイト云ッテ、政府ニ買上ヲ悉ク要求シテ來タ場合ニハドウナルカト云フ、サウ云フ最悪ノ場合ヲ想像シマス、統制法ニ謂フ無制限ノ買上ト云フ程度マデ進ンデハ來マスケレドモ、ソレ以上ハ政府ガ財政上ノ負擔ヲスルト云フコトハナイ譯デアリマス、一石デモ千石デモ統制セラレル過剩米ノ部分ヲ、自治管理ガ出来マシタ部分ニ付テハ、政府ハソレダケノ支出ヲスルコトノ必要ハナイ、尤モ其ノ保管サレタモノニ對シテ補助金等ノ負擔ヲ別ニシナケレバナリマセヌガ、ソレハ政府ガ持ッテ居ル場合デモ、負フベキ負擔ニ歸スル譯デアリマスカラ、大體ニ於テサウ云フヤウナ意味カラシテ、財政上ニ付テハ相當助カリマス、之ヲ數量ニ現シマシテ本年度ノ見込、或ハ明年度ノ見込ト云フモノヲ申上ゲルコトハ困難デアリマスケレドモ、之ハ大藏大臣モ左様ニ本會ニ於キマシテモ、衆議院ニ於テモ答ヘテ居ルヤウデアリマス、其ノ點ハ的確

ニ申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、現在ヨリ財政上ノ負擔ハ多クナルト云フコトハ、是ハナイト云フコトヲ申上ゲテ差支ナイ、デ幾ラカデモ少クナルコトハ、或ハ大ニ少クナルト云フ見込ガアルト云フコトニ付キマシテハ、程度問題デアリマスケレドモ、財政上矢張り相當ナ助カリニナルト云フコトヲ申上ゲテ差支ナイト申上ゲ得ルコトト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ第四ノ米商人ニ對シテノ問題ハ、是ハ屢マデ御質問モアリマシタコトデアリマスガ、此ノ法案トシマシテハ、別ニ米商人ニ害ヲ及ボスト云フコトハ、法案ノ中カラハ出テ來ナイト信ジテ居ルノデアリマスガ、唯此ノ場合ニ問題ニナリマスノハ、産業組合トノ關係デアリマス、販賣組合、産業組合トノ關係デアリマシテ、此ノ産業組合トノ關係ニ付キマシテハ、澤山ノ御意見モアリ、又事實ニ於テ此ノ點ニ付キマシテハ、曩キニ通過致シマシタ衆議院ノ附帶決議ニモ、其ノ趣旨ガ現レテ居リマス、又今回通過ニ當リマシテ、衆議院モ亦其ノ點ニ付キマシテハ、相當嚴重ナル附帶決議モ付ケテ居リマシテ、此ノ趣意ハ本案ヲ實行スルニ當ツテ十分ノ注意ヲシテ參リマシテ、尙政府ト致シマシテ此ノ産業組合ノ監督指導ノ機

關ノ充實ヲ致シマシテ、之ニ當ルコトニ致シマシタナラバ、産業組合ガ代行ヲ致シマシタ場合ノ弊害ヲ除クト云フコトハ、是ハ政府自身ノ責任トシテモヤラネバナラヌ事柄デアリマシテ、是ハ決シテ不可能ト云フヤウナ問題デハナイト思フノデアリマス、其ノ場合ヲ先ヅ別ト致シマシテ、サウシテ此ノ米商人トノ關係ヲ申シマス、米ノ商人ハ此ノ原案ニ依リマス、第二次ノ統制ヲ行ヒマス、サウシテ尙過剩米ガアルト云フコトガ發見セラレタ場合ニ、第二回ノ統制ヲ行フ、此ノ場合ニ於キマシテ米ノ商人ハ……既ニ生産者ノ手カラ離レテ米商人ノ手ニ米ガ行ツテ居ル、米商人ハ相當ノ價格デ米ヲ仕入レテ居リマス、ソレガ第二次統制ヲ行フト云フヤウナ程度ニ過剩米ガアル、斯ウ云フ場合デアリマスカラ、從ツテ値段モ非常ニ下ル傾向ヲ示シテ居ル場合デアリマス、其ノ場合ニ於テ米商人ノ手ニアル米モ亦統制ヲサレルト云フコトニナリマスカラ、手持米ガヨリ以上ノ値下リヲスルコトヲ免レルコトガ出來テ、又其ノ場合能力ガナイ時ニハ矢張り同ジヤウニ政府ニ矢張り一定ノ値段ヲ以テ買上ヲ要求シ、又求メレバ買上ゲテ貰フコトガ出來ルト云フコトデアリマスカラ、其

ノ點ニ於テハ寧ロ米商人ガ第二次ノ統制ヲ行フト云フヤウナ場合ハ餘リナイト思ヒマス、サウ云フ場合ガ起リマシタ場合ハ却テ保護サレル、斯ウ云フ不時ノ値下リニ依ッテ蒙ルベキ損害ヲ、統制法ノ第二次統制ニ依ッテ保護セラレル、斯ウ云フ結果ガ間接ニハ生レテ來ル譯デアリマシテ、本法案ノ産業組合ノ進出云々ト云フ此ノ問題ヲ、別ニ致シマス、米商人ハ寧ロ本法案實施ニ依リマシテ、或場合ニハ保護ヲ受ケルト云フ規定ガ含マレテ居ル、斯様ニ自分達ハ深ク信ジテ居ル次第デアリマシテ、米商人トノ關係ノ問題ハ只今此ノ産業組合ト他ノ所謂反産運動ト云フ問題ニ絡ミ附キマス、問題ニナル譯デアリマスガ、米商人ト販賣組合ト云フモノノ關係カラ申シマス、ソコハ此ノ不當進出、脫法的ノ活動、斯ウ云フコトニ對シテ、政府ガソレニ對シマシテ嚴重ナ監督ヲ加ヘル、斯ウ云フコトカラ申シマス、其ノ弊害、或ハ虞レニハ陷ラナイデ行クデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス、況ヤ本法案ハ過剩米ヲ取扱ヒマス主體ハ、原則トシテ統制組合デ、統制組合ノ出來難イ場合ニ、産業組合ヲ代行機關トシ、産業組合ノ存在セザル場合ニ農會ヲシテ代行サセル、斯ウ云フ風ニシテ、ソレガ何レ

モ許可ノ制度ニ依ッテ政府ガ特別ノ事情アリト認メテ許可スル場合ニ、之ガ行ハレルト云フ建前ニナツテ居リマスカラシテ、此ノ法案ガ眞直ニ是ガ行ハレルモノト致シマスレバ、米商人ガ害ヲ受ケルト云フコトハドウモ此ノ法案カラハ流レテ出ナイ、唯先キノ實施ノコトニ付テ氣遣ツテサウ云フコトヲ言フノデアル、寧ロ法案トシテハ第二次統制ノ場合ヲ言ヘバ、保護サレテ居ルト云フコトニ我々ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第五ノ此ノ重大ナル社會問題ヲ起スト云フコトニ付キマシテハ、是ハ觀方デアルト我々ハ考ヘテ居リマス、ソレデ此ノ法案ヲ阻止スルコトニ依ッテ或ハ之ヲ潰セバ、此ノ社會問題ガ無クナル、斯ウ云フコトヲ假リニ考ヘテ見マス、云フト、是ハ午前中モ松村君ノ御質問等カラ段々御答モ申上ゲタ次第デアリマスガ、米穀法ノ時代ヨリ前田子爵ハ御關係ニナリマシテ、能ク御承知ノコトト思ヒマスガ、米穀法ヨリ米穀統制法ニ及ビ、サウシテ遂ニ米穀統制法ノ缺陷ヲ補強スルノ意味ニ於テ、此ノ法案ヲ提出スルノ已ムナキニ至ツタ、此ノ經過ヲ見マス、云フト、此ノ儘ニ抛ツテ置クト云フト、ドウシテモ統制法ト云フモノノ補強的ノ行爲ヲ何カ茲ニ工作ヲスルノ必要ガア

ルモノト致シマス、此ノ法案ニ若シ代ルベキモノアリト致シマスレバ、其ノ代ルベキモノガ何等カ統制法ニ對シテハ相當補強ノ手段ヲ取ラザルヲ得ナイト云フコトガ今日ノ現状デアリマス、其ノ問題ヲ解釋セズシテ之ヲ遲延ヲ致シマスレバ却テソコニ社會問題ガ深刻化シテ來ルト云フコトノ私ハ虞ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、既ニ是ガ昨年ノ六十七議會ニ提案サレマシタ當時カラ、今日マデノ經過ニ見マス、ト云フト、米商人ノ假令ソレガ正解デアルニシテモ、誤解デアルニ致シマシテモ、將來ニ對スル心配デアルニ致シマシテモ、兎ニ角米商、或ハソレヲ繞ル所ノ人々ガ、本法案ニ對シテ反對ナスル、其ノ運動トカ、ヤリ方ト云フモノハ段々進シテ來マシテ、此ノ問題ヲ此ノ儘ニ致シテ未解決ニ致シテ置クコトコソ、重大ナル社會問題ニ到著スルノ虞ガアル、斯様ニ自分達ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ他ノ觀方モアリマスカラシテ、之ヲヤレバ重大ナ社會問題ヲ起ストスウ云フ觀方ト、之ヲヤラナケレバ現ニ起ッテ居ル社會問題ヲ深刻化セシメルト斯ウ云フ觀方ト、二様ニアルト考ヘルノデアリマシテ、我々ハ殊ニ政府トシマシテ、斯様な問題ニ付テ見透シノ議論ヲスルコトハ避ケナ

ケレバナラヌト思フノデアリマスガ、自分達ノ見マスル所ニ依リマス、此ノ問題ハ早キニ臨ンデ一日モ速カニ之ヲ解決スルト云フコトヲスルニ非ザレバ、現在進行シテ居ル、今日目前ニ横ハッテ居ル問題ヲ、ヨリ深刻ニ導ク虞ガアル、斯ウ云フ風ニ我々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレヲ導カナイ爲ニ之ヲ止メルコトガ出來ルカト云フト、止メルコトノ出來ナイ問題デアルカラ、寧ろ早キニ之ヲ片付ケテ、サウシテ實施ノ上ニ於テ米商人ガ想像シタヤウナ、恐レタヤウナ害ヲ蒙ルコトガナカッタ、又無イト云フコトヲ實施ニ當ッテ其ノコトニ付テ、之ヲ示スト云フコトガ、一番社會問題ヲ深刻化セシメザルノ方法デアル、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、此ノ問題自身ガ既ニ社會問題ト迄ハ行ッテ居ラヌカモ知レマセスガ、併シ或程度ニハ社會問題デア、少クとも政治上ニハ問題ニナッテ居リマスガ、此ノ政治上ノ論争ガ社會問題ニ根ヲ生ヤシテ居ル、政治上ノ論争ヲ一段落著ケルト云フコトハ、國家ノ爲ニ宜シイコトデア、斯様ニ我々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ此ノ産業組合ヲシテ、此ノ統制組合ヲ代行セシムルノ當、不當ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ實際ノ實情ニ付

テ御承知ノ通りニ前田子爵トセラレマシテハ、今日ノ我が國ノ實情カラ致シマシテ、農村ノ實際ノ實情カラ申シマス午前中松村君ノ御質問、御意見中ニモ斯様な又筋ハ筋デ行カナケレバナラス、統制組合ハ統制組合ノ筋ヲ以テ行ク、斯ウ云フ意味カラ言ヘバ産業組合ト云フモノガソコニ代行スルヤウナ形ヲ以テ多ク現レテ來ルト云フコトハ宜シクナイト云フ御議論ハ是ハ御議論トシテ傾聴スベキコトデアルト思フノデアリマスガ、實際ノ農村ノ實情ニ付テ言ヒマスト現在産業組合ニ致シマシテモ、其ノ他ノ組合ニ致シマシテモ、農村ノ實情カラ組合ヲ拵ヘルトカ、サウ云フ或モノヲ拵ヘマスト云フト有力者ト云フモノノ顔觸ハ大抵極ツテ居ルノデアリマス、ソコデ一ツノ組合ヲ拵ヘル時ニ甲ガ中心トナリ、他ノ組合ヲ拵ヘル時ニ乙ガ中心ニナルト云フコトデ行ハレテ居ル所ガアリ、行ハレテ居ラナイ所ガアル、一ツノ同ジヤウナ顔觸ノ人ガ色々組合ニ關係シテ居ルト云フノガ實情デアリマス、出テハ村長ニナリ、罷メレバ組合ノ指導者ニナルト云フヤウナ形ニ於テヤッテ、ソレガ隣保共助ノ實ヲ現シテ居ルノデアリマシテ、ソコデ産業組合ト云フモノガソコニ在リマシテ、サウシテ健全ノ發達ヲナ

シテ居ル、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ改メテソコニ統制組合ヲ又拵ヘサセテ、同ジ組合ノ所ヘ二ツノ看板ヲ懸ケサセルヤウニ迄スルノ必要ガナイ、斯様な場合ニ於キマシテハ其ノ組合ヲシテ代行セシムルト云フコトニ決シテ差支ナイ場合ガ多カラウ、又アリ得ルコトデアリ、又多カラウト思フ、現ニ全國ニ在リマス組合ノ數ハ相當多數デアリマシテ、中ニハ十分健全ト云フコトガ出來難イモノモアルガラウト思ヒマスケレドモ、ソレヲモノモノニ付キマシテハ實情ニ即シテ此ノ一々ニ就テ吟味シテヤルコトニ致シマシタナラバ此ノ代行ノ制度ト云フモノハ一排斥シテ去リカヌト云フコトニスレバ却テ此ノ運用ガ非常ニ不便利ニナル、利キ惡イヤウニナルノデハナカウカ、此ノ點ニ付キマシテモ相當此ノ是迄ニ至リマス經過ニ於テハ論議ヲ盡サレマシテサウシテ特別ノ事情ノアル場合ニハ許可ヲ以テ代行セシムルト云フ制度ヲ置イタ次第デアリマシテ、是ハ本法案ヲ實施スル上ニ於テハ萬已ムヲ得ナイ規定デアルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、尙其ノ弊害ノ生ズルコトニ付テハ相當ニハ注意シナケレバナラス、其ノ點ニ付キマシテハ監督ノ機關ニ付テ只今政府ノ持ッテ居リマス豫算ハ非常ニ貧弱デア

リマスカラ、之ニ付キマシテハ更ニ十分ノ調査ヲ加ヘマシテ、或ハ議會ノ協賛ヲ得ルヤウニ致サナケレバナラスト斯様ニ考ヘテ居リマスガ、代行機關ノ規定ハ左様ナ次第デアリマシテ、是ハ實施上カラ考ヘマシテ已ムヲ得ナイコトダト云フヤウニ考ヘル次第デアリマス、唯之ガ爲ニ世ノ人ノ言ッテ居リマス所ノ睡眠組合デアルトカ、赤字ノ組合デアルト云フヤウナ組合ガ此ノ統制組合ノ代行ヲスル機會ニ於テ救済サレル、斯ウ云フヤウナ弊害ニ陥ルコトガ若シアリト致シマスレバ其ノ事ハ嚴重ニ監督シ、注意シナケレバナラストデアラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ尙終ヒノ政府ノ斯ウ云フ問題ニ付テノ言明ハ云々ト云フコトニ付キマシテハ、所謂反對ヲスルトカ、或ハ之ニ對シテ好意ヲ持タナイ所ノ人々ノ方カラ言ヘバ、サウ云フヤウナ頼ミニナラスト云フコトガ言ヘルカモ知レスト思ヒマスケレドモ、時ノ當局、殊ニ自分ハ只今此ノ責任ノ位置ニ居ル者ト致シマシテハ、是等ノコトニ付キマシテ、言明シタル事柄ニ付キマシテハ十分責任ヲ持チ、サウシテ出來得ル限り其ノ言明ヲ早ク實現スルヤウニ努力スルト云フコトダケハ、是ハ信用ノ問題デアリマスカラ、其ノ以上強調スルコト

ハ却テ恐縮ニ存ズル次第デアリマスガ、斯様ニ自分共ハ考ヘテ、十分決心ヲ以テ、サウシテ言明シタルコトニ付キマシテハ又考慮ヲ約束シタルコトニ付キマシテハ、眞ニ考慮ヲシ研究ヲ致シマシテ、實現ニ導クヤウニソレヲシタイト云フ考ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、甚ダ不十分ナ點ガアラウト思ヒマスケレドモ、大體以上デゴザイマス

○子爵前田利定君 只今ノ農林大臣ノ御説明デ諒承致シマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(子爵片桐貞次君) 前田子爵ノ御質問ハ終ッテサウデゴザイマス、他ニ御質問ハゴザイマセスカ、オアリニナレバ願ヒマス

○石田三郎君 モウ質問ハ終リマシテ、誰デモ質問ヲ致シテ宜イヤウニナッテ居ルノデゴザイマス

○委員長(子爵片桐貞次君) 左様デゴザイマス

○石田三郎君 ソレデハ私質問ヲ致シタイト思ヒマス、此ノ場合當局カラ明確ニ一ツ言明シテ戴カナケレバナライ、サウシナイト、一般殊ニ農民ハ非常ニ疑惑ヲシハシナイカト云フ點ガ二三アリマスガ故ニ御

尋ヲ致シマス、米穀統制法ガ實施繼續サレマスル以上ハ、米穀自治管理法ハ實際ハ農民ニトッテ有難クアリマセス、所謂政府ノ管理ヲ農民ニ轉嫁スル譯デアル、尙又産業組合トシマシテモ有難イコトハアリマセス、唯迷惑一方デアリマス、即チ全部ノ米ヲ産業組合ガ貯藏致シマシテ、サウシテソレヲドウスルト云フコトナラバ産業組合トシマシテモ非常ニ便利デアリ、便利ニ越シタコトハアリマセスケレドモ、一部ノ過剩米ヲ政府カラ命ゼラレテ、サウシテ其ノ統制ノ實行ノ御役モ勤メル、尙其ノ貯藏、保存ノ責任ヲ負ヒ、之ヲ賣ル場合ニハ政府ガ解除シマシテ、政府ガ買フ時分ニ、政府ニ米ノ買上ノ手傳ヒヲスルダケデアリマスカラ、産業組合ハ此ノ自治管理法ノ實施ニ付テハ非常ニ迷惑デアリマス、唯此ノ過剩米ヲ貯藏致シマスルト、自然農民ノ貯藏米ガ殖エルデアラウ、統制米以外ノ貯藏米ガ殖エルデアラウ、斯ウ云フ懸念ハアルノデアリマサガ、サウアッテこそ、初メテ此ノ自治管理案ノ目的ヲ達スル、サウ云フ風ニ農民ノ作ッタ米ガ全部貯藏サレルヤウニナリマスルト、此ノ統制米以外ノ米ハ全部産業組合ノ力ニ依ッテ販賣セラレルデアラウ、斯ウ云フヤウナ商人ノ話モアリマスガ、唯机ノ上デ聞キ

マスルト尤モノヤウデアリマスルケレドモ、實情ハサウナッテ居リマセス、私ガ知リマシタ範圍デハ實情ハサウナッテ居リマセス、倉庫ニ米ヲ委託致シマシテモ、販賣權ハ何處マデモ委託者ニアル譯デアル、産業組合ハ其ノ勞ヲ執ッテ居ルニ過ギナイノデアリマス、今産業組合ガ賣ッテ居リマサル方法ハ、豫約ト入札デアリマスルガ、私ガ知り得タ範圍ハ工場、會社ナドニ産業組合ガ豫約致シテ居リマスルノハ一割乃至二割、後ノ八割ハ皆競争入札ニ附シテ商人ノ手ニ行ッテ居ルノデアリマス、ソコデ唯是ハ數字ニ依ッテノ話デアリマセスカラ、農林省デ各産業組合ガ豫約賣出、競争入札ノ賣高ノ數ガ分ッテ居リマスレバ、明瞭ニナルコトト思フノデアリマス、若シ數字ガ分ッテ居リマスレバ斯ウ云フコトヲ御示シシテ戴キマシテ、サウシテ商人ニハッキリ見セテ貰ッタナラバ、疑ガ解ケルデヤラウト思フ、唯此ノ案ハ百姓トシテハ有難迷惑デアルニモ拘ラズ、通過スルヤウニ希望致シテ居リマスル理由ハ、百姓ノ作ッタ米ヲ何時迄モ御上ニ保管サセテ、サウシテ國ニ迷惑ヲ掛ケテ米ノ値ヲ維持シテ貰フト云フノハ餘リ有難過ギル、ソレデ御上ニ對シテモ成ルベク迷惑ヲ掛ケナイヤウニ、自分等ノ作ッタ米

ハ成ルベク自分等デ處置ヲ、スルヤウニスル
ノガ、眞ノ農民デハナイカ、唯ソレダケデ
アリマス、此ノ自治管理法ヲ農民ガ希望致
シテ居リマスルモハ、政府ニ迷惑ヲ掛ケ
ルト云フヤウナ懸念モ何モナクシテアリマ
スレバ、米穀統制法ガ現存シ、繼續サレサ
ヘシマスレバ、農民ハ斯ウ云フモノハナク
テ宜シウゴザイマス、ソコヲ能ク商人アタ
リモ見テ貰ハニヤナリマセヌ、然ルニ若シ
非常ニ生産者ニ利益ナル法案デアルガ爲ニ、
産業組合モ抑壓シロ、何ヲア、セイ、斯ウ
云フ風ニナリマスルト農民カラ申シマスル
ト、角ヲ矯メテ牛ヲ殺サレルヤウナ仕方ニ
農民ハナルト思フノデアリマス、ソレデ茲
デ御尋ネ致シタイト思ヒマスルコトハ、此
ノ案ガ出マシタ後ニ産業組合ヲ抑壓セイ、
モウ少シ能ク検査シ、サウシテ不法行爲ヲ
セナイヤウニセイト云フヤウナ空氣ガアル
ヤウデアリマスルガ、農林大臣トシマシテ
ハ、矢張りサウ云フヤウナコトヲ留意セラ
レデ、産業組合ノ發達ドコロカ抑壓スルト
云フヤウナ御氣分ガアルカナイカ、モウ一
ツハ生産米ヲ制限シナケレバナラス、斯ウ
云フ話ガ出マシテ衆議院デモ附帶決議ニ出
タラウト思ヒマス、是ハ先刻質問ガアリマ
シタ通り、兎ニ角米ノ足ラナイ時トカ、多

過ギル時ニ、緩和スルト云フノガ本案ノ趣
旨ニハナッテ居リマススケレドモ、洗浚ヒ申上
ゲマスレバ過剰米ノアル爲デアリマス、ソ
レデ過剰米ノナイヤウニ目下ノ所ハスルト
云フノガ根本對策デアラウトハ思ヒマスル
ケレドモ、内外ノ生産米ヲ制限スル、斯ウ
云フヤウナ話ヲ能ク聞キマスノデゴザイマ
ス、内地ノ生産米モ制限サレル御考デアル
カ、制限サレルトスレバ如何ナル方法ヲ以
テ制限シヨウト云フ御考案デアルカ、此ノ
二箇條ヲ御尋ネ致シマシテ、サウシテ農民
竝ニ商人ノ疑惑ヲハッキリスルヤウニ御説
明願ヒタイノデアリマス
○國務大臣(島田俊雄君) 産業組合ノ扱ヒ
マス販賣米ニ付キマシテハ、只今石川議員ノ
御述ニナリマシタ通り、大體販賣米ノ扱ヒ
ハ入札、其ノ他ノ方法ニ依ッデアルノデアリ
マスガ、從來ノ成績ヲ見マスト云フト、販
賣米ノ八割乃至九割ハ悉ク商人ノ手デ扱ッ
テ居ルト云フノガ事實デアリマス、ソレガ
此ノ産業組合ガ不當ニ進出スレバ、其ノ領
域ガ恰モ何モナクナルカノ如クニ言ハレテ
居リマススケレドモ、左様ナコトハ是カラ後
ト雖モナカラウ、斯ウ思フノデアリマス、
況ヤ此ノ點ニ付キマシテ、世上ノ聲ニ鑑ミ
マシテ注意ヲ致シマスレバ、矢張り成績ハ

統計ノ示ス通りニ、將來ト雖モサウ云フヤ
ウナ成績デ行クモノデアリマシテ、米ヲ産
業組合ノ拂下デ賣出スト云フ扱ヒハ結局商
人ノ手ヲ經ルノ外ナイモノダ、斯ウ云フ風
ニ思フ、又サウ云フ風ニナルベキモノデア
ル、ナラセルヤウニシタラ宜イダラウ、斯
ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ本
法ノ何ニ依リマシテ産業組合ノ壓迫ヲスル
ト云フコト、是ハ昨日デアリマシタカモ御
答ヲ申上ゲマシタト思ヒマスガ、左様ナコ
トハ決シテ考ヘテ居ラスノデス、健全ナル
本旨ニ從ッテ、健全ナル發達ヲ期スル上ニ於
テ指導監督ヲスルト云フノデアリマシテ、
ソレアルガ爲ニ産業組合ヲ壓迫スルトカ、
サウ云フヤウナ考ヲ持ッテハ居ラナイト云
フコトヲ言明シテ置キマス、ソレカラ生産
制限ト云フコトニ付キマシテハ、殊ニ内地
ニ付テノコトデアリマスガ、是ハナカノ
困難ナ問題デアリマシテ、申ス迄モナク人
口ノ増加ト云フコトニ伴ヒマシテ、食糧ノ
問題ト云フモノハ必ズ之ニ伴ッテ居ル、食糧
中ノ最モ重キヲ占メテ居ル米デアリマス、
サウシテ現在ノ儘ニ放ッテ置キマスト云フ
ト、道路デアリマスとか、或ハ種々ノ土木
工事、若シクハ災害等ノ爲ニ耕作ノ面積ト
云フモノハ、放ッテ置ケバ段々減ル傾向ニ

ナッテ居ル、之ヲ補ッテ行クダケデモモウ相
當ノ仕事トシテ、政府ハ常ニ其ノ點ニ注意
ヲシテ居ラネバナラス、況ヤ將來自給自足
ト云フヤウナコトニ付テ、内地標準ニ於テ
考ヘマスと云フト、容易ニ此ノ減反トカ制
限ト云フコトニ付テハ言フコトノ出來ナイ
事情ニアルヤウニ考ヘマス、唯其ノ外地ノ
事情カラ米ヲ増産計畫ト云ッデアルヤウナ
場合ニ於テ、非常ナ二年モ三年モ豐作ノ後
ヲ承ケルヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ
時ノ事情トシテ減反、或ハ制限ト云フコト
ヲ言ヒマススケレドモ、大體ノ上カラ申シマ
スレバ、米ハ或程度ノ生産ノ力ト云フモノ
ハ、維持スルコトヲ考ヘテ行カナケレバ、此
ノ食糧問題ト云フモノニ對スル對策トシ
テハ、其ノ點ガ非常ニ必要ナコトデハナカ
ラウカト左様ニ考ヘテ居リマスガ、内地ノ
事情ニ付テ申シマスと、開墾助成、或ハ耕
地整理其ノ他ノ意味ニ於キマシテ、是ガ増
産計畫デアルカノ如クニ見エマススケレド
モ、ソレハ潰レ地等ノ關係カラ言ヒマスと、
ドウシテモサウ云フコトハ少クトモ補ッダ
ケノコトハ無論シテ行カナケレバナラス尙
内地ニ於キマシテモ地方ニ依リマシテ、矢
張り此ノ開墾ヲマダ進メテ行カナケレバナ
ラス地方モアル次第デアリマシテ、之ヲ一

概ニ唯或事情ノ下ニ、直チニ生産制限ヲ方針トシテスル、シナイト云フコトヲ申上ゲルコトハ、非常ニ困難ナ事柄デアルト思フ、現状ヲ維持シテ行クト云フコトヲ少クトモヤラナケレバナラス、現状ヲ維持スルト言ヘバ人口ガ殖エマスカラシテ、ソレニ應ジテ幾ラカ増産シテ行クヤウナ傾ガアルト云フコトハ是ハドウモ當然ノコトデヤナカラウカ、ソレヲ増産計畫ト、斯ウ云フ風ニ言ヘバ總體ノ數ニ於テ増産スルト雖モソレガ直チニ増産計畫デアルト云ツテ之ニ論議ヲ加ヘルト云フコトモ如何ノモノデアるか、其ノ點ニ付キマシテハ制限ヲスルシナイト云フコトニ付テ、直チニ「イエス」「ノー」ト云フコトノ御返事ハ出來カネマ스가、嚴重ナ制限ヲ加ヘテ減産ノ方針ヲ持ツテ居ルト云フコトハ絕對ニナイト云フコトダケハ申上ゲテ宜イト思ヒマス

○石川三郎君 今ノ農林大臣ノ御説明デ能ク分リマシタ、農民ノ疑惑モ解ケルコトト思フノデアリマス、是ハ少シ問題ガ外レ、質問者モ多イ、時日モナイノニ御氣ノ毒デアリマスルケレドモ、農民ノ聲デアリマスルカラ、御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、今農村農民ノ更生策トシマシテハ自力ヲ本體ニ致シテ居リマス、自力ヲ本體ニ致

シテ居リマスル以上農民ノ使フモノハ成ルベク自分デ拵ヘ、サウシテ自分デ使用スルト云フ建前デヤツテ來テ居ルノデアリマス、此ノ趣旨ガ能ク徹底シマシテ、其ノ熱ガ農民ニ上リマシタ結果トシテ今日農民ノ使用スル所ノ、一番農村經濟ニ關係ノアル肥料ヲ工業家ニ造ラセルト云フノハ間違ッテ居ル、農民自信ガ造ッテサウシテヤラネバナラスト云フ聲ガ高クナリマシテ、農民關係ノ各大會ニ於テ農民ガ自給自足出來ルヤウニ一ツセネバナラスト云フ決議ガ頻々ト起ッテ居ルノデアリマス、其ノ方法トシマシテハマダ確定ハ致シテ居リマセスケレドモ、原則トシテハ今ノヤウニ、自給自足カラ肥料ハ農民デ造ラネバナラス、其ノ方法トシテ先ツ全購聯ニ造ッテ貰フ方ガ宜カラウ、斯ウ云フヤウナ聲ガ盛デアッテ、サウシテ決議ヲ頻々サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ點ニ對シテ農林大臣ハドウ云フ風ニ御觀察御考ニナッテ居リマスカ、御尋ネ致シマス

其ノ趣意ハ、金デ買フ所ノ肥料ノ中ノ主ナルモノヲ、之ヲ豐富ニ供給シ、且ツ低廉ナル價ヲ以テスルト云フ趣意カラ出テ居ルノデアリマス、其ノ只今出テ居リマス法案ニ付テハソレガドウモ徹底シテ居ラス、斯ウ云フヤウナ御意見ヲ聞クヤウデアリマスガ、從來日本ノ實情カラ申シマス、御承知ノ如ク肥料ノ製造ト云フモノガ非常ニ振ハナカッタノデアリマス、近時軍需工業、國防上ノ關係等カラ致シマシテ、化學肥料、所謂金肥ト云フモノノ製造ガ非常ニ盛ニナリマシテ、其ノ盛ニナッタ結果、今度ハ之ニ對シテ統制ヲ行フト云フ議論ガ起ッテ來ルト云フ程度ニ進歩シタノデアリマス、デ之ヲ更ニ進メマシテ豐富ナ供給、低廉ナル價ト云フコトカラ、更ニ此ノ製造者ハ、農民自體ガ之ヲ造ル、斯ウ云フ消費者自體ガ肥料ヲ造ルト云フ意味デ、全購聯ガヤルトカ、或ハサウ云ツタヤウナ只今御話ノヤウナ趣意ノコトヲ私モ耳ニ致シテ居リマスケレドモ、只今政府ト致シマシテハ現在今肥料製造業ニ對シテ相當ナ統制ヲ加ヘテ漸次其ノ目的ヲ達シテ、豐富低廉ナル肥料ヲ供給シ得ルヤウニ導イテ行カウト云フノ趣意デ出發シテ居ル次第デアリマシテ、今直チニ之ヲ國營ニシマストカ、或ハ國家管理ニシマストカ、或

ハ之ヲ産業團體ノ自治ニ一任スルトカ、斯ウ云フヤウナ風ニ先ノ目的ヲ定メテ進行シテ居ル譯デヤナイト考ヘテ居リマス、是ハ省ト致シマシテハ、商工、農林兩省ニ關係ヲ致シテ居リマス、尙財政上ノ方ニモ關係ガアリマスカラシテ、其ノ先ノコトニ付テ、直チニ此處ニ申上ゲルコトハ致シ兼ねマスケレドモ、今出テ居リマス法案ノ趣意ハ今右申上ゲタヤウナ次第デアリマシテ、御趣意ノ大體ニ於テハサウ云フ方向ニ目下向ッテ行クモノデアルト、斯ウ云フ風ニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石川三郎君 私ノ質問ハ是デ打切リマス

○子爵立花種忠君 簡單ニ伺ヒマス、先程前田子爵ノ御質問ニ對シテ、大臣ヨリ御答ガアリマシタル中ニ、或ハ私ノ伺ヒ違ヒカモ知レマセスガ、青田ノ引當賣ノモノニ對シテハ別ノ方法ヲ以テ、救済スル要ガアルト云フヤウニ仰セラレタヤウニ思ヒマスガ若シ果シテ然リトセバ此ノ別ノ方法ナルモノハ既ニ何カ案ヲ御持チニナッテ居ラレルノデアるか、或ハ今後速カニ御考ニナルト云フコトデアリマスカ、少シ私ニ徹底致シテ居リマセヌノデ伺ヒタイト思ヒマス、モウ一ツハ小農、或ハ貧農ト申シマスカ、小農ガ自家用ノ米穀ヲ寄託シテアリマシタ場

合ニ、ソレガ自分ガ今飯米トシテ之ヲ必要トスルト云フコトガ起ツタ場合ニ、速カニ之ニ對シテ解除ノ途ヲ講ジテヤルト云フヤウナ方法ガ有リデアリマスカ如何デアリマスカ、全ク私門外漢デ條文ヲ能ク讀ンデ見テモ分リセヌガ、或ハ其ノ爲ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得ト云フヤウナコトモアルト思ヒマスガ、思達ヒカモ知レマセヌガ簡單ニ之ヲ解除スルト云フコトハ出來ナイノデアリマスカ、如何デスカ、甚ダ妙ナ御質問ヲ致スカモ知レマセヌガ、若シモ御答ヲ戴キマスナラバ結構、ナクテモ宜シウゴザイマス

○國務大臣(島田俊雄君) 只今私ノ申シマシク青田賣等ノ場合ト云フノハ是ハ農村ノ窮狀ニ付テノ場合ノ御話ヲ申上ゲタ次第デアリマシテ、斯様ナ場合ニハ、尤モ越後邊リニハ酷イノガアル、青田賣ルト云フノハ青田賣ルト云ヒマスガ、實ハ金ヲ借りナランデアリマス、其ノ前ニマダ青田ニナラナイ苗代ニ苗ガアッテ植付ケヲシナイ時カラ既ニ植付出來タ場合ヲ想像シテ金ヲ借りル、其ノ以前ニ雪ノ積ンデ居ル時代ニ、又苗代ヲ作ラナイ前カラ出來秋ヲ見込ンデ金ヲ借りテ居ル、サウ云フヤウナ酷イ狀態ニアルト云フコトヲ述ベラレマシテ、サウ

云フモノハ何等此ノ法案ニ依ッテ救ハレナイデヤナイカト云フヤウナ質問ガアリマシタ際ニ、ソレハ農村ノ窮狀ノ實情ト云フコトデアッテ左様ナモノニ對シテヤル場合ニハ是ハ主トシテ農村金融ノ方カラスベキ事柄デアッテ、之ニ付テハ別ノ建前カラ此ノ救済ノ途ヲ講ジテヤラネバナラス、現在ニ於キマシテモ農村ノ金融ニ付キマシテハ、或ハ負債ノ整理デアリマストカ、サウ云フ方法ニ付テ此ノ度ノ豫算ニ出テ居リマス農村ノ更生計畫ト云フヤウナモノノ上カラシテ、漸次農村ノ更生ヲ圖リ、左様ナモノニ對スル途モ講ゼラレテ居リマスケレドモ、只今指摘サレマスヤウナ事柄ニ付テハ別ニ金融ノ方面カラ考慮、研究シテ對處スベキ事柄デアルト信ズル、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシテ其ノ途ニツキマシテハ大イニ考究ヲシマシテ適當ノ處置ヲ執ラナクチヤナラスト思フト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、ソレカラ小農ガ寄託米ヲ致シマシテ、サウシテソレヲ飯米等トシテ解除ノ必要ガアル場合ニ解除ヲスルコトニ付キマシテ、其ノ寄託米ニ對シマシテハ寄託者ガ希望スル場合、或ハ能力ノ乏シイ場合ニ於キマシテハソレニ對シテ或ハ買上ヲスルトカ、若シクハ金融ノ途ガ開カレテ居リマス

ルカラシテ、斯様ナコトニ依ッテ此ノ問題ハ解決ガ出來ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、細カイ詳シイ點ニ付キマシテハ政府委員カラ申上ゲタ方ガ御分リニナルドラウト思フノデアリマス

○政府委員(荷見安君) 只今ノ御話デゴザイマスガ、大體此ノ自治管理法ニ依リマシテ貯藏ヲ命ゼラレマスル統制組合ノ組合員ナルモノノ資格ハ、原則ト致シマシテ標準ガ自家五反歩以上ノ水田、小作一町歩以上ノ水田ヲ耕作スルモノト致ス積リデゴザイマシテ、サウシテ其ノ上販賣米ノアルト云フコトガ常デアルヤウナモノヲ組合員トスルト云フ積リデアリマス、ソレデ貯藏ヲ命ジマス分ハ普通内地ト朝鮮、臺灣ヲ通ジテ五百萬石ト致シマシテモ、前ニ申上ゲマシタヤウニ、内地デハ玄米デ百五十萬石ノモノガ全國ニ割當テラレルノデアリマスカラ、數ハ極メテ少イノデアリマス、又小農デアリマシテ、ドウシテモ賣却シテシマハナケレバ困ルト云フヤウナ場合、ソレカラ資金ノ必要ナモノニ對シマシテハ是ハ低利資金ヲ融通スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、從ッテ貯藏米ニナリマシタモノニ付テハ農家ハ必要デアリマスレバソレノ最低價格ニ近イモノハ資金トシテ借受ケルコトガ出來

ルコトニナッテ居リマスカラ、總テ借受ケルノデハナカラウカト思ッテ居リマス、サウ致シマスト云フト是ハモウ實質ハ最低價格デ賣ツタト同ジヤウナ狀態ニ置カレル譯デアリマスカラ、大體米價ガ最低價格ノ上値一割程度ニ達シマセヌ場合ニハ、解除致シマセヌデモ餘リ困ルコトガナク行ケルノデヤナイカト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 立花子爵、宜シウゴザイマスガ

○子爵立花種忠君 宜シウゴザイマス

○小林嘉平治君 昨日來ノ質問應答ニ依リマシテ私共大變得ル所ガアリマシタケレドモ、先刻前田子爵ノ仰セラレル通り大體此ノ問題ノ見透シモ付イタヤウナ感じガ致スノデアリマス、諸テサウナリマスト極ク大切ナ一ツノ問題ガ此ニ在ルノデアリマシテ、先刻來御話ノヤウニ、此ノ問題ハ外地米ヲ如何ニスベキカト云フコトヲ解決スル意味デ出來上ツタ法案デアルノデアリマシテ、サウシマスト此ノ統制法ノ出タ時分ニモ屢々問題ニナリマシテ、政府カラモ未ダニハッキリシタ御示ヲ願フテ居ラス、即チ朝鮮、臺灣米ノ生産費ガ一體ドノ位デアアルカト云フ此ノ數字デアリマス、此ノ點ニ觸レマシテハ私共モアノ當時政府當局ニモ色々御伺ヒモ

シタノデアリマス、其ノ當時朝鮮ノ當局カラ數字モ見セテ戴イタノデアリマス、又其ノ根據モ色々御示ヲ願フタデアリマスガ、私共ノ満足スル數字ハ得ナカッタ、我々ノミナラズ外ニモサウ云フ考ヲ懷カレタ方が多カッタノデ、政府自身モ其ノ點ニ思ヒヲ致サレマシテ、確カ其ノ調査ノ爲ニ特別ノ施設ヲ設ケラレタコトヲ記憶致シテ居リマス、然ルニ未ダニ我々ニ御示シ下サルヤウナ生産費ヲ見出スコトガ出来ナイト云フノデ、現ニ先刻私共ノ手許ニ頂戴シタ参考書ノ中ニモ其ノ調査ハ、臺灣、朝鮮デハドノ位ノ戸數ニ付テ調べタカト云フヤウナ書類ハ頂戴シタケレドモ、肝腎ノ生産費ガドレダケデアルカト云フコトハ御示ガナカッタノデアリマスガ、政府ニ於カレマシテハ之ヲ御示シ下サル程度ノモノガ既ニ出来テアルノデスカ、其ノ點ヲチヨット御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(島田俊雄君) 外地米ノ生産費調査ノコトニ付キマシテハ、衆議院ニ於キマシテモ屢、御質問ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ、是ハ是マデ調査ヲスベキ建前ヲ以テ進行ヲシテ居ルノデアリマスガ、何分實際ニ此ノ法案ノ實施ト云フコトノ域ニ達シナイト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、調査ヲ

スベキ對象タル農家トカ、サウ云フモノノ選定、其ノ他ニ付キマシテ非常ニ困難ガアリ、又關係者間ニ於テ色々意見モアリマシテ、ソレデハ主トシテ内閣調査局ノ方ニ於キマシテ原簿ヲ取寄セ、色々研究シテ居ルノデアリマスケレドモ、マダ責任ヲ以テ的確ニ議會ニ此ノ程度ノ報告ヲ得タ報告ヲシ得ル程度ニ達シテ居リマセス、大體ニ於テ朝鮮、臺灣ガ、朝鮮ハ内地ヨリモ低ク、臺灣ハ又ソレヨリモ低イト云フコトハ皆考ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテノ調査ノ仕方ト云フコトニ付テ、是迄ズット繼續シテヤツテ居リマス所ニ依リマスト、丁度内地デヤツテ居リマス生産費ニ付テ申上ゲルコトノ出来ルヤウナ程度ニ迄ハ此ノ外地米ノ生産費調査ト云フモノガ結論ニ達スルコトガ出来ナイヤウナ状態デアルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、併シ此ノ法案ガ實施サレル場合ニ於テハ是ハ嚴格ニ速カニ調査ヲ進メマシテ、的確ナ數字ヲ得ルヤウニ努メナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○小林嘉平治君 私共ガ此ノ統制案ノ出タ時分ニ自分共ノ手許デ調べタ所ニ依リマスト、尤モ是ハ今ノ外地ナリ、又帝國農會ノ調査書類ニ基イテ自分共ガ調べタノデアリマスルガ、其ノ當時内地米ハ凡ソ二十三圓圓、臺灣ハ十三圓餘リ、又朝鮮ハ十六圓餘リト云フ數ヲ見出シタノデアリマス、要スルニ内地ト臺灣ノ間ニハザツト十圓、朝鮮トノ間ニハ五六圓ノ差ガアル、又常識的ニ判斷シテモ其ノ位アルノガ普通デアラウト云フコトヲ見出シテ、色々政府當局ニ迫リマシテ、サウシテ材料ヲ求メマシタ結果得タ所ニ依リマスト、朝鮮ニ付キマシテハ殆ドモウ内地ト大シタ隔リノナイ、二圓ノ差ノモノヨリ御示シナラナカッタノデアリマス、大變私ハ意外ニ思ヒマシタノデ、其ノ調査材料ニ付テ更ニ御示シテ願ッテ個人トシテ色々御説明ヲ願ッタノデアリマス、只今政府當局ノ御辯明ノ通り、私共自身トシテ机ノ上デアアルガ、其ノ材料ニ信ヲ置クコトハ出来ナカッタト云フ實情デアッタノデアリマス、今政府當局ガ此ノ際其ノ現レテ居ル數ヲ御示シ下サラスト云フ所ニ非常ニ私ハ意味ノ深イコトヲ承知致シテ居リマス、ドウカ實施ノ曉ニハ只今御言明ノ通りニ、一ツ事實ニ即シタ基礎ニ於テ慎重ニ一ツ御調べ願ヒタイ、此ノ數字ガ即チ外地米ヲ買上グルト云フコトニ非常ニ影響ガアルノデアリマシテ、サウシテ又之ガ買上値段段ト云フモノガ、外地米ノ生産制限ト云フコトニ

直接ノ影響ヲ持チ來スト云フコトハ御案内ノ通りデアリマス、私ハ決シテ此ノ際具體的ノ數字ヲ聽カシテ戴カウト云フノデハナイ、寧ロ御答ヘ下サラス所ニ、非常ニ慎重ナ態度ヲ御持チ下サルト云フコトヲ痛感スル次第デアリマス、ドウカ宜シク御願ヒ申上ゲマス

○塚本清治君 少シ御伺ヒ致シマス、所謂過剩米ヲ内地、朝鮮、臺灣ニ割當ツルニ當ッテ、米穀ノ自治管理法案ノ附則ノ定ムル所ノ、内地三十五、朝鮮四十三、臺灣二十二ト云フコトニ立案セラレタ御趣意ヲ承リタイ、趣意ト申シマシタガ、其ノ率ノ割出サレマシタ理由ヲ説明シテ頂キタイ

○政府委員(荷見安君) 此ノ附則ニアリマス貯藏方ヲ命ジマス場合ノ、朝鮮及ビ臺灣ノ割當ノ割合ヲ定メマシタノハ、大體米價ノ下落ト云フコトガ多ク、詰リ米穀ノ供給ガ多イ爲ニ、米價ガ最低價格ノ方ニクツ附イテ來ルヤウニナリマスノハ、要スルニ市場ノ供給米ガ増加スルノガ原因デアリマシテ、其ノ供給ノ増加シマス原因ハ何デアルカト申シマスト、内地ニ於テハ生産ノ多イ府縣カラ市場ヘ出マス米ガ原因デアリマスシ、又朝鮮、臺灣カラハ内地ニ移入サレマスル米ノ數量ノ増加致シマシタト云フコトガ

原因デアリマスノデ、詰リ内地、朝鮮、臺灣カラ市場へ出廻ル米ノ増加ノ狀況ト云フコトヲ、大體ノ標準ト致シマシテ、割當デタ方ガ宜クハナカラウカト云フノデ、過去十年間ノ管外移出米ノ増加ノ趨勢ヲ算出致シタノデゴザイマスガ、ソレニ依ッテ割合ヲ出シマスト云フト、大體内地ノ方ガ三〇・六

九「コムマ」幾ツト云フコトニナルノデゴザイマシテ、大體ガ三十一、六十九ト云フ程度ノ割合ニナルノデゴザイマス、ソコデ其ノ他ニ矢張り米穀ノ管外移出數量デアルトカ、或ハ米穀ノ豐凶ト云フヤウナコトガ色

色アリマセウカラ、サウ云フ點ヲ見レバ、サウカツチリ十年間ノ數量ダケデ出スト云フヨリハ、ソコニ餘裕ヲ存シマシテ、大體内地ガ三十五、朝鮮、臺灣ガ六十九ト云フヤウナ標準ニ決メル方ガ穩當デアラウト云フコトニ、米穀對策調査會デ御決定ニナリ

マシテ、ソレヲ元ニシテ茲ニサウ云フ標準ヲ決メマシタ譯ニナリマス

○塚本清治君 内地ノハ各府縣ガ府縣外へ移出シタノヲ總計シテ、ソレヲ朝鮮カラ内地へ移出シタ數ト對比シタモノデスカ

○政府委員(荷見安君) 内地ニ於キマシテハ、生産量ガ消費量ヨリ多イ縣ノ管外移出

米ヲ取りマシタノデ、青森外二十六府縣ニナッテ居リマス、其ノ縣カラ管外へ出マスモノヲ先ヅ市場ニ供給サレル米ト、斯ウ云フ

風ニ見マシテ、ソレト朝鮮カラ内地へ來ルモノ、臺灣カラ内地へ來ルモノノ數字ノ増加趨勢ヲ取りマシタ

○塚本清治君 何故二十六府縣ニ限ラレタノデスカ

○政府委員(荷見安君) ソレハ生産過剩縣ト云フ觀念デゴザイマシテ、各府縣ノ移入數量或ハ移出數量ト云フ生産數量ト云フヤウナモノカラ、管外移出米ノ多イ府縣ヲ取り

マス、ソレカラ其ノ他ノ縣ハ皆生産量ノ少イ縣デアリマシテ、管外移出ノ多イ縣デゴザイマセスカラ、ソレ等ノ縣カラ管外へ出

マスモノヲ大體市場ニ供給サレル米トシテ、之ヲ朝鮮、臺灣ノモノト比較スルニ宜シカラウト云フ目當ヲ付ケタ譯デアリマス

○塚本清治君 四十一條ノ規定ノ割合ヲ、差當リ當分ノ中、附則ノ割合ニ依ッテ本法ヲ實行セラル、ト思ヒマスガ、朝鮮、臺灣

ニ於テ定ムル所ノ四十三、二十二、其ノ割合ノ米ハ法律ニ依ッテ強制貯藏セラル、デアリマセウガ、其ノ以外ノ米ハ、内地へ入ッテ

來ルコトハ無論差止メルコトハ出來ナ

イ、サウシマスレバ四十三、二十二ト云フモノヲ強制貯藏シテモ、机ノ上デハ何等カ

效果ガアルカノ如ク我々ニ錯覺ヲ與ヘルノデアルケレドモ、内地ニ於ケル米ノ數量ニ

於テハ、斯クノ如キ強制貯藏ハ影響ヲ與ヘナイト私ニハ考ヘラレルノデスガ、サウ云フコトハナイデセウカ

○政府委員(荷見安君) 是ハ御説ノ通りニ過剩米ヲ統制致シマシテモ、其ノ他ノ部分

ハ、別ニ市場ニ區切リ付ケルト云フコトニナッテ居リマセスカラ自由ニ出ル譯デア

リマスガ、大體販賣米ヲ持ッテ居リマス生産者ニ對シテ、其ノ一部ヲ貯藏サセルト云フ

コトニ致シマス、是ハ賣米ガ減ッテ來ル譯ニナリマスカラ、從ッテ内地ニ來ル米モ相當

調節サレルコトニナルト考ヘテ居ルノデアリマス、尙念ノ爲數字ヲ以テ申上ゲテ見マ

スト云フト、朝鮮ノ方ニ於キマシテモ、昭和六年ノ如キ千九百萬石モ產額ノアリマシ

タ年ニハ、内地へ移出致シマシタ米モ約八百萬石モ出テ居ルノデゴザイマスガ、次ノ

年ニ、昭和七年ノ產米ガ千五百萬石ト云フ風ニ總體ノ數量ガ減リマシタ時ニハ、内地

へ出テ參リマス米モ七百萬石位ニ減少ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、他ニモ例ヲ申上

ゲマスト幾ツモゴザイマスケレドモ、大體

產額ノ少イ年ニハ内地へ入リマス米モ少クナル譯デアリマスカラ、此ノ生産ガ餘計ニ

ナリマシテ、數量ガ過剩ニナル傾向ノアリマス年ニハ、生産者ノ販賣米ノ在ル人々ガ

其ノ販賣米ノ一部ヲ貯藏致スト云フコトニナリマスレバ、内地へ來ル米モソレダケ調節サレマシテ、從ッテ米價ノ不當ナ下落ヲ來

サナイヤウニナル、斯ウ云フ傾向ガアルト考ヘテ居リマス

○塚本清治君 朝鮮人ガ、收穫米ノ中幾許ガ販賣米デアリ、幾許ヲ飯米トシテ殘スト

云フヤウナ、大體ノ數ヲ定メテ居ル習慣デア

アルナラバ、今ノ御説ノ如ク強制貯藏米以外ノ米ガサウ不規則ニ内地へ移出セラレル

コトハ無イ筈デアリマスケレドモ、而シテ又唯今政府委員ノ御説明ニナッタヤウニ、多

量ノ收穫ノアツタ年ニハ、從ッテ多量ニ内地ニ移出セラレル、比較的凶作ノ年ニハ、又

少量シカ内地へ移出サレナカッタ例モアルデアリマセウケレドモ、昨日來他ノ委員ノ

方カラ御示シモアツタ通り、又表ニ依ッテモ明カニナッテ居リマスル通り、朝鮮人ハ、收

穫米ノ中幾許ガ販賣米デアルト云フコトヲ豫定シナイ、即チ謂フ所ノ商品トシテ生産

スル事實ガアルノデアリマスカラ、價格ノ如何ニ依リマシテハ、飯米トシテ普通ニ殘

スベキモノヲモ之ヲ處分ラシテ移出シ、其ノ代食トシテ粟ヲ喰ベルト云フコトハ、是ハ顯著ナ事實デアアル、ソレ故ニ内地ノ米價ノ如何ニ依リマシテハ、頻リニ内地へ移出スルト云フコトノ是迄ノ實例ハ屢アルコト、ソレ故ニ此ノ販賣米ト飯米トノ數量ノ割當ト云フモノハ、各農家ニ於テ、決シテ之ヲ明確ニ豫想シ、而シテ其ノ豫想數量ヲ守リ、若シクハ殊ニ之ヲ實行スルト云フコトハナイト確カニ信ゼラレル、是ハ獨リ私ガ信ズルバカリデナイ、表ガ既ニ示シテ居ル、ソレ故ニ其ノ割當ノ數量ノ強制貯藏米以外ノモノガ、盛ニ内地へ移出セラレルデアラウト思ウテモ、此ノ想像ヲ押ヘルコトガ出來ナイノデアリマス

○政府委員(荷見安君) 御話ノ通りニ、何程カ販賣米ニナッテ、何程カ消費米ニナルカト云フコトハ、是ハ朝鮮デモ勿論御分リニナラヌコトと思フ、内地ニ於キマシテモ、左様ナ區別ヲ立テルコトハムヅカシイト思フ、唯一定ノ數量以上ノ收穫ノゴザイマス農家デハ、自己デ全部消費スルコトハ出來ナイノデゴザイマスカラ、相當數量ノ販賣米ヲ有スルモノト認メルコトハ出來ルデアラウト考ヘラレルノデアリマスノデ、サウ云フ一定面積ヲ耕作スルト云フ者ニ此ノ統

制米ト云フモノヲ割當テラレルコトニナリマスカラ、從ッテ、ソレハ幾分制限スルコトニナルト考ヘマス、又ソレヲ大綱ニ考ヘマシテモ、生産ノ少ナイ年ニハ内地ニ入ル米ハ少ナイノデゴザイマスシ、多イ年ニハ多イノデゴザイマスカラ、一部不賣米トシテ倉庫ノ中ニ貯藏シテシマヒマスレバ、從ッテ内地へノ移出數量ノ總體ノ上ニ於テ減少ヲ來スト云フコトハ考ヘラレルノデアリマス、又此ノ制度ガ御話ノヤウニ米價ノ如何ニ依リマシテハ、幾ラデモ米ヲ呼ブ譯デゴザイマスケレドモ、最低標準價格ニ打突ケル、或ハソレヨリ一割程度ト云フ位ノ、非常ニ供給過剩デ米價ガ低イ時ニ統制ヲ命ズルコトニナリマスカラ、米價ガ値上リシマセヌケレバ、比較的其ノ目的ガ達シラレテ居ル譯デアリマス、又米價ガソレ以上ニ騰ッテ參リマスレバ是ハ解除致シマスノデ、相當數量ガ入リマシテ政府ガ最低價格デ過剩米ヲ買入レナケレバナラヌトカ、或ハ農民ノ困ルヤウナ米價ニナルト云フコトハナイト考ヘテ居リマス

○塚本清治君 マダ伺フコトガアッタノデスガ、後ニシマスガ、是ヨリ先ニ伺ヒタカッタノハ、抑、本法ニ依ッテ、米穀年度ノ初メニ一年間ノ消費量ト收穫高ト比較シ、

米穀年度末ノ所謂理想持越米ヲ考ヘテ、過剩米ガ幾ラ、之ヲ内地朝鮮臺灣ニ割當テ、又内地ニ對シテハ各農村、市町村ニ割當テルト云フノデアリマスガ、其ノ米ノ收穫高豫想ハ、幾十年ノ經驗モアリ毎年ヤッテ居ルノデスガ、而シテ又其ノ中ノ消費額モ、過去ノ事實ハ、割合ニ結果カラ見テ幾ラト云フコトガ分ルノデスガ、將來ノ見込ト云フモノハ、果シテ比較的精密ニ立ツモノデアリマセウカ、私ガ聞イテ居ル所ニ依リマス、先年衆議院デスカデ問題ニナリマシタ、大正九年デシタカ昭和九年デシタカ、三月カラ十月ノ末迄ノ八箇月ノ見込、ソレカラ其ノ前ノ十一、十二、一、二ト云フ四箇月ノ實際ノ事實、之ヲ併セテ考ヘテ、所謂過剩米ヲ見積リマシタ所ガ三百萬石相違シテ居タト云フコトヲ聞イテ居ルノデスガ、三百萬石ト云フト夥シイ數量、而モ是ハ一人一人ガ一日ニ一匁幾ラト云フモノヲ食ヒ餘セバ六千萬同胞トシテ、當時ノ内地人口デ直チニ三百萬石位出ル計算ニナル、サウ云フ風デスカラシテ、ナカ／＼消費量ト云フモノノ見込ト云フモノハ、殆ド不可能ニ近イ程不正確ナモノノヤウニ承ッテ、左モアラウカト信ジテ居ルノデスガ、是ハドウ云フモノデセウカ

○政府委員(荷見安君) 其ノ御尋ハ從來モ屢、私共受ケル問題デゴザイマスガ、大體此ノ需給推算ト云フモノハ、米穀政策ヲ樹テマス上カラハ、ドウシテモ立テナケレバナラス問題デアリマスノデ、長イコトヤッテ居リマス、ソレデ唯今御話ノコトハ確カ昭和七年ノ時ノコトカト考ヘマスケレドモ、ソレ迄ハサウ云フ大キナ差ノアツタコトハナカッタヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ後ノ問題ニ付キマシテモ、統計ノ數字ニ現レマシタ所ト、私共ガ議會デ中上ゲマシタ所ト大體違ヒナイ數字ガ出テ居ル譯デアリマス、ソレデ是ハ絕對ニ正確ニ行クカト云フト、將來ノ問題デアリマスカラ幾分ノ差ハ生ズルコトガ本當デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、併シ非常ニ大キナ差ト云フモノハ生ジナイノガ通常デアラウト思ヒマス、尙昭和八年以降米穀生産費調査ノ問題ニ付キマシテモ、殊ニ經費ヲ増額致シマシテ、ソレカラ米穀ノ現在高ノ調査ニ付キマシテハ新シク豫算ヲ取り、尙移動ノ調査ニ付キマシテモ新シク豫算ヲ設ケマシテ、ソレニ依ッテ各地方ニ職員、或ハ調査員モ夥シイ數ヲ増加シテ調査シテ居リマスカラ、ソツチノ方ノ數字ハ餘程正確ヲ加ヘタコトト考ヘテ居ルノデアリマス、是等ヲ基礎ニ

致シマシテ需給ノ推算ヲ致シマスニハ、可ナリ實用ニ立ツモノガ出テ來ルノデアラウト考ヘテ居リマス、デ只今申上デマシタヤウニ八年以後ノ數字ハ餘程合ッテ參ッテ居ルノデアリマス、尙其ノ推算ヲ致シマス時ニハ、十一月ノ現在高及ビ收穫豫想高ヲ基ニシテ調査致スノデゴザイマスカラ、其ノ後ノ天候ノ如何等ニ依リマシテハ、更ニ一月二十日ノ實收高ガ分リマス時迄ニハ幾分ノ變動ガアリ得ルノデアリマシテ、サウ云フ風ナ變動、或ハ其ノ間ニ於ケル消費ノ幾分ノ減退等ニ依ッテ、出廻期ノ米價ガ又最低價格ヲ來ス時ニハ又政府ニ於テハ第二ノ貯藏モ命ズルコトガ出來ルヤウナ建前ニナッテ居リマスカラ、甚シキ不都合ナク適當ニ實行出來ルノデヤナカラウカ、尙米價數量ガ減リマシテ米價ガ上ッテ參ッテ場合ニハ、買上ゲノ方法モアルノデアリマスカラ、此ノ法案ノ運用ニ付キマシテハ困ラナイヤウニ出來ルモノト考ヘテ居ル譯デアリマス

○塚本清治君 先ニ朝鮮、臺灣、所謂外地ノ貯藏米ト然ラザル米トノ關係ニ於テ、強制貯藏ヲシテモ他ノ米ガ出テ來ルデアラウト云フコトヲ申上デマシタガ、内地ニ付テモ矢張り同様ニ、強制貯藏トシテ倉ニ入ッテ居ルモノ以外ノ米ハ自由ニ無論市場へ出サ

レル、サウスルト出來秋ノ十一月、十二月、一月頃迄ハ可ナリ市場へ從來通り出ルダラウト思フ、其ノ時矢張り最低價格ヲ標準トシテ統制法ニ依ッテ政府ハ買入レルノデアリマス、サウシテ買入レルトスレバ、前ノ統制法ダケノ時ト、今度ノ自治管理法ヲ施行セラレタ後トノ國庫ニ及ボス影響、其ノ買上數量若シクハ金額ノ御見込ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 此ノ米穀統制法ノ價格調節ト致シマシテハ、最高價格、最低價格デゴザイマスガ、只今御尋ノ出廻期ニ於ケル數量ノ調節ニ付キマシテハ、季節調節ノ買入ノ規定ガアリマシテハ、是ハ過去ノ實績カラ算出致シマシタ出廻期ニ於ケル月別平均以上ノ數量ニ當ル米ヲ買ヒ得ルコトニナッテ居リマス、而シテ此ノ米ハ出廻期ニ於テ買入レマシテ、出廻期以後ニ於テ、又米價ガ上リ過ギルノヲ抑ヘル爲ニ賣却スル、所謂季節調節ヲ目的ト致シマシタ賣買デゴザイマスカラ、最低價格デ買入レタ米ノヤウニ、最高價格迄ハ價格調節ノ爲ニ行クコトハ出來スト云フノト違ッテ、買入レタ數量ダケハ其ノ年度内ニ賣ルコトヲ建前トシテ規定シテ居リマス、ソレデ出廻期ノ米ノ値下リト云フコトハ調節出來ルト思ヒマスガ、

其ノ爲ニ國庫ノ負擔ガ非常ニ増加スルヤウナコトハナイト考ヘテ居リマスノハ、此ノ法律ヲ、季節調節ノ法律ヲ施行シテモウ三年、四年ニナッテ居ルト考ヘマスガ、其ノ間毎年買入レマシタ米ハ、其ノ年度内ニ賣却ヲ要シテ居ルヤウナ狀況デアリマスカラ、此ノ季節調節ノ規定ガ今後モ働キマシテ、出廻期ト端境期ノ關係ハ調節ガ出來ルコト考ヘテ居ルノデアリマス

○塚本清治君 内地外地共ニ強制貯藏トシテ倉ニ入ッテ居リマス米ハ、其ノ年ノ需要供給ノ都合ニ依リマシテ、年度初メニ見込ヲ立テタ通り年度末ニ至ル迄過剩米トシテ殘ル場合モアルノデスカ、而シテ若シ之アリトスルナラバ、翌年ノ年度初メノ豫想ヲ立テル時ニ、矢張り又其ノ年ニ於ケル過剩米ヲ見込マナケレバナラス、サウスルト二年又重ネテ過剩米ガダブルコトニナリマス、三年間豐年ガ續ケバ三倍ニナルト云フコトモアリ得ル譯デスネ

○政府委員(荷見安君) ソレハ豐作ガズツト打續ケバ去年モ過剩米、今年モ過剩米ト、ソレガ追加サレテ行クヤウナコトニナルト思ヒマスガ、大體米ノ從來ノ實際ノ動キヲ見ルト、大體ガ同ジ趨勢デハゴザイマスガ、御承知ノ通りニ豐凶ノ差ガ可ナリゴザイマ

スノデ、今年豐作ト思フト、來年ハ凶作デアルト云フヤウナ調子ヲ取ッテ參ルコトモアリマス、ソレデ大體統制ヲ要シマス米ヲ算出シマスノニハ、此ノ米穀年度内ノ供給ト需要ノ關係ヲ見デ參ッテ居ルノデアリマス、ソレガ此ノ年ハ非常ニ供給ガ過剩デゴザイマシテモ、次ノ年ガ不作ト云フヤウナコトニナリマス、其ノ供給ガ減少シテ參ルコトニナリマス、尙米價ヲ崩シマスル一番ノ原因ハ、申上ゲル迄モナク出廻期ニ小農ガ已ムヲ得ズ米ノ賣却ヲ致ス爲ニ崩レルノガ多イノデアリマスカラ、此ノ頃ニ米價ガ維持サレテ行クコトハ極メテ宜シイノデ、其ノ爲ニハ内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテ其ノ販賣米ヲ、總體トシテ少カラシメルヤウナ施設トシテ、米ヲ貯藏致シテ行キマスレバ、其ノ時ニ値ヲ崩スコトガ少イダラウ、ソレデ其ノ出廻期ノ賣捌ガ濟ンデ來マシタ後ニナルト時ガ經ツニ從テ米價ハ元ニ戻ル、上ッテ來ルヤウナ傾向ガアルノデアリマス、是ハ大豐作ヲ迎ヘマシタ昭和五年ト、昭和八年ノ年ト二回トモ米ノ貯藏ヲ致サセマシテ、最初ニハ、此ノ米ガ安カッタナラバ貯藏シタモノハ損スルコトハナイカト云フコトヲ專門家ノ人モヤカマシク言ハレタノデアリマスガ、實行致シタ二度トモ、丁度五

度五

六月頃カラ米價ハ上リマシテ、六月以後ニナリマス、一割ヨリモ上ニ騰ッテ殆ド全部ヲ貯蔵ヲ解除シテシマッタト云フヤウナ状況ガ起ッテ居ルノデアリマス、過去ノ經驗デハ左様ニナッテ居ルノデアリマス、今度ノ貯蔵モ若シモ豐作ガ打續クト云フコトニナリマスレバ、左様ナコトニハ參ラナイカモ知レマセヌケレドモ、從來ノヤウナ經過ヲ取リマス場合ニハ、場合ニ依ッテハ非常ニ好成績ヲ收メルコトガ出來ル、ソレガ持チ越スヤウナ作柄ノ年ガ續クト致シマシテモ、是ハ先程大臣モ申上ゲマシタ通り、米穀統制法一本デ居ッタヨリ以上ノ國庫ノ負擔ニハナラヌト云フ風ニ、國庫負擔ノ點ニ付テハ考ヘテ居ルノデアリマス

○塚本清治君 過去ノ實績ニ於テ、二年ハ豐年ノ續イタコトガアリマセウト思ヒマシガ、三年續イタコトハゴザイマセヌデスカ、ソレデアリトシマシタナラバ、姑ク金ノ關係ハ言ハナクテモ、其ノ米ハドウナリマスカ

○政府委員(荷見安君) ソレハ貯蔵能力其ノ他カラ見マシテ倉庫ニモ入レテ置ケナイコトニナリマセウガ、貯蔵シタ米ハ政府ガ買取ッテ持ッテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、或ハ持ッテ行キマシタ其ノ中ニハ、出來ルダケ有利ニ外國ニ販賣スルトカ、又ハ新

規ノ用途ヲ研究シマシテ、ソチヲ方ニ利用スルトカト云フコトニ致シマシテ、サウ云フモノガ重ナレバ貯蔵ヲ致サナケレバナライコトト考ヘテ居リマス

○塚本清治君 此ノ米穀自治管理法ガ成立致シマシテ施行セラル、ニ及ブト云フト、米屋ハ非常ニ難儀スルト云フコトヲ言ッテ、此ノ頃米屋ガ頻ニ運動シテ居ルノデスカ、私ハ米穀自治管理法ト米屋トノ關係モ、可ナリ米屋ニ困難ヲ與ヘルコトニナルデアラウトハ思ヒマスガ、ソレヨリ廣ク觀察致シマシテ、産業組合ト小商人トノ利害ノ衝突、或ハ摩擦ト云フヤウナコトハ免レ得ナイコトニ存ズルノデアリマス、産業組合ノ必要ナルコト申ス迄モナイノデスカ、小商人モ亦此ノ日本ノ現在ノ社會ニ於テ人口ノ年々非常ナ大キナ率ヲ以テ増加シテ行ク我

國ニ於テ、社會的ニ、政治的ニ、經濟的ニナカノ「ネグレクト」スル譯ニハ行カヌノデスカ、大臣ノ、産業組合ト商人トハ各、其ノ使命ガアルノダカラ、互ニ穩健ナル活動ヲ遂ゲシメテ相互ノ間ニ摩擦若シクハ衝突ヲ起サシメナイヤウニシタイト云フ御説明ヲ屢、得テ、如何ニモ其ノ仰シヤルコトニ異存ハナイ、所謂産業組合ガ不法若シクハ脫法行爲デ、組合員以外ノ者ニ販

賣購買ヲシテ、消費組合ヲ設ケテ、其ノ組合以外ノ者ニ物品ヲ販賣スルト云フヤウナコトガアッテハナラナイコトハ、是ハ申ス迄モナイ、問題ガナイ、併シ私ノ考ヘマスル所デハ、使命其ノモノニ既ニ十分ノ衝突性ガアル、是ガムツカシイ問題ダト私ハ思フノデス、産業組合ガ脫法行爲、違法行爲、或ハ越權行爲トカ云フノデ不都合ナ

不當ナ違法ナ行爲ヲヤレバ、是ハ矯正スベキハ論ガナイ、監督スベキハ言フヲ俟タナイ、ケレドモ適法ニ適切ニ所謂其ノ使命ヲ果スコト其ノ事ニ於テ、直チニ小商人ノ利害ト衝突ヲ來スト云フコトハ、是ハモウ避ケ難イ事實デアリマス、之ヲ如何ニ調和スルカト云フコトヲ伺ヒタイ、産業組合ニ對シテ非常ニ特典ヲ與ヘテ、非常ニ政府、地方官憲ガ援助ヲ與ヘテ居ル、是モ少クトモ今日マデハ適法ナルコト、不適法デナイコトト思フ、併シナガラ其ノ爲ニ小商人ガ非常ニ不利ニ陥ル、其ノ存在ヲ脅カサレ、其ノ生活モ頗ル不安ニ趣カントシテ居ルコトモ是亦見逃ガスコトノ出來ナイ事實デアリマス、之ヲドウスルガ宜シイカ、御考ヲ承リタイ

○國務大臣(島田俊雄君) 政府ト致シマシテハ、現在ノ此ノ法規ノ下ニ於キマシテ産業組合ノ使命其ノモノニ衝突性アリト云フ塚本君ノ御説ニハ、左様ニ考ヘテ居リマセヌ、矢張り産業組合ノ創立ハ、塚本君ノ御承知ノヤウニ隨分沿革ヲ經テ今日ニ至ッテ居リマシテ、使命其ノモノニハ衝突性ヲ帶ビテハ居ラス、併シ其ノ實際ノ場合ニ於キマシテ是ガ色々問題ヲ起スト致シマスレバ、起スト云フコトハ、是ハ世ノ中ノ進運、社會ノ段々進歩致シマスル上カラシテ、色々問題ガ接觸スル場合ニ於テ起リマシテ、其ノ結果トシテ立場ヲ異ニスルモノガ、互ニ他ノ立場ヲ不便トスルト云フ意味ノ意見ノ發表トカ、或ハサウ云フ事ノアルコトハ、是ハドウ場合デモ社會構成ノ上カラドウモ私ハアリ得ルコトト思フ、ソレヲ以テ産業組合ノ進展ニ付テ懸念ヲシテ居ル向カラ、産業組合ノ存立ノ根本其ノモノ、使命其ノモノニ衝突性ガアルト云フコトハ、ドウモ斷ジ難イト思フノデアリマス、若シサウ云フコトガアルトシマスレバ、是ハ萬一アルトスレバ、是ハ法規ノ改正或ハ其ノ使命ノ衝突性ヲ除クト云フコトニ付テ相當ノ處置ヲ講ゼナケレバナラヌコトト思ヒマスルガ、只今政府トシテハ甚ダ遺憾トシテ居リマス

コトハ、屢、申上ゲタコトデ甚ダ恐縮デアリマスケレドモ、産業組合ノ指導監督ト云フ

コトニ付テ政府ノ有ツテ居ル此ノ力ガ非常ニ乏シイノデアリマス、一萬數千ノ組合ニ對シマシテ、政府ノ有ツテ居リマス監督或ハ検査等ノ爲ニスル人員費用ト云フモノハ非常ニ少クテ、殆ド此ノ検査監督ト云フモノガ出來難イと言ッテモ宜イヤウナ實情ニア、其ノ意味カラ言ヘバ政府トシテ怠慢デアル、或ハモットソレヲ強化スルガ宜イト云フ議論ガ又一方ニ生レテ來ル譯デアリマスガ、此ノ點ニ付テ相當政府ガ努力致シマシテ、産業組合ノ健全ナル發達ヲ期スル爲ニ指導監督宜シキヲ得レバ、衝突性ト云フモノハ、所謂衝突性ト云フモノハ無クナルノデアッテ、産業組合ノ組合自身ノ本質カラ衝突性ノアルト云フコトハドウモ自分トシテハ考ヘナイノデアリマス、ソレヲ本來ノ使命ニ健全ナル發達ヲ遂ゲシメレバ、ソコニ商工業者、中以下ノ商業者又工業者モ其ノ通りデアリマス、ソレ等ニ對スル共存共榮シテ行ク兩立併存ノ道ハ自カラソコニアル、ソコデ一方ニ於キマシテハ商業組合其ノ他ノ方面ノ中小商工業者ニ對スル此ノ組合制度、或ハ其ノ方ニ付テノ保護發達、之ニ對シテノ同様ノ恩典、保護ヲ加ヘルト云フ必要モ起ッテ來ルノデアリマシテ、是等ヲ適當ニ行ヒマスナラバ、ソコニ衝突ハ私

ハ起ルベカラザルモノダ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、唯併シ其ノ聲ヲ聞クト云フコトニナリマス、是ハドウモ朝野處ヲ異ニスレバ、互ニスルヤウナモノデアリマシテ、是ハ何レノ場合デモ免レナイ、免レナイ所ヲ以テ初メカラ衝突性アリト斯ウ云フ風ニ考ヘルコトハ、私ノマア産業組合ニ付キマシテ思ッテ居リマスル程度ニ於キマシテハ、使命其ノモノニ衝突性ガアルト云フコトハ考ヘテ居ラス次第デアリマシテ、成ルベク此ノ指導監督ノ機關ヲ強化致シマシテ、此ノ指導監督宜シキヲ得ルヤウニ致シテ、ソレ等ノ問題ノ摩擦ヲ避ケル、起ラナイヤウニシタイ、斯ウ云フ風ニ念願シテ居ル次第デアリマス

○塚本清治君

モウ少シ詳シク申上ゲテ御意見ヲ伺ヒマス、使命ト云フ言葉ハ法律ノ言葉デナイモノデスカラ、使命ト云フコトニ付テ衝突性ガナイトカ、アルトカト云フコトヲ議論ノ如ク申上ゲテハ、却テ問題ヲ明カニシナイ、明カナラシメナイ憾ミガアルト思ヒマスカラ、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマス、又事實ニ付テ申上ゲマス、私ノ申上ゲマスルノハ、産業組合ノ目的ト小商人ノ目的トガ相容レナイ、ソレハ例ヘバ茲ニ小學校ノ前ニ文房具店ガアルトスル、然ルニ是マデナカッタ文

房具ノ共同購買組合ヲ學校デ設ケタトシマス、サウスルト云フト共同購買組合ハ産業組合トシテ共同ノ利益ヲ圖ツテ、其ノ組合員ガ、成ルベク安イ品物ヲ生産者カラ中間ノ搾取ヲ免レテサウシテ安イ物ヲ買フト云フノガ、是ハ産業組合ノ私ハ目的デアリ使命デア、其ノ使命ヲ完全ニ果サムトスレバスル程文房具店ハモウ成立タナクナル、文房具店ハ中間ノ其ノ所謂諸機能ヲ働カシテ、サウシテ生産者カラ消費者ノ方ヘ取次イデ商賣ヲシテ居ル、ソレガ私ノ謂フ使命デアリ目的デア、其ノ目的トハ相容レナイ、是ハモウドウシテモ容レナイデスネ、購買組合……、又販賣ノ方ニ付テ言ヘバ販賣組合、サウスルト云フト、商人ハ、購買組合販賣組合ガ發達スレバスル程、商人ノ成立ッテ行キ存在シテ行ク範圍領域ハ狹バメラレル、サウ云フ意味ニ於テ私ハ衝突性ガ多分ニアルト申シタ、是ハ監督指導宜シキヲ得レバ云々ト云フコトヲ此ノ間中カラ度々承ルガ、監督指導宜シキヲ得ナケレバナラスト云フコトハ申スマデモナイノデアリマスケレドモ、先刻モ申上ゲマシタ通り、違法脱法等ノ行爲ガアレバは監督ニ依ッテ之ヲ是正スルコトハ困難デハナイ、比較的容易デア、先程申シマシタ違法デ

モ脱法デモナイ適法適當ニヤツテ、サウシテ理想的ニ産業組合ガ發達スレバスル程小商人ハ成立タナイ、御承知ノ通り例ヘバ肥料ニ付テ申上ゲマシテモデスネ、今日農家ノ消費スル肥料ハ三分ノ一ハ商人ノ手ヲ離レテ居ル、其ノ前ノモノハ三分ノ三マデガ商人ノ手ヲ經テ居ッタ、今日デハ三分ノ一其ノ以上ニナツテ居マセウ、商人ノ手ヲ經テナイ、其ノ意味ニ於テ私ハ商人ノ目的ト、即チ使命ト、ソレカラ産業組合員タル農家ガ、産業組合ヲ組織シテ共同購買ヲスル其ノ産業組合ノ使命トガ兩立シナイト斯ウ申スノデスガ、之ヲ如何ニスベキカト云フコトガ非常ニ私ハ大キナ問題デア、デ監督指導宜シキヲ得ル位ノコトナラバ、是ハマア豫算ヲ取リニナツテ人員ヲ増加スルカ、監督員ヲ増加スレバ行ハレ得ルコトデア、ガ今日マデ誠ニ事實ニ於テ行ハレナカッタノデ、朝野共ニ皆遺憾ニ存ジテ居ル譯デアリマス、監督ガ行届キマスレバ、是マデノ其ノ違法脱法行爲ニ依ッテ世間カラ非難セラレテ居ル、而シテ又商人カラ苦痛ヲ慫ヘテ居ル、其ノ點ハ或程度マデハ除カレルデセウ、併シナガラ私ノ申ス使命目的ソレ自身ニ於テ衝突性ガアル、之ヲドウ調和シテ行カト云フコトガ私ノ御伺ヒ致シ

タイ點ナノデアリマス

○國務大臣(島田俊雄君) 塚本君ノ御話ハ

御意見ト考ヘテ居リマスガ、是ハ私ノ申上
ガテ居ル意味ハ、産業組合ガ、購買組合ニ
致シマシテモ販賣組合ニ致シマシテモ、共
同ニ購買シテ組合員ニ之ヲ分ツ、斯ウ云フ
コト、或ハ又生産ヲスルト斯ウ云フ其ノ本
來ノ目的、本來ノ使命ニハ衝突性ハナイト
思フノデ、ソコニ此ノ近時申シマス組合トノ
衝突ト云フノハ、マア衆議院ノ附帶決議ナン
カノ言葉ヲ用ヒマスト其ノ營利化ト云フ、産
業組合ノ營利化ト云フコトヲ言ッテ居ル、
此ノ點ハ此ノ營利化ノ事實アリト致シマス
レバ、ソコハ其ノ産業組合ノ本來ノ目的ト
云フモノカラ考ヘテ、組合自身トシテ考慮
ヲシ、ソコニ相當ナ考ヲシナケレバナラヌ
點デアリマス、安イト思ウテ、組合ガ共同
デアルカラト言ッテ或物ヲ仕入レテ、サウシ
テソレヲ組合員ニ分ツ場合ニ、ソレガ値上
ガリヲシテ居レバ宜シイノデアリマスガ、
其ノ時ニ安イト思ッテ居ッタモノガ、ヨリ以
上ニ値下ガリヲシテ居ッタ時ニハ其ノ責任
ヲ誰ガ負フ、其ノ損害、赤字ト云フモノヲ
誰ガ負フ、斯ウ云フ問題ガ組合自身ノ經營
ノ上ニ於デアルノデアリマス、個々ノ組合
ニ付テモ聯合會ニ付テモアルノデアリマス

ガ、是ハ組合自身ノ問題トシテ起ル問題デ
アル、起リ易イ問題デアル、現ニ矢張り起ッ
テ居ル問題デアラウト思フノデアリマス、
サウ云フ場合ニ於キマシテ、此ノ問題カラ
段々考ヘテ産業組合ノ設立ノ本旨、サウシ
テ一種ノ特典、即チ租税ヲ免除サレテ居リ、
補助金ヲ貰ッテ居ルト云フコトカラ考ヘマ
シテ、何處マデ行クノガ組合ノ本旨デアリ、
其ノ限定デアルカ、斯ウ云フコトニ付テハ
實際問題トシテ指導監督ガ當然ダト云フ御
言葉デアリマスルケレドモ、矢張り指導監
督ノ上ニ於テ、ソコニ大イニ考慮ヲシ、研
究スベキ事柄ガアルノデアリマス、ソナ
ラバト言ッテ、ソレヲ唯ダ一概ニ制限ヲスル
ト言ヘバ、先程石川君ノ御話ノヤウナ掣肘
ヲ加ヘル、壓迫ヲ加ヘルト云フ、ソコノ間
ニ健全ナル發達ト云フ言葉ノ非常ニ働キガ
アル、ソレハ困難ナコトデアリマセウガ、
ソコニ非常ニ意味ガアル、ソレカラ又小サ
イ商人ノ壓迫ト云フコトヲ能ク申シマスガ、
之ニ付テモ相當マア考ヘ方ヲ別ノ方面カラ
シナケレバナラヌト思ヒマスコトハ、此ノ
大都會、マア中以上ノ都會等ニ於キマシテ
ノ、此ノ中小ノ商人ノ困難ト云フコトハ、多
クハ此ノ「デパート」ノ發達ト云フコトカラ
來ル、ソレデ産業組合制度ト云フヨリハ、

寧ロ資本ノ結合カラ色々ナモノガ大規模ニ
行ハレル「デパート」ノ發達カラ小商人ガ困
ル、斯ウ云フヤウナ問題ガ混合シテ併セテ
組合制度、産業組合ト云フモノニ矢ガ向ケ
ラレルト云フヤウナ點モ大イニアルノデア
リマス、是等ノコトハ少シ脱線スルヤウデ
アリマスガ、ソナラバ其ノ「デパート」ト
云フモノガ絶對ニ小商人ヲ壓迫シテイカス
ト云フト、私ノ調べタ所ニ依リマスト云フ
ト「デパート」ト云フモノハ矢張り小商人ノ
爲ニ一面カラ言ヘバ非常ニ必要ナト云フ事
實ガアル、矢張り「デパート」ニ於テ賣レテ
居ル品物ノ中デ、品數ノ揃ハナイモノデア
リマストカ、サウ言ッタヤウナモノハ、相當
ナ値引ヲシタ値ヲ以テ小商人ガソレヲ引受
ケテ、サウシテソレニ相當ナ方法ヲ加ヘ、
マア加工ヲスル譯デハアリマスマイガ、其
ノ陳列ノ方法トカ、賣リ方ノ方法ヲ變ヘマ
スト云フト、ソレガ體デ非常ナ廉價ニ依ッ
テ仕入レタ新シイ品物トナツテ、小商人ノ手
カラソレガ捌カレル、ソレヲ「デパート」ノ
方デハ小商人ガナケレバ賣殘リト言ヒマス
カ品ノ減ツタモノヲ引受ケル需要者ガ無イ
ト云フコトニナルカラ小商人モ必要デアル、
小商人ハ叱言ヲ言ヒナガラ、矢張りサウ云
フヤウナ意味合カラシテ、「デパート」ガ一

方ニアルコトヲ必要トスルト云フヤウナ風
デアッテ、表面ノ事實ト内部ノ事實トハ餘程
違ッテ居ルコトガアル、斯ウ云フヤウナ事情
ガアリマシテ、中小ノ商人ノ困ッテ居ル
コトハ、單ニ産業組合ノ發達或ハ脱法、
營利化ト云フヤウナ意味カラバカリモ
考ヘラレナイ、サウ云フ風ニ自分共ハ
考ヘテ居ル次第デアリマシテ、ソコデ
今御話ノ小學校ノ前ノ文房具屋ト同様ノ
モノヲ經營シテ、サウシテ一般ノ組合員ニ
非ザル者ニモソレヲ賣捌クト云フ風ノ程度
迄行クト……ソコハ事實問題デアリマス
ガ、ソコニナルト云フト、組合ノ營利化ト
云フ問題ガソコニ起ッテ來ル、事實サウ云フ
モノガアル場合ハ起ッテ來ルノデヤナカラ
ウカ、ソレヲ續ケテ行ク結果ハ、或ハ士族
ノ商法ト云フコトニナツテ組合ノ會計ノ上
ニ穴ガアクト云フ問題ガ起ッテ來ル、ソレハ
組合ノ健全ナル發達、本旨ニ從ッテ組合ガ發
達シテ居ル場合ニハ、左様ナ問題ハ組合制
度トシテハ起ラナイヤウニ出來テ居ルト斯
ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、モ
ウ其ノ點ニナリマス、俗ニ見解トカ、意
見ノナントカト云フコトニナリマスカラシ
テ、モウ御意見ニ對シテ自分ノ意見ヲ申上
ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒマス、サウ云

フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○塚本清治君 是ハ固ヨリ當局ヲ責ムルト

カ、大臣ヲ非難スルトカ云フ意味デナイコトハ申ス迄モナイ、「デパート」ノ問題ガ出マシタガ、小商人ハ一方ニ於テハ「デパート」ニ壓セラレテ、他ノ一方ニ於テ産業組合ニ脅威ヲ與ヘラレテ居ル、單ナル論難攻撃ト云フヤウナ立場カラ云フトイフト、「デパート」ニ依ッテ、或ハ「デパート」アルガ故ニ繁昌スル商賣人、小商人モアリマス、「デパート」ガ八ノ日ニ休ムノデ却ッテ商人ガ困ル、休デン呉レナイ方ガ宜イ、休ンデ呉レナカタナラバ其ノ近所ノ商人モ相當繁昌スルノニ、「デパート」ガ八ノ日ニ休ム爲ニ其ノ爲ニ寂レルト云フコトモアリマス、ソレガ故ニ矢張り「デパート」ハ宜シイ、「デパート」アルガ故ニ小商人ハ榮ヘルト云フ結論ハナカナカ出來ナイ、其ノ「デパート」ニ依ッテ榮ヘル商人無キニ非ズ、併シナガラ大體達觀シテ、「デパート」アルガ故ニ小商人ガドレダケ苦シンデ居ルカト云フコトハ是ハ經濟的、社會的ニ達觀シテ、容易ニ判斷シ得ルコトデアル、「デパート」アルガ故ニ小商人ガ榮ヘテ居ルモノモアルト云フコトハ言ヘマスケレドモ、小商人ガ一般ニオ蔭ヲ被ッテ居ルトハ言ヘナイ、産業組合ガ組合員以

外ノモノニ對シテ商品ヲ賣渡ス、共同購買シタ品物ヲ賣捌クト云フコトノ惡イコトハ、是ハモウ度々申上ゲマシタ通り脱法行為デアリマスカラ是ハ監督ニ依ッテ直グニ止メルコトガ出來マセウ、度々申上ゲマス通り産業組合ノ本當ニ適法ニ、産業組合法ノ精神、規定ニ順應シテ經營シテ、尙且小商人ガ其ノ營業區域、營業範圍ヲ狹メラレル、ソレハ組合ノ例ヲ申上ゲテ只今申上ゲマシタヤウニ、現ニ肥料商ハ既ニ三分ノ一ハ減ッタクノハモウ致シ方ナイト云フヤウニ見ルベキデアルカ、肥料商ハ或ハ三分ノ一減ッテモ宜イカ、一般小商人モ漸次減ッテ行ッテ日本ノ社會ハソレデ宜イノデアルカ、或ハ宜クモナイガマア已ムヲ得ナイノデアル、併シ小商人デアリシ人、或ハ今日ノ小商人タル人ノ生活ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テ伺ヒタイ、デ丁度、米ノ問題ニ關聯シテ今小サイ米商人ノ一部ヲ申シマシテモ、例ヘバ産業組合ガ非常ニ理想的ニ發達シテ、所謂使命ヲ完ウスルヤウニ穩健ナル活動ヲ致シマスレバ、組合員ハ自分ノ米ヲ共同シテ精白スル、今日ノ米ノ精白ハ極メテ小サイ仕掛デ、小サイ規模デ容易ニ出來ル、動力ハ電力ノ力デ容易ニ出來ル、サウスレバ商人

ノ手ヲ借りナイデ精白シ、精白米ガ食ベラレル、斯クノ如クシテ村々ニ精白米所ガ産業組合ニ依ッテ經營サレルナラバ、茲ニ小サイ米商人ノ存在ハ出來マセス、是ガ抑、問題ナンデス、ソレデ先程申シマシタ言葉ガ當ッテ居ルカ居ラスカ分ラヌガ、ソレハ兎モ角トシテ、サウ云フ事實ヲ申スノデアリマス、サウ云フコトニナッテ、小サイ米商人其ノ他小商人ガ無クナッテ行クノラドウ見ルカ、是ハモウ唯自然ノ淘汰ニ放任シテ、如何トモシ難イトシテ看過スルカ、之ヲ私ハ伺ヒタイ、是ハ意見ノ相違デヤナイ、決シテ意見ノ相違デヤナイ抛ットクトカ何トカスルナラバ意見ノ相違ガアルケレドモ、斯ウ云フ事實ヲドウ云ウ風ニナサルカ、御意見ガアレバ御意見ヲ承リタイ

○國務大臣(島田俊雄君) 其ノ方面ノ事ニ付テハ經驗ノ多イ塚本君ノ御質問ト言ヒマスカ、御意見ニ對シマシテ、甚ダ恐縮デアリマスガ、産業組合ノ發達ノミガ原因トハ仰セラレヌノデアリマスガ、産業組合ノ發達ニ伴ッテ、段々商人……商工業者ノ活動ノ區域ガ狭クナリ少ウナル、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ原因ハ何レニ致シマシテモ、事實ニ於テハ、小サイ規模、大キイ規模如何ニ拘ラズ、商工業者ノ數ハ非

常ニ増加シ居ル、ソレデ農業ニ重キヲ置ク、立國ノ本トシテノ農業ト云フヤウナ意味カラ論ズル人ハ、日本ノ此ノ狀態ガ、現在アル五百萬戸ト云フ農家ヲドウシテ維持スルカ、斯ウ云フコトニ力ヲ置イテ議論ヲシテ居ル、農村ニ於ケル農家ノ數ト云フモノハ段々減リ居ル、之ニ反シテ商工業者ノ數ト云フモノガ非常ニ増加シテ行ク、此ノ現象ヲ見テ、サウシテ日本ハ段々商工立國ニナルカラ、行クハ農村ハ結局寂レテ「イギリス」ミタヤウニナルンダト云フヤウナ考ヘ方ヲスル向キヤ、又サウ云フヤウニ論ズル人モアリマスケレドモ、ソコニ非常ナ逆ナ考ヲ以テ、國ノ基礎ヲ地方ニ見ルト云フ意味カラ、島國トシマシテハ、農家ノ維持、農村ノ維持ト云フコトニ重キヲ置ク方カラ言ヒマス、寧ロ商工業者ノ段々殖エテ行クコトニ付テ憂ヲ懷イテ居ル、ソレデ今アル商工業者ノ困難ト云フモノハ、農村ノ困難ト同ジデアッテ、大多數ノ農漁山村ハ困ッテ居ルト同ジヤウニ、中小商工業者ハ困ッテ居ル、ソレガ産業組合ノ發達ト云フコトガ主タル原因……ソレモ或ハ多少ノ原因デアルカ知レマセヌケレドモ、ソレガ原因デハナクテ、人口ノ増加、段々世ノ中ノ變化ニ伴ッテ、從ッテサウ云フ狀態ニナッテ來テ居

ルノガ現代ノ状態デアル、ソコデ中小商工業者ヲドウスルカト云フコトハ、組合ノ問題ヲ離レテ考ヘル問題ダト我々ハ思フノデアリマス、絶對ニ離レル譯デアリマセヌガ、其ノ一番困ッテ居ル因ハ、ドウ云フ風ニ研究シマシテモ、原因ハ何レニアルカト云フト、中小商工業者ハ要スルニ根本ニ於テハ資力が無い、資本ノ力ニ於テ非常ニ缺ケテ居ルト云フコトデアリマシテ、是ガ長ク論議セラレタ結果、漸ク今期議會ニ於テ其ノ一部トシマシテ、商工組合ニ對スル中央金庫ノ制度ガ今期議會ノ協賛ヲ得タ、是ガ産業組合……殊ニ農民ノ方面ニ於テハ産業組合アリ、産業組合ニ對シテハ中央金庫ノ設ケガアル、一方ニ於テハ商工業ノ組合、商業組合等ニ對スル保護、恩典ト云フモノガ與ヘラレテ居ラナイシ、又十分ニ行ッテ居ラナイ爲ニ、長イ間議論ヲサレタノガ漸ク其ノ一部ガ今期議會ニ實行サレタ、其ノ働キガドウ云フ風ニナッテ成績ヲ現シマスカ、是ハ政府ノ努力、官民努力ヲ致シマシタナラバ、此ノ金融機關ノ動キニ依ッテ中小ノ商業者、工業者ト云フモノガ相當ニ是ハ保護サレルノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、其ノ意味カラ考ヘテ、此ノモノヲドウスルカト云フコトニ付テハ、私共ハ寧ろ數ガ減

ルト云フヨリハ數ガ殖エル、而モ困ル所ノ中小商工業者ヲドウスルカ、困リナガラ數ガ殖エテ居ル、其ノ中小商工業者ニ安定ヲ與ヘルト云フコトハ、國民全體ノ生活ニ安定ヲ與ヘルト云フ意味カラ云フト、ドウシテモ之ヲ抛ッテ置クト云フ譯ニ行カナイ、或ハ之ヲ歸農セシムル、土著ノ方針ヲ執ッテ村ニ置キヤウニスレバ、農村ハ疲弊シテ居ル、ソレデ、東京ヘ出テ來テ皆商業者ニナリ労働者ニナル、之ヲドウスルカト云フコト、今日殖エナガラ困ッテ居ル中小商工業者ノ對策如何ト云フノガ大キナ問題デアリマス、ソコニハ産業組合モナケレバ、或ハ米ノ問題ヲモ離レタ大キナ問題トシテ横ハッテ居ル其ノ一端ト致シマシテ、是ハ先ヅ資金ノ關係ト云フモノガ一番主デアリマス、農村ニ於テモ負債ノ關係ガ主デアルヤウニ、中小商工業ニ於テモ資金ノ問題ガ主デアアル、規模ハ小サイケレドモ中央金庫ノ制度ヲ設ケテ、之ヲ實行シテ中小商工業者ニ對スル實際ノ金融ノ途ヲ豐カニスル、是ガ一ツノ救済トナリマシテ、是等ノ方面ニ對スル救済ト申シマスカ、振興ノ實ガ擧ゲラレルヤウニ相成ルノデアラウ、サウ云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ進ムベキモノデハナカラウカ、是ハ午前中、松村サンノ御意見ト申シマス

カ御質問中ニモ、既存ノ組合ノ特權ヲ止メロ、或ハ之ニ課税シヨウ、斯ウ云フコトヲ中小商工業者ノ方面カラ言フ、コト程左様ニ中小商工業者ガ困ッテ居ル状態ヲ、政府トシテ考ヘレバ、其ノ恩典ヲ奪フト云フコトヨリモ、片方ニモ恩典ヲ與ヘ保護ヲ與ヘルヤウニ考フベキデヤナйкаト云フ御意見ガアリマシテ、私ハ誠ニサウ云フ御意見ヲ首肯シ、又大イニ贊意ヲ表シテ居タ次第デアリマスガ、サウ云フヤウナ意味ニドウモ是ハ考ヘテ戴カナケレバ、農村トノ對立ノ關係デハ此ノ關係ヲ解決スルト云フコトガ困難デハナカラウカ、斯様ナ卑見ヲ持ッテ居リマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 塚本君ニチヨット御相談致シマスガ、マダ御質問ガアリマスカ、長クナルヤウデアリマシタラ一時チヨット休憩ラシタラ如何デアリマスカ

○塚本清治君 私人ハ直グ濟ミマス

(若シ澤山デナケレバ續イテナサッタラドウデスカ)ト呼フ者アリ

○委員長(子爵片桐貞央君) デハ塚本君、ドウゾ

○塚本清治君 農林大臣ガ結論トシテ、中小商工業者ニ對シテ憂慮セラレ、國策ニ付テ考フベキモノデアルト云フコトノ御意見

ハ私モ全く同感デアリマス、其ノ中小商工業者ガ如何ニ困ッテ居ルカ、又其ノ困ッテ來タ原因ガ何處ニ在ルカト云フコトハ色々考ヘナケレバナラス、決シテ産業組合一ツデハナイ、唯農林大臣トシテ茲ニ御臨ミニナッテ居リ、或ハ米穀自治管理法案ニ關係シテ御方デアッテ、農林大臣ノ御所管トシテ産業組合ヲ持ッテオ出デニナルカラ、産業組合ト中小商工業者トノ利害ノ相觸レルコトヲ私ハ御伺ヒ致シタ譯デアリマス、一般中小商工業者ニ對スル對策ハ、或ハ商工大臣ニ於テ御考ニナルデアラウシ、又私共モ多少ノ意見ナキニシモ非ズデアリマスケレドモ、是ハ今日ハ申上ゲマセヌ、大臣ノ仰セラレタ如ク、中小商工業者ナラ宜イデスケレドモ、小商工業者ガナカノ殖エル、是ガ農村ヲ顧ミナイデ皆都會ニ走ル、是ハ農業ガ寂レテ中小商工業ガ盛ニナッテ來ルノデナク、實ハ人口ガ増加スルモノヲ、流石ニ日本ノ如キ機械ヲ使ハナイ農業ニアッテハ、例ヘバ田ノ草ヲ取ルニシテモ二人デ取ッテモ宜イ、三人デ取ッテモ宜イ、田植ヲスルニシテモ、二人デヤッテモ三人デヤッテモ差支ナイ、機械デナイカラ、所謂歸農ノ餘地ガ廣イ、耕作上ニ於テハ歸農ノ餘地ハ廣イガ、流石ニ食フ上ニ於テハ歸農ノ餘地ハ今日ハ

無い、故ニ已ムヲ得ズ都會ニ出テ小サイ商業ヲ營ム、御覽ニナル通り商業者ノ夥シイコト、是ハ實ニ驚クベキモノデアル、實ニ商業者ノ數ガ殖エテ、繁昌ト言ヘバ繁昌デスガ、其ノ個々ノ商業者ノ經濟、經營ナント云フモノハ、實ニ聞イテモ涙ノ零レルノガ多イ、之ヲドウスルカト云フコトニ付テハ、只今御意見モ御述ベニナリマシタケレドモ、是ハマア別ノ機會ニ譲リマス、最後ニ伺ハナケレバナラヌノハ、此ノ米穀自治管理法案ハ既ニ前々議會ニ提案セラレマシテ、衆議院ヲ通過シテ、貴族院ハ時間ガナカッタ爲ニ未議了ニナッタ、而シテ今日ニ及ンダノデアリマスガ、此ノ間、米穀自治管理法ノナカッタ爲ニ、米穀對策ニドシナニ御不便ガオアリニナッタカ、或ハ御困難ヲ御感ジニナッタカ、或ハ農民或ハ消費者、此ノ兩方ニドシナ不便ヲ與ヘタカ、之ヲ成ルベク詳細ニ、而シテ具體的ニ御説明ヲ煩ハシタイト存ジマス

○國務大臣(島田俊雄君) 詳細ノコトハ又政府委員カラモ御答ヘサセマスガ、大體ニ付テ私カラ御答ヘ致シマス、是ハ幸ヒニシテ、ト云フ言葉ヲ使フコトハ甚ダ言葉ガ不適當デアリ宜シクナイト考ヘマスケレドモ、御承知ノヤウニ昨年凶作ガアリマシ

テ、米作ガ甚ダ悪カッタ爲ニ、曩ニ持越シテ居リマス政府米ヲ以テ、其ノ穴ヲ補ヒツ、進シダト云フヤウナ狀態デアリマシテ、最近ノ米穀年度ニ於キマシテハ過剩米ト云フベキモノガナカッタ、ソコデ此ノ本法案ガ一年遅レタ爲ニ特別ノ不便ヲ感ズルト云フヤウナコトナシニ濟シダト云フコトヲ、凶作デアッタコトハ不幸デアリマスケレドモ、サウ云フコトデアッタ爲ニ、法案ノ發動ヲ必要トシナイト云フ點ニ於テハ、一年遅レタト云フコトニ付テハ、特別ノ不便ヲ感ジテ居ルコトハナイト考ヘテ居リマス、併シナガラ是モ傳説ノヤウナコトデアリマスカラシテ、之ヲ信ズルト云フヤウナコトハ固ヨリ斷言ハ出來ナイ

管デアリマスガ、凶作、豐作共ニサウ幾年モ續クモノデナイ、豐凶ガ互ニ來ルト云フコトハ是マデノ事實デアアル、而シテ二年三年凶作ガ續クト云フコトハナイ、豐作モ其ノ通りデアルト云フコトカラ致シマス、本年若シモ此ノ作柄ガ幸ヒニシテ平年以上デアアルナラバ、雪ノ害ガアッタリスルカラ本年ハ駄目デアルト普通ニ言ッテ居リマスケレドモ、是ハ東北其ノ他雪害ニ依ッテナシタ所ノモノハ全國的ニ申セバ一部デアリマス、本年ノ作柄ガ平年作以上デアリマス、忽チ統制法ノ缺陷ヲソコニ暴露サレル

譯デアリマスカラ、此ノ意味カラ致シマシテ本年ノコトハ無論豫想出來マセスガ、過去ノ事實ニ付キマシテ、遅レタ爲ノ一年間ノ事實ニ付テ申シマスレバ、只今申シマヌヤウニ、凶作デアリマシタ爲ニ、本法案ノ遅レタト云フ爲ノ特別ノ不便ト云フコトハナカッタト、斯様ニ考ヘテ居リマス、大體サウ云フ風……

○男爵岩倉道俱君 私ハ議事進行デチヨット御相談申上ゲタイノデアリマスガ、宜シウゴザイマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 宜シウゴザイマス

○男爵岩倉道俱君 私ハ大變皆サンノ御質問ニ依ッテ、非常ニ能ク大分、分クコトラ感謝シテ居リマスガ、産業組合ノ中ニモ、米屋ノ中ニモ、大勢ノ中ニハ極端ナ言辭ヲ弄スルモノガアル、ソレガ爲ニ所謂農民ト商業ノ方ノ人トノ摩擦ト云ヒマスガ、ヤウナモノガ出來ムトスル傾向ガアルノデアリマス、是ハ私恐ルベキコトト思ヒマス、塚本君ノ御質問モ私御尤モノコトト思ヒマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 承知致シマシタ、塚本君マダオアリニナリマスカ
○委員長(子爵片桐貞央君) 岩倉サンニ伺ヒマスガ、今ノ商工大臣ノコトハ、明日デモ宜シウゴザイマス
○男爵岩倉道俱君 私ハ大臣ノ御都合ノオ付キニナル時デ宜シイノデスガ、御決定ニナル前ノ方ガ宜イト思ヒマス
○委員長(子爵片桐貞央君) ソレナラバ暫時十分バカリ休憩致シマシテ、其ノ間ニ於テ交渉致シマシテ御話申上ゲマス、ソレデ

フノデゴザイマス、無論當局閣僚ノ間ニハ必ズ十分ノ御打合せガアルコトデアッデ、伺ヘレバ我々ガ諒トスル所ガ必ズアルト思フ、又委員會ノ責任トシテモ、商工省ニ關スル米屋ノコトデゴザイマスカラ、一應商工大臣ノ御出席ヲ願ッデ、商工大臣ノ御説明ヲ伺ッタ上デ進行シタラ如何カト思ヒマス、唯商工大臣ハ重要法案ヲ隨分御持チノヤウデゴザイマスカラ、只今直グニハ或ハイカナイノデハナイカト思ヒマスカラ、委員長ニ於テ御打合せ願ヒマシテ、商工大臣ノ御都合ノ付ク時ニ委員會ニ一週御出席ヲ戴イテ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノコトヲチヨット御願ヒシタイト思ヒマス
○委員長(子爵片桐貞央君) 承知致シマシタ、塚本君マダオアリニナリマスカ
○委員長(子爵片桐貞央君) 岩倉サンニ伺ヒマスガ、今ノ商工大臣ノコトハ、明日デモ宜シウゴザイマス
○男爵岩倉道俱君 私ハ大臣ノ御都合ノオ付キニナル時デ宜シイノデスガ、御決定ニナル前ノ方ガ宜イト思ヒマス
○委員長(子爵片桐貞央君) ソレナラバ暫時十分バカリ休憩致シマシテ、其ノ間ニ於テ交渉致シマシテ御話申上ゲマス、ソレデ

ハ十分バカリ休憩シタイと思ヒマス

○子爵前田利定君 只今岩倉委員カラ、商

工大臣ニ一應今ノ點ニ付テ御聴キナサル
云フコトハ御尤モナ話ト思ヒマス、ソレニ

賛成スルト同時ニ、先程農相カラ、私ノ伺ッ

タ此ノ法案ガ運用サレバ、統制法時代ヨ
リモ國庫ノ負擔ガ輕減スルト云フコトニ

付テ、農相モ無論政府ヲ御代表ニナッテノ御

答デゴザイマセウガ、只今商工大臣ニ對シ
テ、中小商工業者方面ノコトヲ御尋ニナル

ト云フコトデアレバ、同様ノ意味ニ於テ伺
ヒタイと思ヒマス、尤モ私ハ本會議ニ最近

ハ出テ居リマセヌカラ、或ハ本議場ニ於テ
商相ガ其ノ點ニ觸レタ御説明ニナツタトカ、

或ハ議員ノ質問ニ對シテ御答ニナツタト云
フコトガアリマシタナラバ、ソレハ宜シウ

ゴザイマス、若シゴザイマセヌケレバ御煩
ハシヲ願ヒタイと思ヒマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 承知致シマシ
タ

○松村眞一郎君 私ハモウ少シ質問ガアル
ノデスガ、ドウ云フコトニナリマセウカ

○委員長(子爵片桐貞央君) チョット十分
バカリ休憩致シマシテ、今ノナニヲ決メマ
シテ、又繼續致シタイ積リデアリマス、ソ

レデハ十分バカリ休憩致シマス
午後四時五十分休憩

午後四時二十八分開會

○委員長(子爵片桐貞央君) ソレデハ前回

ニ續イテ開會致シマス、先程商工大臣ノ御
出席ノ要求ガゴザイマシタガ、商工大臣ハ

他ノ委員會ノ方デチョット手ガ離セラレナ
イヤウナ様子デゴザイマシテ、間ヲ見テ出

席セラレルサウデゴザイマスカラ、農林大
臣ニ御質問ガゴザイマスカラ、其ノ方ヲ

先ニ願ツタ方ガ便利カト思ヒマスノデ、左様
致シタイと思ヒマスカラ、ドウカ農林大臣

ニ御質問ヲ願ヒマス
○松村眞一郎君 私ハ先程塚本サンノ御質

問ニナリマシタ點ニ關聯シテ御尋ネシタイ
ト思フ、此ノ米穀自治管理法ノ根柢ハ過

剩米穀ヲ自治管理スルト云フコトニアリマ
スカラ、何ガ過剩ナリヤト云フコトガ法律

運用ノ基礎ヲ爲ス譯デアッテ、其ノ關係カラ
消費計算ト云フコトガ正確デナケレバ過剩

ト云フモノガ出來テ來ナイト云フ意味ニ於
テ塚本サンノ御質問ニナツタコトト私ハ考

ヘマスルシ、私モ其ノ點ニ付テ餘程明確ナ
政府ノ御調査ガ必要デアルト思フノデアリ
マシテ昨日モ申シタノデアリマス、朝鮮ニ

於テハ殊ニ消費ト云フモノヲ數量ノ上ニ於
テ算出サレルコトガ困難デアル、年々減少

シテ居ルノデアルト云フコトヲ私ハ申シタ
ノデアリマスルガ、チョット其ノ米穀關係ニ

付テノ……何ト申シマスカ、餘リ其ノ内部
ノ米穀統計ノ事情ニ付テ深く御存ジノナイ

オ方カラ考ヘラレマスト云フト、米穀統計

ハ如何ニモ立派ナモノノヤウニ考ヘラレル
ノデアリマス、此ノ點ニ付テハ阪谷男爵ガ

米穀統計ト云フモノハ、統計トシテ餘リ立
派ナモノト申ス譯ニハイカナイガラウト云

フヤウナ御趣旨ノ御意見ノ陳述方前ニアツ
ヤウニ私ハ思ッテ居ルノデアリマス、實際其

ノ通りデアリマシテ、此ノ内地ノ米穀要覽ニ
於テ、米穀要覽ト云フトラカシイデスガ、此

ノ内地ノ需給關係ヲ算出シテ居リマスル農
林省ノ此ノ表デス、其ノ表ニ於キマシテ消

費量ト云フモノヲ書イテアル是ハ實ハ消費
量ト云フモノハ消費ヲ各事項ニ付テ計算ヲ

シテカラ消費量ガ出テ居ルノデハ實ハナイ
ノデアッテ、產額ト云フモノト、ソレカラ持

越高ト云フモノヲ一方ニ眺メ、ソレカラ在
米高ト云フモノヲ眺メテ其ノ差引勘定ノ差

ガ、是ダケガナクナッテ居ルカラ消費量デ
アルト、斯ウ云フ算出ニナッテ居ル、世間デ

ハ恐ラクハサウ云フモノトハ考ヘテナイダ
ラウ、消費ハ何ニ使ッテ、何ニ使ッテ、ソコ

デ消費量ガ幾ラト、斯ウ云フコトニ個々ノ
項目ヲ總計シタモノヲ消費量ト考ヘテ居ル

ダラウト思フ、所ガ此ノ統計ニ出テ居ルノ

ハサウデナイ、消費量其ノモノガ推定消費量
ニナッテ、逆ニ算出シテ、供給ト在米トノ差ナノ

デ消費ダト云フ意味ノ消費デアッテ、是ハ私ハ

消費デナイト思フ、其ノ内ニハ滅失、毀損ノモノ
ノモアリ、火事ニ遭ッテ燒ケタモノモアリマセウ、

水害ト云フモノモアリ、蟲害ト云フモノモ

アリマセウ、ソレモ或意味ニ於テハ消費デ
セウ、併シサウ云フモノヲ唯個々ノ計算ハ

シナイデ、逆ニ出タモノヲ消費量ト稱シテ
居ル、ソレハ如何ニモ不正確デアルカト云

フノデ、一方ニ於テ又別途ニ消費ヲ計算シ
テ居ル、デ用途別ノ消費額ト云フモノヲ是

ハ農林省デモ調査シテ居ラレル、ソレハ或
ハ種子ニドノ位使フ、飯米ニ幾ラ、酒米ニ

幾ラ、餅トカ味噌、菓子、飴、糊トカ云フ
ヤウナコトノ項目デ、其ノ方カラ積極的ニ

調べテ居ラレルノデ、是ハ矢張り正確ニ行
ハレナケレバイケナイ、ソレハ農林省トシ

テハ昭和四年十一月一日カラ昭和五年十月
末日マデノ一箇年ノ情況ニ付テノ各府縣ニ

於テノ調査シタ報告ト云フモノガ表トシテ
出テ居ル、是ト今ノ在米ト供給米トノ差額、

即チ消費米デアルト云フガ如キ意味ノ消費額ト對照シテ見テ、略、トシニ行ケバマア大體信憑シテモ宜イト、斯ウ云フ譯デアリマスカラ農林省ノ調査ヲ見マス、マア大體是ハ合ッテ居ル譯デス、詰リ兩方面カラ調査シテ、サウシテ大體合ッテ居ル、併シナガラ調査ノ方法ガ違フノデアリマスカラ、全然一致シナイト云フコトノ方ガ是ハ正シイ、片方ハ逆ノ推定デアリ、片方ハ用途ノ方カラ來テ居ル、所ガソコニ「其ノ他」ト云フモノガアルカラ、今ノ糊トカ飯米ト云フコトノ内ニ「其ノ他」ト云フモノガアルガ、其ノ「其ノ他」ガ分ラナイ、今ノ逆算ニ出テ居ル消費トノ残りノモノヲ「其ノ他」ト云フコトニ、若シスレバ統計トシテハ辻褄ガ合フコトニナル、ソレハ辻褄ヲ合セテ居ルノデアッテ、本當ニ合ッテ居ルノデアリマセヌガ、個々ノ農林省ノ用途別ノ消費額ト云ッテ居ル「其ノ他」ト云フノハ明確ナル用途ガアルケレドモ、「其ノ他」是レノモノダト云フコトヲ一々茲ニ書クコトノ煩瑣ナルコトヲ避ケテ「其他」デアルト私ハ思フ、ソレデナイト、「其他」ト云フモノガ、此ノ用途ノ調トハ違フ、外ノモノヲ又其處ニ持ッテ來テハ本當ノ消費ノ實際ニナラスト思フノデアリマスカラ、合ハナイ所ヲ見ルト云

フト、矢張り今申シマシタ如キ正確ナル、色々ノ消費ヲ合計シタモノヲ茲ニ「其ノ他」ト出シテ居ラレルノダト思ヒマス、サウデスカ、ソレヲ一應御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員(荷見安君) ソレハ御話ノ通デゴザイマス

○松村眞一郎君 サウスルト其ノ意味デ正確ナ譯デスネ、用途別ノ方ヲ合計シテ居ル譯デスナ、用途カラ研究シテ……、デ其ノ關係カラ見マス、臺灣ノ統計ヲ見ルト、ソレガ一致サセテアル、是ハ一致サセテアルカ、一致シタノデアアルカト云フコトガ非常ニ問題デアッテ、一致シナイモノヲサセタト云フコトニナルト、是ハ統計デナクテ、作ッタクコトニナリマスカラ、サウ云フコトハ私ハナカラウト、若シ兩方カラ來タ數字ガ合ッテ居ルト、是ハ非常ナ正確ナ調べ方デアッテ、斯クノ如キ正確ナル調べ方ノ出來ルコトヲ私ハ要望スル、デ臺灣ニ於キマシテノ初メノ表ニ依リマス云フト、是ハ先達テ御配付ニナッタ印刷物ニ依ッテ私ハ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、此ノ臺灣ノ米穀要覽ト云フモノヲ見マスルト云フト、其ノ消費高ノ算出ノヤリ方ハ前年度ノ持越米ト云フモノト收穫米ト云フモノト、ソレカラ輸入高、移入高、ソレヲ合計シテ、茲ニ供給

高ト出テ來ル譯デ、ソレカラ輸出高ト、ソレカラ内地へ移出デスネ、輸出高ト移出高トヲ合計シタモノヲ茲ニ出シテ、其ノ上ニ臺灣ニ於ケル翌年度ヘノ持越米ト云フ現在米ガアルカラ、之ヲ出シテ、残ッタモノガ消費額ト、斯ウナッテ居ル、矢張り内地ト同ジヤリ方デス、消費ノ方カラ研究シタモノデナイガ、其ノ數字ト消費ノ方面カラ研究シタモノトガ數字ニ於テ合ッテ居ル、是ハ臺灣ハナカノ統計ニ付テハ詳シク何時モ行ッテ居ラレマスカラ、私ハ本當ニ兩方合フヤウナ結果ニナッテ居ルノデアラウト思フ、作意ノ統計ニアラズシテ本當ノ統計デアラウト思フ、臺灣ハ何時モ統計ハ綿密ニヤッテ居ルカラ、多分サウダラウト思フ、サウナルト臺灣ノ方ガ非常ニ明確ニ出來テ居ル、飯米用、醸造用、味噌、菓子、米ノ粉、種子用其ノ他、矢張り「其ノ他」ト云フコトガアルカラ、「其ノ他」ト云フノガドウ云フ意味カ、ソレニ依ッテ統計ノ正確サハ違フガ、サウ云フ工合デ、用途別ノ消費高ト、ソレカラ逆算ラシタ在米ト、ソレカラ今ノ供給米ト、輸出輸入、移出移入ト云フモノトノ差引勘定ノ残リヲ消費トスルヤリ方ト一致スルヤウナ程度ノ表ガ出來テ居ル、所ガ朝鮮ニ至ッテハ消費ノ算出ト云フモノガ出來テナイ、斯ウ

云フ状態デ、此ノ需給推算ト云フモノガ出來ナイト云フコトヲ、此ノ表ニ依ッテ更ニ強イ疑ヲ持ッテ來タノデアリマス、昨日私ガ申上ゲタ所ノ人口ガ増加シテ居ルニモ拘ラズ、消費額ハ百萬々々ト云ッテ段々減ッテ居ルト云フコトヲ私ハ申上ゲタ、所ガ朝鮮デハ此ノ消費ノ方ノ調ハ酒米ノ消費高ノ調シカ此ノ表ニハナイ、ソレハ毎年ノ表ガ、此ノ間御配付ニナリマシタ朝鮮米穀要覽ノ五「ページ」ニ書イテアルノデアリマスガ、ソレヲ見レバ昭和三年度ニ於キマシテ酒米ノ消費額ガ五十萬六百七十七石トナッテ居ル、ソレガ昭和九年ニ於テハ五十六萬六千九百石ト云フコトニナッテ、此ノ酒米消費額即チ五十萬石ノ所ダケノ表ガ出テ居ル、其ノ外ノ消費ハチットモ調ガ出來テナイ、サウシテ消費高ト云フ需給推算ノ方ノ關係ノ消費高ノ調ベ方ハ臺灣ト同ジ方法デ、前年度カラノ持越米ト生産高ト云フモノト、ソレカラ輸入高ト移入高ト、其ノ合計ヲ供給高トシテ、其ノ中カラ外國ヘ出シタ輸出高ト内地ヘ向ケタ移出高ト、ソレカラ翌年度ヘ持越ス高、是ハ在米調デ分リマスカラ、ソレヲ差引勘定シテ、残ッタノ消費高ト云フ、斯ウ云フ逆算ラシテ居ル、我々ノ知ラムトスル所ハ消費高ヲ見テカラ移出高ヲ調ベナケレ

バナラス、此ノ表デハ移出スルモノヲ、先ニ出シテ、ソレカラ残ツタモノヲ消費高ト云フ、斯ウ云フ計算ノヤリ方デハ、是ハ米穀管理法案ノ要求シテ居ル消費高ノ割出シ方デナクテ、消費ト云フモノヲ知ツデカラ、ソレカラ移出高ガ幾ラアルカト云フ算出ヲシナケレバイカナイ、移出シタ残りガ消費者デアルト云フヤウナコトハ米穀自治管理法案ヲ執行スル場合ニ於テ用ヒルコトノ出来ナイ譯デアリマスルカラ、朝鮮ニ於テハ消費ト供給トノ統計ガ出来テ居ナイト云フコトニナル、出来テ居ナイモノノ状態デ法律ヲ施行シヨウト云フコトハ、是ハ私ハ不可能デヤナイカト思フ、ダカラ朝鮮ニ於テハドウ云フコトカラ需給推算ヲ行ハレルノデアリマスカト云フコトヲ承ラナケレバナラス、昨日モ申シマシタ如ク是ハ當分ノ内ハ四十一條ハ使ハナイコトニシテ、此ノ附則デ行ク積リデアリマスと云フコトニ終ルノデハナイカト思フノデアリマスルカラ、朝鮮ニ於テハ其ノ需給推算ニ付テノ統計ヲドウ云フヤウナ工合ニ是カラヤラウトシテ居ラレルノデアリマスガ、其ノ點ヲ御答辯願ヒタイノデアリマス

○政府委員(荷見安君) 私カラ申上ゲルノハチヨツテ如何カト存ジマスケレドモ、一應私ノ愚見ヲ申上ゲテ置キマス、御承知ノ通リニ需給實績ヲ調査致シマス際ニ、消費ノ方面カラ獨立シテ米ノ消費量ト云フモノヲ全國ニ互ツテ調査ガ出来マセスト云フコトハ、御話ノ通りニ其ノ通りダト考ヘルノデアリマス、ソコデ現實ニ何ノ消費ト云フコトハ言ハズニ、前年度ヨリノ持越額ト産額、ソレニ外國カラ入ツタ米、朝鮮、臺灣カラ入リマシタ米ヲ總テ供給ト致シマシテ、其ノ中カラ外國ニ賣却致シマシタモノ、朝鮮、臺灣、樺太、南洋群島等へ移出致シマシタモノ、其ノ他ヲ合計致シマシタモノト、ソレカラ翌年度迄ノ持越額トシテ十一月一日ノ現在高調査デ分リマシタモノヲ差引イタモノヲ消費額ト見ル外、見方ガ困難デアルト思ヒマス、ソレデ消費額其ノモノヲ適當ニ調査スル方法ガアルカト思ヒマシテ、此ノ三四年間實ハ我々モ役人ノ範圍内ニ於キマシテ調査ヲ繼續致シテ居リマスガ、是ハ役人ダケノ關係ヲ見マシテモ非常ニ困難ナコトデアリマシテ、一般的ニ殆ド格別ニ詳細ニヤルコトハムツカシイと思ヒマス、ソレデ只今ノヤウナ需給ノ情況ヲ出シテ行クヨリ外ハナイト思ツテ居リマス、ソレデ只今モ朝鮮ノ總督府ノ方ニモ伺ツタノデアリマスガ、朝鮮ニ於キマシテモ矢張

リ同様ノ方法ヲ採ツテ居ルト云フコトデアリマシテ、臺灣デモ恐ラク同ジヤウニシテ消費額ト云フモノハ出サナケレバイケナイノデハナイカト思フノデアリマス、併シ此ノ米穀自治管理法案ニ依ル需給ノ推算ヲ致シマス時ニハ、大體此ノ毎年ノサウ云フ風ニシテ出シマシタ現在高ト云フモノト合計スレバ、丁度前年度ノ供給總額ニナルヤウニシタ其ノ消費額ト云フモノヲ見マシテ、ソレガ過去五年或ハ五年ノ内ノ三年ト云フ風ナ所デソレノ見當ヲ付ケマシテ消費量ヲ見積ツテ、ソコデ需給ノ推算ヲスルト云フコトデ、此ノ法律ノ運用ニハ困ラヌヤウニ行クモノデハナイカト思ツテ居リマス、尤モ朝鮮ノ方ニハ前ニハ年度末ノ持越高ト云フヤウナモノハ大體ナイヤウナ情況デゴザイマシタガ、最近數年間ハ或ハ三十萬トカ、五十萬ト云フ持越額ガ出テ來テ居リマスノデ、全ク内地ノ分ト同ニヤウナ計算方法デ是ハ需給ノ方ハヤツテ行ク外仕樣ガナイ、又ソレデヤツタモノデ計算シテ行キマシテ、此ノ法案ノ實行ニハ大ナル差支ハナク行ハレルモノト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、唯見込ダケ申上ゲテ置キマス

○松村眞一郎君 サウ致シマスと云フト、朝鮮ニ付テハ用途調ノ方ノ統計ノ作成ハ是カラ後モヤラナイト云フコトデスカ、内地ニ於テハ兎ニ角、努メテ片方ニ於テ行ハレテ居ラレル、臺灣ニ於テモ行ツテ居ル、朝鮮ハ此ノ消費額ハ此ノ表ニ依ルト八百萬石アル譯デス、八百萬石ノ中ノ五百萬石ダケノ酒ノ調ヲシテ置イテ、其ノ外ニ付テハ消費シナイ、消費ノ調ハシナイ、斯ウ云フノデアリマスガ、ソレニ付テハ昨日モ申シタノデアリマスガ、米ノ消費額ガ如何ニモ推定スルコトガ殆ド不可能ダト思フ、ソレハ此ノ御配付ノ朝鮮ノ米穀要覽ヲ見テ分ルノデアリマス、大正元年ニハ一人當リノ消費額ハ七斗七升二四ト云フコトニナツテ居リマス、七斗七升デアル、ソレガ昭和十年ハ三斗八升三七、斯ウ云フノデス、七斗七升ノモノガ三斗八升三合七勺ト云フノデス、九年ノ方デス、十年ハ三斗八升、九年ハ三斗一升六合トナツテ居ル譯デス、斯ウ云フヤウナ譯デアツテ今度六年ノ方ヲ見ルト五斗二升ニナツテ居ル、前ノ方ガ多イノデ段々少クナルト云フコトデ需給推算ヲスルト、昨日モ申シタノデアリマスガ、朝鮮ハ朝鮮ノ内部分ニ於テ過剩米ヲ作ツテ居ルコトニナルト思フ、サウ云フノデソレハ是デ目分量ヲシテ運用サレルト云フコトハ、ソレハ政府ノ御考デ正確デアアルカトモ思ハレルデアリマ

セウケレドモ、私共ハ之ヲ眺メタノデハ到底
 サウ云フ消費ノ關係ハ或意味ニ於テ非常ナ
 目ノ子算用デアッデ、ソレニ依ッテソレヲ基
 礎トシテ政府ガ運用スルト云フノニハ餘リ
 杜撰ト申シマスカ、何ト申シマスカ、根據
 ノ價值ガナイト私ハ思フ、ソレト同時ニ先
 程塚本サンモ御話ニナッタノデアリマスガ、
 詰リ販賣米ト云フモノハ内地ニ來ル米デス、
 消費米ト云フノハ今ノヤウニ分ラナイ、併
 シナガラ消費米ト販賣米ノ區別ハ一應ナサ
 ル譯デアリマス、後ニ消費節約シタ場合ニ
 販賣米ガ増加スルコトガアッデ、ソレガ市場
 ニ供給スル數量ハ増ス譯デアリマスガ、其
 ノ場合ニハドウナルカト云フトハ當然過
 剩米ト思フノデアリマス、ソレハ著シク増
 加スレバ政府ハ必ズ過剩米トシテ是ハ朝鮮
 ニ於テ増加シタノデアリマスカラ、朝鮮ニ
 於テハ過剩米ハ更ニ倉庫ニ入レルベキ筈
 ダト思フ、其ノ關係ハドウデアリマスカ、
 是ハ明瞭ニ朝鮮ニ於テ過剩ガ生ズル譯デス
 カラ、ソレハ後カラ内地、朝鮮、臺灣ト通
 ジテ更ニ推算スル必要ノナイ明瞭ナコトデ
 アル、初メニ於テ朝鮮カラハ是ダケノモノ
 ガ移出サレ、販賣サレル、是ダケノモノガ
 消費サレルト言ッテ居タ所ガ此ノ在米調ト
 云フモノハ年ニ何度デアリマスガ爲サルノ

デアリマスカラ、其ノ都度分ル譯デアリマス
 カ、サウ云フ場合ニ矢張り過剩米ナンデス、
 塚本サンノ御質問ノ際ニ於テ私ハソレハモウ初
 メカラ明瞭デナイカト思ッテ居ルノデアッデ、
 過剩米トシテ貯藏サレルノハ當然デアル、
 ソレヲ送り出スト云フコトデアレバ、外米
 ノ數量ノ統制ハ出來ナイ、ソレヲ今申シマ
 シタ如ク消費量ハ段々減ル、ソコデ粟ヲ食
 ベテ内地ニ出スト云フコトガ行ハレル譯デ
 ス、臺灣ニ於テモ同様ダラウト思ヒマス、
 サウ云フ狀態デ以テ其ノ自治管理法ナルモ
 ノガ實際適切ニ運用出來ルカドウカト云フ
 コトガ私ハ疑フノデアル、更ニモウ一ツノ
 疑問ハ此ノ過剩數量ガ一極端タ場合ニ、
 其ノ過剩數量ヲ直チニ割當テルト云フノデ
 アルカ、過剩數量ノ中ニマダ一定數量ヲモ
 ウ一遍極メテ、ソレヲ割當テルベキカト云
 フコトニ付テ非常ニ問題ヲ起ス、ソレハ過
 剩數量ト云フモノハ到底協定ハ出來ナイ、
 多クナレバナルダケ外米ノ負擔分量ガ多ク
 ナリマスカラ、ソコデ過剩數量ガ假ニ五百
 萬石デアッデ、ソレヲ割當テル一定數量ハ三
 百萬石ニスルト云フコトデアレバ、ソコデ
 又或種ノ協定ガ茲ニ出來ルト思フ、サウシ
 テ此ノ一定數量ト云フモノガ過剩數量ノ中
 ノ一定數量ト云フヤウナコトニナッテ、非

常ニ小サナモノニナルト、外米統制ヘチット
 モ出來ナイ、恐ラク過剩數量トシテソレハ
 一應出タモノ、ソレヲ直チニ割當テラルベ
 キ筈デアラウト思フ、所ガ法文ハサウデナ
 イノデアッデ、過剩數量ノ範圍内ニ於テ定ム
 ル一定數量ト書イテアル、所ガ第四十一條
 ノ第一項ヲ讀ミマス、其ノ一定數量ト云
 フノハ過剩數量ト云フモノガ出來タ、ソレ
 ヲ直チニ一定數量トシテ、内地、臺灣、朝
 鮮ニ割當テルト云フヤウニモ讀メル、第四
 十一條ハ……其ノ點ガ第四十一條デハサウ
 云フヤウニ思ハレマスケレドモ、其ノ末項
 ニ至ッテハ、第一項ノ一定數量ノ割當ノ割合
 ト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、
 讀ミ方ニ依ルト、過剩數量ノ中ニ更ニ又一
 定數量ヲ作ッテ、内地及朝鮮、臺灣ノ間ノ協
 定ガ出來ナカッタヤウナ場合ニ、兩方デ逆ニ
 考ヘラレル處ガナイカト云フ惧レヲスル、
 ソレハドウ云フコトカト言フト、一定數量
 ノ方ヲ先キ決メテシマフ、過剩數量ト云フ
 ノハ五百萬石カ六百萬石カ議論ガ一致シナ
 イカラ、ソレデ一定數量ヲ四百萬石ト決メ
 レバ、過剩數量ノ範圍内デ、ソレナラバ纏
 マル、所ガ五百萬石カ六百萬石カト云フコ
 トハ議論デアアルカラ、三百萬石ハ過剩數量
 ノ範圍内デアアルカラ議論ハ一定スル、サウ

云フコトヲ官廳内デヤッテ居ルト、實際私ハ
 運用出來ナイト思フ、ソレハ何故斯ウ云フ
 コトヲ言フカト申シマス、ソレハ米穀統
 制法ニ於テ其ノ問題ガ起ッテ居ル、ソレハ統
 制法施行令ノ第十八條ト云フノガアル、統
 制法ノ施行令、其ノ第十八條ニハ斯ウ云フ
 コトガアル、「米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ハ
 内地ニ於テハ農林大臣、朝鮮ニ於テハ朝鮮
 總督、臺灣ニ於テハ臺灣總督、樺太ニ於テ
 ハ樺太廳長官之ヲ行フ」ト云フコトニナッ
 テ居ル、是ハ第十八條ノ二項ニアリマス、
 此ノ「農林大臣ト議シ」ト云フコトガ、是ハ
 元米穀法ノ中ニアッタ、米穀法ノ中ニアッタ
 文字ヲ其ノ儘茲ニ移サレタ、米穀統制法ノ
 中ニ……此ノ「議シ」ト云フコトガ非常ニ問
 題ヲ起シタ文字デアルト云フコトハ、是ハ
 其ノ當時ノ役人ガ皆承知シテ居ル、或ハ現
 農林大臣ハ御承知ナイカモ知レマセヌ、ガ、
 此ノ「議シ」ト書イテアルノハ合議デヤナ
 イ、合議デアルト云フト意見ガ纏マラナイ
 コトガアルカモ知レナイ、議シサヘシテ置
 ケバ宜イ、斯ウ云フ譯デアアル、朝鮮、臺灣
 ハ農林大臣ニ一應、議ヲスルト云フ、サウ

シテ議論ガ纏マラナケレバ、自分ハ勝手ニヤルト斯ウ云フ意味デ「議シ」トナッテ居ル、是ハ驚クベキ規定デ、是ハ外ノ人ガ考ヘタナラバ驚クダラウト思フ、「議シ」ト云フノハ他ノ法律ノ文字ニナイ、合議ス、協議スト云フナラバ、合議デアルト意見ガ一致シナケレバナラス、「議シ」ト云フノハ、議シテサヘ置ケバ後ハ纏マラナクテモ勝手ニヤルンダト云フヤウナ意味ノコトデ、此ノ外米ノ數量ガ決ッテ居ル場合ニ……外米ト云フモノハ極ク數量ノ僅カノモンデアル、サウ云フ場合ニ、今度ノ根柢ヲナス所ノ過剩米ノ數量ノ決定ヲ議シテヤッテ居ッテハトモイカス、是ハ合議シナクチャイカス、此ノ現在ノ外米ニ付テ議シト云フヤウナ意味ノ、内地及外地官廳ノ間ノ意思ノ疏通ナリ相互信頼スルト云フヤウナコトノ程度デアッタナラバ、私ハ此ノ自治管理法ト云フモノハ起ラナイト思フ、ソコデ大臣ハ餘程オ考ヘニナラナケレバ、餘程實施ニ當ッテオ困リニナルダラウト思フ、サウ云フヤウナ場合ニ内地、外地ノ間ノ問題ト云フモノハ非常ナムツカシイ問題デアル、根柢ソレ自身ガ決ッテ居ナイ、今申上ゲタヤウニ需給推算ソレ自身ガ分ラナイ、サウスルト云フト議シタ時ニ分ラナカッタナラバソレ逆ニヤ

ル虞ガアル、纏マラナイヤウニ逆ニ需給推算ヲ作ル虞ガアル、ソレデ益、米穀問題ト云フモノヲ廻ッテノ官廳間ノ官議ト云ヒマスカ、餘程オ考ヘニナラナケレバイカスト云フコトヲコ、デ申上ゲル、速カニ「議シ」ト云フ字ハオ改メニナルガ宜イト思フ、何レニ致シマシテモ、管理法案ノ施行規則ト云フモノガ出來ルノデアラウト思ヒマスガ、其ノ場合ニ「議シ」ト云フ字デ天下ニ行使シタナラバ、是ハ私ハ官廳ノ恥辱ダト思フ、明カニ合議ト云フコトニ爲サレタラ宜イ、私ハ其ノ當時關係シテ居リマシタカラ其ノ當時申上ゲマシタ、ドウシテモ相談ヲ纏メナケレバナラスデヤナイカト云フコトヲ申シテ居リマスガ、閣議デサウ云フコトヲ大臣ガ決メレバ宜イ、能ク權限ノ爭ト云フコトヲ言ウテ世間デ喧シク申シマスケレドモ、事務官ノ事務ニ熱心ノ餘リ兩方デ非常ニ論議ヲ闘ハシテ居ル、是ハ大臣ノ方デ決メラレ、バ其ノ事務官ノ議論ト云フモノハ止マッテシマフ、大臣ガ決メナイカラ事務官ガ議論ヲシテ居ル、議論ヲシテ居ルト云フコトハ大臣ガ決メナイ證據デアル、大臣ガ決メレバ其ノ通り事務官ハヤル、權限ノ相異デハナイ、其ノ事ヲ能クオ考ヘニナッテ米穀管理法ヲ施行スルニ當ッテハ官廳間ノ相互信

頼、相互協調ト云フモノハ十分ヤルノダト云フコトヲ、大臣トシテ茲ニ言明ニナル必要ガアルト私ハ思フ、サウ云フコトハ協調サセルト云フコトヲ明瞭ニ此ノ際私ハ言明シテ戴キタイト思ヒマス

○國務大臣(島田俊雄君) 官廳間ノ積極、消極ノ權限爭議ト云ヒマスガ、交渉案件ニ付テハ松村サンハ非常ニ御經驗ノアルコトデアリマス、私モ短イ間デアリマスケレドモ只今オ話ノヤウナコトニナルコトヲ自分デモ既ニ實驗ヲシテ居リマス、從ヒマシテ只今オ話ノ施行令ニ現レテ居ル「議シ」ト云フヤウナ文字ヲ使ハザルヲ得ザルニ至ッテ居ルヤウナ事情ニ付テハ能ク研究ヲシテ御趣意ニ副フヤウニシタイト考ヘマス

○松村眞一郎君 ソレカラ今ノ關係ニ付テ一ツ御尋ヲ致シタイノハ、昨日モ申シタ如ク内地ニハ過剩米ガナイ、過剩米ハナイノデアッテ、朝鮮、臺灣ノ過剩米ヲ内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテ過剩米トスルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスガ、ソコデ内地ガ非常ニ凶作ノ場合、平生デモ足りナイ、内地ガ非常ニ凶作ノ場合ニ朝鮮、臺灣ハ過剩デアッタ時ニ、内地ハ矢張り過剩米穀アリトシテ倉庫ニ貯藏サセルト云フコトデアルカドウカ、私ハ貯藏サセルノデアルト思フ、

是ハ問題デアルト思フ、内地ガ非常ニ凶作デアル、併シ百分ノ三十五ト云フモノハ内地ガ分擔シテ居ル、其ノ場合デモ過剩米穀アリトシテ、内地ハ倉庫ニ貯藏サセラレルノデアルカドウデアアルカ

○政府委員(荷見安君) 是ハ對策調査會ニ於キマシテモ、其ノ點ガ大分議論ニナリマシタ結果、米穀收穫ノ豐凶等ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ妨ゲズト書キマシタノデ、當時モ内地ハ好クテモ朝鮮ガ惡イトカ、朝鮮ガ好クテモ内地ガ惡イトカ云フヤウナ時ニ、此ノ割當比率デ行ッテハ不都合ガ起リハセヌカト云フノデ、其ノ際ニハ米穀自治管理委員會ニ諮問シテ變更スルコトガイ、ト云フ申合セデ、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、勿論内地ガ非常凶作ト云フヤウナ場合ニハ、十分其ノ點ハ考慮シナケレバイカスト思ッテ居リマス

○塚本清治君 チョット今松村君ノ質問サレタコトニ關聯シテ……

○委員長(子爵片桐貞央君) 宜シウニザイマス

○塚本清治君 松村君ガ今聽カレタ朝鮮デ一旦過剩米ヲ割當テ、而シテ後ニ更ニ販賣米ヲ送り出スト云フヤウナ時ニモウ一遍過剩米ヲ決メルノカ、詰リ二度過剩米ヲ決

メルノカト云フ御質問ガアッテ御答ガナイヤウデスガ……

○政府委員(荷見安君) 御答へ申上ゲマス、只今松村サンカラ御話ノアリマシタヤ

ウニ、朝鮮デハ産額ニ比例致シマシテ消費ガ年々減少スルヤウナ形ニナッテ居ル、之ヲ反對ノ側カラ見マス、朝鮮カラ内地ニ移出スル米穀ガ産額ノ割ニ餘計ニ出テ居ルト云フ點ニナルノデアリマス、其ノ點ヲ考慮致シマシテ、過去十箇年間ニ内地ニ入ル米ノ數量ガ年々激増致シマスル趨勢ヲ算出致シマシテ、サウシテ此ノ三五、四三、二二、ト云フヤウナモノガ決ッテ譯ニナルノデアリマスカラ、只今ノヤウナモノハ大體眼中ニ取入レテ米穀對策調査會ノ時ニモ大層御議論ヲナサッテ御決メニナッタノデゴザイマス、又第一次ノ調整ヲ命ジマシタ後ニ、サウ云フ風ナ譯デ朝鮮ノ方ナリ、或ハ内地ノ方ナリ、何レデモ消費ガ減少致シマシテ過剩米ガ出テ來タト云フヤウナ場合ニハ、其ノ過剩米ガ市場ニダブツクコトニ依ッテ米價ノ最低標準價格ヲ割ルト云フヤウナ場合ニハ、更ニ其ノ時ノ推算ヲ致シマシタ過剩米ニ依リマシテ、一定數量ノ割當ヲスル、斯ウ云フ建前ニナッテ居リマス、ソレカラ先程御尋ニナリマシタ過剩數量ノ中一定數量

ト申シマスノハ、是ハ之ヲ立テマシタ時ノ申合セデハ、大體何百何十何萬石ト云フヤウナモノガ出ル場合ニ、其ノ小サナ數字迄取入レテ割當ヲスルト云フヤウナコトハ、是ハ米ノヤウナ非常ニ大量ナモノノ調節トシテハ、ソレ程ニスル必要モナイコトデアルカラ、大體サウ云フ場合ニハ極ク小サナ數字ノ如キモノハ之ヲ切棄テ、シマッテ見テモ宜カラウト云フノガーツノ話合デゴザイマシタ、又モウ一ツハ過剩米ガ通常ノ計算上デハ出マス、併シナガラ米價ノ標準、最低價格ヨリ一割上デハアリマセヌケレドモ、幾分上ニナッテ居ルノデ、必ズシモ其ノ數量ダケハ統制ヲ命ジナクテモ宜カラウト云フ時ニハ、委員會ニ諮リマシテ、一定ノ程度ノ減額ヲ致シテモ宜クハナイカト云フヤウナ二ツノ點デ、過剩數量ノ中ノ一定數量ト云フモノガ書カレテ居ル譯ニナリマスカラ、
○委員長(子爵片桐貞次君) 先程御要求ニナリマシタ商工大臣ガ見エテ居リマスカラ、商工大臣ニ對スル御質問ヲ願ヒマス
○男爵岩倉道俱君 此ノ米屋ガ産業組合ノ爲ニ生業ヲ奪ハレルト云フコトヲ兎ニ角叫ムデ居リマス、農林省方面カラノ御話ハ承リマシタ、商工大臣トシテハ此ノ問題ニ付テ如何ニ御考ヘニナッテオ出デニナルノデ

アリマスカ、如何ニ御見通シガ付イテ居ルカ、又産業組合ト所謂小賣商トノ間ノ摩擦ヲ起スヤウナコトハナイカト云フヤウナ點ニ付テ十分御説明ヲ承リタイノデアリマス
○國務大臣(小川郷太郎君) 産業組合ト米商トノ利害ノ衝突デ、米商ガ困ルノデハナイカト云フヤウナ御質問ト拜承致シマシタ、是ハ農林大臣カラモ既ニ御答辯ガアッタト思フノデアリマス、米商ガ此ノ産業組合ト必ズシモ相兩立シナイモノデアルトモ考ヘテ居リマセヌ、併シ色々ノ摩擦ガ起ルト云フコトデアレバ、米商ノ方ニハ商業組合ヲ拵ヘサセマシテ、商業組合ニ依リマシテ其ノ米商ノ一人ノ力デ行クヨリハ組合ノ力デ行キ、更ニ組合法ノ運用ニ依リマシテ米商モ立ッテ行クト云フコトガ期待出來ルノデアリマシテ、産業組合ト米商ノ商業組合トガ互ニ兩存シテ行ク、斯ウ云フ建前デ成リ立ツト存ズルノデアリマス、ソレデ既ニ衆議院デモ話モアリマシタノデアリマスガ、産業組合ガ進出シマスニ付キマシテ、違法、脫法トモ認メラレマスルヤウナコトハ農林省ト商工省ト能ク相談ヲ致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ之ヲ監督シテ行ク、ソレカラ更ニ此ノ米商ノ方ノ立場ヲ考ヘマシテハ、丁度衆議院ニ於キマシテノ質問ニ

農林大臣ガ答ヘラレタ中ニモ、其ノ箇條ガ明記セラレテアルノデスガ、例ハバ産業組合ノ白米小賣、其ノ他米穀ノ販賣ニ付キマシテ調整ヲ圖ル、是ガ丁度一番米商ノ惧レテ居ル點ニ觸レテ居ルノデアリマス、今度又米商ガ商業組合ヲ作ッタ方カラ申シマスレバ、其ノ米商ノ商業組合ニ對シマシテ、政府ノ方ノ買入ニ際シマシテ保證金ヲ免除スル、是ハ産業組合ニサウシテ居リマスカラ、米商ノ商業組合ニモ其ノ保證金ヲ免除スル、或ハ整理買換ニ際シマシテ政府米ノ隨時賣却ノ途ヲ開ク、是モ産業組合ト同ジヤウニシテアル、ソレカラ又商業組合ノ倉庫ニ政府米ヲ寄託スル途ヲ置イテアル、ソレヲ産業組合ト同ジヤウナ特典ヲ與ヘル、サウ云フヤウニ致シマスと云フト、米商モ産業組合カラヒドク壓迫サレルト云フ風ニ世間デハ申シマスケレドモ、米商モ相當産業組合トハ相兩立シテ行ケルヤウニナルト思フノデアリマス、是等ハ農林省ト商工省ト申合セマシテ、摩擦ノ起ラヌヤウニシヨウト努メテ居ル箇條デアリマス、尙此ノ趣旨ニ依リマシテサウ云フ問題ニ付キマシテハ農林省ト商工省ト萬事能ク打合セマシテ、世間デ申シマス何ダカ産業組合ト米商ハ兩立セヌモノダト云フ風ニ申シテ居リマスコ

トノ虞ガナイヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 商工大臣ハマダ他ニモ御用ガオアリノヤウデアリマスカラ、商工大臣ニ御質問ガゴザイマスルナラバ此ノ際願ヒタイト思ヒマス

○男爵岩倉道俱君 私ハモウゴザイマセヌ

○松村眞一郎君 私ハ此ノ産業組合ノ方ハ一ツノ系統デ、販賣組合モ購買組合モ一緒ニ兼營シテ居ルモノガ相當ニアリマシテ、サウシテ之ヲ農林省ノ方デ販賣、購買ノ關係ヲ能ク考ヘラレテ、指導サレテ居ルト思フノデアリマスガ、米ニ關スル色々ナ配給機關ノ上ニ於テハサウ一律ニ參ラナイヤウニ思フノデアリマシテ、先程塚本サンカラ小賣商人ハ産業組合ノ進出ニ於テ一方ニ於テ脅サレ、他方ニ於テ百貨店ト云フヤウナ組織ニ於テ脅サレ非常ニ困ッテ居ルト云フ御話ガアッタノデアリマス、其ノ百貨店ノ方カラ侵サレルト云フコトハ、同ジク商業者ノ間ノ壓迫ニナル譯デアリマス、ソレハ産業組合ト商人ト云フコトノ外ニ、商人ノ内部ニ於テ茲ニ問題ガ起ル譯デアリマス、非常ニ私ハ此ノ商人ノ米穀自治管理法ナリ統制法ニ對スル利害關係ハ非常ニ複雑ニナッテ居ルト思フ、産業組合ノ方ハ一ツノ團體トシテ意思

ガソコニ統一シテ居ル、所ガ商人ノ方ハサウデナイ、取引所關係ノ人ハ寧ロ買収ヲ叫ムデ居ルノデハナイカ、寧ロ此ノ法律ノ阻止ト云フコトヨリモ振興シテ方ガ宜イト考ヘテ居ルカモ知レナイ、私ハハッキリシタコトヲ申スノデハアリマセヌガ、問屋ト小賣人トハ利害ガ違フ、只今商工大臣ハ商業組合ト云フヤウナモノヲ作ッテ行クト云フコトノ御話デアリマシタガ、小賣人ガ商業組合ヲ作ル場合ト、問屋ガ商業組合ヲ作ル場合トハ違ッタ現象ガ起ッテ來ル、ソレハ商業組合ノ一ツノ施設トシテ共同購入ト云フモノガアリ、原料ノ共同購入ト云フヤウナモノガアル、米ノ關係カラ申シマスト、共同購入ヲスルト云フコトノ爲ニ却テ困ルコトガ起ッテ來ルト云フ現象ガアル、尋常一樣ノ商業組合ノ指導ノ考デ米ヲ御覽ニナルト云フト、米ノ商人ト云フコトト産業組合トノ關係ノ外ニ又複雑ナ社會問題ヲ起スト思フ、ソレハドウ云フコトカト申シマスト、原料ノ共同購入ヲスレバ安クナルト云フ趣旨デ商工省ハ指導シテ居ラレル、所ガ問屋ガ米ヲ共同購入スルト高クナル、ソコデ問屋ハ其ノ商業組合ガ出來ナイト云フコトノ立場ニ立チ得ルコトニナル虞ガアル、ソコデ小賣商人ガ茲ニ商業組合ヲ作リマスト問屋ハ入ラ

ナイト云フコトニナル、ソシナヤウナ非常ニ複雑シタ關係ガ錯綜シテ商業ノ問題ガ起テ來ルノデアリマスカラ、商業ノ方ノ關係ニ於テハ實ハ議論ガ一致シテ居ナイダラウト思フ、一致シテ居ナイダケニバラ／＼ナ社會問題ガ起ッテ來ル、聲ガ小サイ爲ニ……、先達テ豫算委員會デモ御質問ガアッタヤウデスガ、聲ナキモノニ對シテノ官廳ノ考慮ガ少イト云フヤウナコトガアル、是ハ少數デアリマスガ故ニ聞エナイケレドモ、不條理ハ少數多數ニ關係ガナイノデアリマスカラ、是ハ商工大臣ニ餘程御考ヲ願ハナイト、農業ト商業トノ間ニ團體的ノ纏リガ出來ナイト云フ場合ニ於テ非常ニ氣ノ毒ナ狀態ガ起ッテ來ルト思ヒマス、サウ云フヤウナ關係ヲ考慮シナイト云フト、今日米商人ハ色々シテ行届イタコトヲ御考ヘニナッテ居ルノデアリマセウガ、勿論大臣トシテハ色々御苦心ノ結果、注意周到ニ御考ヘニナッテ居ルコトト思ッテ、深く信頼シテ居リマスケレドモ、サウ云フ狀態ガアルト云フコトヲ御考慮願ッテ、社會問題トシテモ非常ニ重大ダト思フ、統制經濟ノ進ムト同時ニ、片方ニ於テハ、塚本サンノ言ハレタ如ク同ジ商業ノ中ニ大資本ト小サナ商業家ノ中間ニ衝突

ガ起ルト云フ譯デアリマスカラ、十分ニ其ノ邊ハ御考慮ヲ願ッテ、殊ニ此ノ米ノ方ノ問題ハ外ノ問題ト違フ性質ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、米商人ダケガ奮闘シテ居リ、商工會議所ガ別ニ此ノ際ニ於テ意見ヲ發表シナイ狀態デアルコトハ、是ハ或意味ニ於テ非常ニ又孤立シテ居ルカノ如ク聲ガ小サクナッテ居ル觀モアルト思フ、色々ナ複雑シタ關係ガアルノデアリマスカラ、是ハ餘程能ク慎重ニ御考ヘニナッテ居リマセウガ、十分ニ一ツ皆安心シテ仕事ヲシ得ルヤウニ御願ヒシタイ、ソレハ法案ニ對スル誤解ガ相當ニ商人側ニ於テアル、ソシナコトデアリマスカラ、ドウゾ行届クヤウニシテ戴キタイ、私ハ答辯ヲ求メル意味デ言フノデハアリマセヌ、商工大臣トシテ十分御考ヘ願ヒタイ、我々委員ガ之ヲ議スル際ニ於テ、各府縣カラ非常ニ電報トカ手紙トカ葉書ト云フモノガ頻々ト來ル、毎日來ル、訪ネテ來ル人モ澤山アル、私ハソレニ一々面會スル譯ニイキマセヌガ、或人ニハ面會シマス、併シナガラナカ／＼斯ウ云フ問題ニ付テノ取扱振ハ官廳トシテ能ク御考ヘニナラヌト、私ハ主務大臣ニ於テ十分商人ノコトハ考ヘテ居ルト思フ、サウシテ此ノ案ガ通過シテモ商人ニ付テノコトハ懇切ニ考

ヘラレト云フ御考ナリ、其ノ御確信ガアルト思フノデアリマスガ、我々委員トシテ此ノ議事ヲ進行スル上ニ於テノ或安心ガ生ズル譯デアリマスカラ、其ノ點ヲ尙御願ヒスルノデアリマスガ、商工大臣モサウ云フ御考ダラウト思ヒマス

○國務大臣(小川郷太郎君) 松村サンノ只今御話ノ通りニ考ヘテ居リマス、商人ノコトハ懇切ニ考ヘタイト思ッテ居リマス、御意見ハ能ク尊重致シマシテ御趣旨ニ添ヒタイト考ヘテ居リマス

○委員長(子爵片桐貞央君) モウ商工大臣ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ、ソレヂヤ尙農林大臣ガ居ラレマスカラ御質問ヲ御願ヒ致シマス

○子爵立花種忠君 此ノ本法ガ施行サレマスト貯藏ヲ命ゼラレタ所ノ統制米ハ勿論デアリマスガ、一般ノ米穀ニ迄産業組合ガ統制ヲ及ボス虞ハナイデアリマセウカ、ドウカト云フコトヲ承リタイ

○國務大臣(島田俊雄君) 立花子爵ノ只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、是ハ外ノ場合ニ於テ屢、申上ゲマシタヤウニ、左様ナコトハナイト斯ウ考ヘテ居リマス、唯サウ云フヤウナ御質問ノヤウナ意味合ガ出マスルノハ、先刻來屢、問題トナッテ申上ゲ、又御聽キ

ヲ願ッテ居ルヤウニ、此ノ産業組合デ代行致シマス場合ニ、代行機關トシテノ使命ノ外ニ、産業組合ガ販賣組合ト云フ意味ノ働ラスル場合ニ、ソコニ混同ガ起ッテ、サウシテ所謂組合ノヤリ方ガ度ヲ超エル、埒ヲ超エルト云フコトガ起リハシナイカト云フ問題ニ結局歸著スルノデアリマシテ、其ノ點ハ此ノ組合ノ本來ノ何ニ依ッテ……指導監督スルト云フコトニ依ッテ、其ノ弊ニ陷ラナイコトニ注意ラスルト云フコトハ、モウ繰返シテ申上ゲテ居ル通りデアリマスガ、其ノ以外ニ於キマシテ、代行機關トシテ扱フ場合ニ、別段ニ統制以外ノ方面ニ働キ掛ケテ行クト云フコトハ、此ノ法ノ上カラシテ想像出來ナイト云フヤウニ考ヘマス

○子爵立花種忠君 御趣旨ハ先程以來ト今ノ御答辯デ能ク分リマシタガ、斯クノ如ク明瞭ニナッテ居ルナラバ、米商人ガ今日我々ノ所ヘ朝七時半頃カラ大勢詰メテ來ル、又各地方カラ電報ヲ寄越ス、又手紙、葉書等ヲ寄越ス、サウ云フヤウナ騒ギヲシテ、彼等ガ騒ギ廻ル必要ガナイヂヤナイカト思フノデスガ、ドウ云フ譯デサウ云フ政府ノ明瞭ナ御答ヲオ持チニナッテ居リ、又只今ノ御答辯ガアルニ拘ラズ、彼ガ依然トシテ此ノ運動ヲ繼續シテ居リマスガ、是ガ戒嚴令下

デナケレバ大衆の運動ニ移ルノデハナイカト思ヒマス、彼等ノ書イタモノニモ、自分達モ行キタイケレドモ戒嚴令下デアッテ足止メヲ一切サレテ居ルカラ行カレナイカラ電報ヲ打ツトカ、手紙ヲ上ゲルトカ云フノデアリマス、ドウモ私ハ其ノ意味ガ分ラナイノデアリマスガ、斯程迄モハッキリナッテ居ルモノヲ、ドウシテ彼等ガ相變ラズヤキモキト自分等ノ生活權ヲ奪ハレル、先祖傳來ノ云々ト云フコトヲ申スノカ其ノ點ガ私ハハッキリ分ラナイ、何カソコニハ明確ニ彼等ニ分ラナイ點ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、私ハ第二十八條ノ「勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合ノ事業ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀販賣組合ニ於テ之ヲ行フトヲ得」ト云フコトガ、昨日松村サンカラモ仰シヤッタノデアリマスガ、此ノ點ヲ心配シテ居ルノダラウ、ダト仰シヤッタカ、ダラウト仰シヤッタカ、松村サンノ御話ガアリマシタガ、此ノ爲ニ事ガ起ッテ居ルト思ヒマス、ソレニ付テ只今ノ御質問ヲ致シタノデアリマスガ、何ガ故ニ斯クノ如ク大體明瞭ナ御答ガ出來ル情況ニ於テ、相變ラズ運動ヲ繼續スルヤト云フコトガ私ハ分ラナイ、其ノ爲ニ又一方我々ノ所ヘ警官ガ來タリシマスガ、彼等ノ運動ニ付

テ相當ニドノ方面カラ命令ガ出テ居ルカ知リマセヌガ、警官ガ運動ニ付テ阻止ヲシタリ、彼等ガ集ッテ會議ヲシヨウトスレバ警官ガ立會ハナケレバ會合セラレナイト云フコトモ或所カラ聞イテ居リマスガ、事實ハドウカ知リマセヌ、モウ少シ其ノ因ッテ來ル所以ヲ明カニシタイト思ヒマス、只今ノ御說明デ私ハ大體分ッテ居リマスガ、併シ別ニソレハ答ヘルニ及バヌト云フコトナラバ別段伺ハナクテモ宜シイ

○國務大臣(島田俊雄君) 御答トシテ申上ゲルト云フヨリハ、寧ロ此ノ場合ニ私共ノ此ノ事ニ關係シテ居リマス事情ノ上カラ感じテ居リマス事柄ヲ御話シテ御參考ニ供シタイト思フノデゴザイマス、ソレハ貴族院ニ對シテモ衆議院ニ對シテモデアリマスガ、近時問題ニ對シテ陳情或ハ主張ヲシマス場合ニ大衆運動ト云ヒマスガ、斯ウ云フ事ガ非常ニ發達シテ來マシタコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、ソレデ此ノ米ノ問題ニ付キマシテモ、私共ノ所ヘモ役人トナリマス以前ニ、是ガ昨年議會ニ提案サレマシタ時ニモ隨分參リマシタ、自分共ハ之ニ初メカラ多少ヅツ關係シテ參リマシタ建前カラ、只今此處デ申上ゲタヤウナ趣意ノ一部分ヲ申シマシテ、米ノ運動者ニハ自分共ノ

地方ナドカラ來マシタ者ニハ、其ノ趣意ヲ能ク申シマシテ、統制法ノ實行ノ爲ニ取引所ノ機能ハ弱メラレル、又自治管理案ガ出來レバ取引所及取引員ト云フヤウナ者ニ對シテ機能ガ弱メラレル爲ニ、是ハ考慮シナケレバナラスト思フケレドモ、米屋サンニ對シテハ産業組合ノ關係ヲ注意ラスルト云フコトヲ除ケバ、寧ロ便利ニナルト云フヤウナ事情デアル、斯ウ云フ事ヲ能ク話ヲ致シマシテ法文ヲ指摘シテ申シマスレバ、私共ノ所ヘ參リマシタ人達ハ多クソレデ納得シテ行ッテ居ルノスケレドモ、併シ全國ヲ通ジテ米屋サンガ集テ氣勢ヲ揚ゲルト云フヤウナ場合ニナリマス、個々ニ了解シテ居ルコトヲ、サウ云フ風ニ行ハレナイト云フ事情ガアリマスヤウニ考ヘラレルノデアリマシテ、ソコデ唯行掛リニ囚ハレテ行クト云フバカリノ意味デハ、固ヨリナイノデアリマシテ、斯様ナ機會ヲ捉ヘテ其ノ主張ヲ強クシテ置クト云フコトハ、後ノ實施ノ場合ニ於テ又其ノ立場ヲ良クスルト云フ事情ガアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テ必ズシモ惡意ヲ以テ之ヲ見ル譯ニハ、一概ニハ行カナイノデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ色々ナ事情ガアリマシテ、中ニハ斯様な席上ニ於テ申上ゲルコトハ差控ヘタ方ガ

宜シイト云フヤウナ事柄モアルヤウニ考ヘマスガ、ソレ等ノヤウナ事情カラ致シマシテ、米ノ問題ガ稍、今日デハ政治問題トシテ大分深刻ニナリ、其ノ以上深刻ナ度ヲ加ヘムトスルヤウナ傾向ニアリマスノデ、ソコデ前ニ申上ゲマシタヤウニ、兎ニ角此ノ問題ハ直接ニ米屋ニ對シテ害ヲ及ボスト云フコトノ虞ノアル箇條ヲ含マザルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ、サウシテ本案ヲ成立セシメテ、此ノ問題ハ一段落ニスルコトガドウモ國ノ爲ニ最モ宜イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、サウシテ此ノ戒嚴令下ニ於テ云々ト云フコト、是ハ又別ノ事情デアリマスガ、是モ矢張り運動ヲスル方、主張スル方ト致シマシテハ、此ノ問題以外ノ事ニ付テバアリマスガ、矢張り主張ノ場合ニ於テハ、戒嚴令下ニ於テスルカラモットシタイケレドモ運動ガ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ申シマスケレドモ、ソレハ運動スル場合ニハ矢張り或事柄ヲ捉ヘテ、ソレヲ皆自分ノ主張ニ便利ナ方ニ導イテ行クト云フノガ近時ノ大體ノ狀態デ、ソレガ喜ブベキコトデアルカ、悲シムベキコトデアルカト云フコトハ別問題ト致シマシテ、事實運動ガ段々サウ云フ風ニ發達シテ居ルト云フ實情デアリマス、是ハ今日ハ米商ノ問題

トシテバハアリマスケレドモ、他日ハ之ニ反對ヲスル方ノ側ノ運動ガモウサウ云フ形式ニ於テ行ハレルコトガアル、又現ニ又サウ云フコトガアルトス様ニ御考ヲ願ヒマシテ、靜カナ立場ニ於テ御判斷ヲ願ヒマス、デ當局ト致シマシハ決シテ此ノ法律ヲ拵ヘタ爲ニ、現ニ職業ガアル者ガ職ヲ失ヒ窮地ニ陥ルト云フコトヲ、ソレヲ無視シテサウシテ唯法案ノ通過ヲ圖ルト云フ斯様ナ無慈悲ナ考ト言ヒマスカ、不親切ナル考ト云フモノハ決シテ持ッテ居ラナイ、兩立シ得ルヤウナ共存シ得ルヤウニト云フコトヲ主義トシテヤッテ居ル次第デアリマシテ、左様ニ自分共ハ考ヘテ居リマスルノデ、其ノ點タケヲ申上ゲテ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵岩倉道俱君　チョット速記ヲ止メテ戴キタイ

○委員長(子爵片桐貞央君)　チョット速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○委員長(片桐貞央君)　速記ヲ始メテ……

内田君

○内田重成君　此ノ法案ハ昨年ノ春以來衆議院ニ於キマシテモ研究ヲセラレ、爾來一般ニ知レ渡ツタ問題デアリマシテ、相當研究ノ餘地ハアツタノデアリマス、從ツテ是マデ

法案ノ内容竝ニ趣旨ニ付キマシテハ研究ノ餘地モアリマシタ、私ハ昨年ノ衆議院ニ於キマスル委員會ノ速記録竝ニ本年ノ衆議院速記録ヲ拜見ヲ致シマシテ、法案ノ趣旨ニ對シテ質疑應答ノアリマシタ部分ハ大體了承ヲ致シマシタ、重ネテ之ニ付キマシテ御尋ネヲ致シマスルコトハ此ノ際避ケマス、唯大體ノ見透シト致シマシテ、今日斯クノ如キ法案ガ出マスル……此ノ法律ガ制定サレマスルコトハ事情已ムヲ得ザルモノト云フコトニ、結局ニ於キマシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯如何ニモ此ノ法案ノ、立法技術ト申シマスルカ、其ノ上ニ於キマシテハ遺憾ナガラ判然シナイ、解釋上苦シムモノガ相當ニアルヤウデゴザイマス、私ハ此ノ大體ノ趣旨ナドハ最早諒シマシタカラ、此ノ細カイ點ニ付キマシテ、一應政府ノ御解釋ヲ承ツテ置キタイト考ヘルノデアリマス、ソレモ先程松村サンヨリ午前中及ビ昨日以來御尋ネニナリマシタ要點ニ付キマシテハ承リマシテ、私ノ伺ハムト欲スル所ト稍、似タ點ガゴザイマスルノデ、其ノ點ハ矢張り略シテ置キマス、私ハ一箇條毎ニ伺ヒタイト思ヒマス、是ハ只今申ス通り極ク細カイ問題デアリマスノデ其ノ御積リデ簡單デ宜シウゴザイマス、第二條ノ「土地ニ付

權利ヲ有スル者ニシテ米穀ヲ小作料トシテ受クルモノ、誠ニ面白クナイ文字デアリマ

ルガ、ソレハ一律ニサウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマス、如何デスカ

スガはハ米穀ヲ小作料トスルト云フノデア

○政府委員(荷見安君) ソレハ大體之ヲ標準ト致シマシテ組合ヲ認メル、併シ地方ニ

リマスカラシテ、金納ノ小作料ハ含マヌモ

依リマシテハ御話ノヤウニ反當收穫ノ少ナ

ノト解釋シテ宜カラウト思ヒマス、ソレカ

イ所ガゴザイマスルカラ、ソレ等ニ付テハ

ラ此ノ時ニ不在地主ヲ含シテ居ルヤ否ヤ、

例外ヲ認メルト云フ積リニナッテ居リマス

若シ不在地主モ含ムモノトスルナラバ、其

○内田重成君 此ノ米穀自治管理組合ナル

ノ不在地主ノ其ノ地ニ於ケル代理者ガ此ノ

モノハ法人ト云フコトニナッテ居リマスル

組合設立者ニナルモノデアルカ、丁度朝鮮

ガ、是ハ公法人デアルト考ヘテ宜シウゴザ

ニ於ケル舍音ノ如キモノ、之ニ類スル内地

イマス

ノ代理者世話人ト云フヤウナモノガ茲ニ入

○政府委員(荷見安君) 左様デゴザイマス

ルモノデアルカ、若シクハ此ノ不在地主ハ

○内田重成君 此ノ公法人ノ役員ハ、是ハ

全然此ノ中ニハ入ラスモノデアルカ、此ノ

法律ニ所謂公務員ト解釋シテ宜シウゴザイ

コトヲ伺ヒタイ、一箇條ヅ、伺ヒタイと思

マス

ヒマスカラ其ノ積リデ……

○政府委員(荷見安君) 左様デゴザイマス、

金デ貰フ者ハ入リマセヌ、ソレカラ不在地

併シ念ノ爲ニチヨット附加ヘマスルト、ソレ

主モ入ル見込ニナッテ居リマス

等ノ罰則ニ付テハ別ノ規定ガ後ニゴザイマ

○内田重成君 次ニ伺ヒマスノハ政府ノ説

明ノ中ニ、此ノ設立者トシテ見込シテ居ル

者ハ小作一町、自作五反百姓デアルト云フ

種ノ法規ニ於キマシテハ、罰則等ハ刑法ノ罰

コトデアル、此ノ一町トカ五反トカ云フ御

則ヲ皆適用シテ居ル實例ニナッテ居ル、例ヘ

見込ハ、是ハ縣ニ依ッテ非常ニ米ノ收穫ニ違

バ北海道ノ水利土功組合ノ如キモノガソレ

ヒガ生ズルモノデアラウト思フ、例ヘバ内

デアル、然ルニ是ノ公法人ニノミ、公務員

地ト北海道ト云フ如キモノニ依リマシテハ、

ガ罪ヲ犯シタ、犯罪ヲシタト云フ場合ニ、

其ノ間ガ非常ニ差ガアルダラウト思ヒマス

其ノ罰刑法ノ所定ノ罰ヨリ餘程輕クナッ

テ居ル、アレハドウ云フ譯デアリマス

デアリマス、又ハ矢張り政府ノ融通金デ

○政府委員(荷見安君) 是ハ一般刑法ヨリ

是ハ法人ノ所有トナル資金ヲ融通スルモノ

輕ク致シマシタノハ、畜産組合法デアリマ

デアリマスルカ

ストカ、重要物産同業組合法等ノ例ニ依ッテ

○政府委員(荷見安君) 是ハ大體預金部ノ

規定ヲ致シマシタノデス様ニナッテ居リマ

低利資金ノコッチニ融通スルモノニ當テル

ス

積リデアリマシテ、豫定シマシタ數量ノ範

○内田重成君 此ノ公務員ガ、收賄罪ト申

シマス、法律ノ規定ノ、法案ノ豫定シテ

居リマスカ、法律ノ規定ノ、法案ノ豫定シテ

○内田重成君 此ノ資金ヲ法人ガ有シテ居

ウ云フ場合ニ是ガ行ハル、モノト云フ御考

リマスル場合ニ、其ノ權利關係ト申シマス

デゴザイマスルカ、行ハル、場合ノ想像デ

アリマス

○政府委員(荷見安君) ソレハ例ヘバ、偽

是ガ消費サレタト云フヤウナ場合ニ、其ノ

リノコトヲ以テ早く貯藏ヲ解除シテ貰フト

損害ハ何人ガ負擔ヲスルカ、即チ危險ノ負

カ、或ハ不當ニ資金ノ融通ヲシテ貰フトカ

擔ハ是ハドウ云フ風ニナリマス、矢張り

云フヤウナコトガアルカト思ヒマスガ、割

法人ガ危險ノ負擔ヲスルノデスカ

當ノ時ニ當然モット餘計割當デナケレバナ

○政府委員(荷見安君) 法人ガ危險ノ負擔

ヲスルコトニナルト思ヒマス、唯資金ヲ融

通シマス時ニハ、割當ガ決定致シマシテ、

給ヲ餘計ニシテ貰ヒマシタリト云フヤウナ

直接之ヲ寄託致シマシタモノニ、融通スル

爲ニ、サウ云フヤウナコトガ有リ得ルカト

必要ガアツタ場合ニ、參ルコトト思ヒマス

考ヘルノデアリマスガ、其ノ他ニ色々場合

モアラウト思ヒマス

○内田重成君 統制組合ハ資金ノ融通ヲ爲

シ、サウスルト組合員ニ資金ノ融通ヲ爲ス

爲ニハ、相當ノ資金ヲ要セナクテハナラス、

○内田重成君 ドウモ此ノ低利資金ヲ融通

シ、サウスルト組合員ニ資金ノ融通ヲ爲ス

シテ貰フ爲ニハ相當時間ヲ要スルコトト思

其ノ資金ノ出所ハ組合員ノ釀出ニナルモノ

フノデアリマス、ソレガ、組合員ガ資金ヲ

要スル場合ト云フモノハサウ悠長ナモノデ
ハナイト思ヒマス、豫メ組合ガ資金ヲ抱ヘ
テ居ラヌト云フト、組合員ノ要求ニハ應ゼ
ラレナイ、從ツテ組合員ト云フモノガ、強制
保管ヲ命ゼラレタ場合ニ頗ル不自由ヲスル
結果ニナリヤシマスマイカ

○政府委員(荷見安君) ソレハ豫メ低利資
金ノ決議ハシテアルノデアリマスカラ、是
ガ割當ガ決ルト云フコトニナレバ、同時ニ
各府縣ノ割當ガ決リ、ソレニ應ジテ各府縣
ニ早速資金ガ供給ガ出來マスシ、府縣デ町
村ニ割當デレバ、町村ノ組合ニ又割當ガ出
來ル譯ニナリマスカラ、丁度割當ガ進行シ
テ參リマスノト、資金ノ團體ニ參リマスノ
ト、同ジ程度ニ行クモノト思ヒマスカラ、
大シタ不都合ナク參ルモノト考ヘテ居リマ
ス

○内田重成君 兎ニ角、資金ト云フ相當多
額ナ金ノ取扱ヲスルノデアリマスカラ、此
ノ統制組合ノ組合長デアルトカ、副組合長
デアルトカ、サウ云フヤウナ資金ノ取扱ヲ
スル者ノ監督ト云フモノハ非常ニ重要ナモ
ノデアルト思フ、茲ニ大ナル弊害ガ生ズル
虞ガアリハシナイカト思フノデアリマス
ガ、其ノ監督ハドウ云フ風ニナサル御見込
デアリマスカ

○政府委員(荷見安君) ソレハ從來ノ關係
者モ監督致シマスシ、今度ハ地方ニ補助金
ヲ出シマシテ、ソコデ主任官ヲ府縣毎ニ置
キマシテ、ソレ等ノ力ニ依ッテ十分監督ヲ徹
底スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○内田重成君 此ノ保管米ノ危險負擔ハ何
人ガ負擔ヲシマスルカ、例ヘバ保管中ニ火
事ニ遭ヒマシタトカ、泥棒ニ遭ヒマシタト
カ云フヤウナ時ノ負擔ト云フモノハ、何人
ガ之ヲ負擔スルノデアリマスカ、詰リ強制
的ニ組合員ハ組合ニ加入ヲスルコトヲ命ゼ
ラレテ、サウシテ之ニ強制保管ヲ命ゼラレ
タ譯デアリマス、依ッテ其ノ間ニ生ズル危險
ト云フモノハ、何人ノ負擔ニナルカト云フ
コトヲ伺ヒタイ

○政府委員(荷見安君) ソレハ寄託致シマ
シタ所有者ノ負擔ニナル譯デゴザイマス、
只火災等ニ付キマシテハ保險ヲ附シマス
カ、其ノ他品質ノ目減リト云フヤウナモノ
ニハ低利資金ヲ交付致シマスヤウナコトヲ
致シマシテ、斯カル危險ノ出ナイヤウニ手
ヲ盡ス積リデアリマス

○内田重成君 産業組合ハ之ヲ公法人ト御
考ニナリマスカ、又ハ私法人ト御考ニナリ
マスカ、是ハ若シ私法人ト云フ御考デア
ラバ、公法人ノ行爲ヲ私法人ニ代行セシ

ムルト云フヤウナ例ガ當ツテ法制ニアリマ
シタドウカ、私ガ調べマシタ所デハドウモ
見當リマセヌガ、サウ云フ何カ實例ガアリ
マシタラウカ、又此ノ産業組合ハ公法人ト御
考ニナルナレバ其ノ根據ハドウ云フ根據デ
アリマスカ

○政府委員(荷見安君) 産業組合ハ是ハ私
法人ト考ヘテ居リマス、只農村ノ實情カラ
致シマシテ特ニ内地ニ於テハ米穀ノ取扱販
賣組合ナドガ相當發達致シテ居リマスカラ、
此ノ仕事ヲ、公法人ノ仕事デハゴザイマス
ガ特別ノ規定ヲ設ケマシテ産業組合ニ代行
セシメル、或ハ農會ニ代行セシメルコトガ
適當ダト考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、其
ノ爲ニ強制加入ノ無イ點ニ付テハ、團體員
外ニ寄託者ガ出タソレニ對シテモ、此ノ仕
事ニ付テハ強制ヲ及ボスコトガ出來ルヤウ
ナ規定ヲ作リマシタ、ソレニ依ッテヤル積リ
デアリマス、前例ニ付キマシテハチヨット
只今……

○内田重成君 産業組合中央會ハ産業組合
ニ模範定款ト云フモノヲ與ヘテ居ルノデア
リマスガ、其ノ模範定款ノ中ニハ隨分嚴格
ナ規定ガアリマスルノデ、是迄産業組合ノ
中ニ加入シテ居ラスモノモ此ノ統制法ノ爲
ニ加入ヲ命ゼラレルコトニナリマスカラ、

サウスルト其ノ模範定款ノ爲ニヒドク拘束
ヲ受ケルト云フ實情ニナルンデヤナイカト
思ヒマス、此ノ點ガ矢張り米穀商アタリノ
人ニ恐レラレテ居ル點ノヤウデアリマスガ、
將來モ模範定款ナルモノハ矢張り政府トシ
テハ御認メニナツテ、サウ云フ定款ヲ中央組
合カラ示スコトヲ御許シニナル御見込デア
リマスカ、否ヤラ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 此ノ第二十九條
ニ、米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ハ行政
官廳ノ許可ヲ受ケ團體員ニ非ズシテ其ノ區
域内ニ於テ米穀統制組合ノ組合タル資格ヲ
有スル者ニ對シ、團體員ニ準ジテ統制組合
ノ行ヒマス仕事ダケハ行ハセルコトニ書イ
テ置キマシタノハ、加入ヲ強制致サナイデ
濟マセル積リデ出來テ居リス

○内田重成君 販賣組合ガ代行シマス場合
ニ、販賣組合ノ事業ト、此ノ統制組合ノ事
業ト、茲ニ頗ル混淆ヲスル虞ガアルノデア
リマス、其ノ仕事ノ區分ニ付キマシテ、嚴
格ナル區分ガ出來ル御豫定ガアリマスカ

○政府委員(荷見安君) 是ハ別個ノ會計ノ
ヤウニ致シマシテ、區別ヲサシテ取扱ハサ
セタイト思ッテ居リマス

○内田重成君 私ハサウ云フ細カイ問題ヲ
申上ゲルト幾ツモゴザイマスガ、餘リ恐縮

デゴザイマスカラ此ノ位ノ程度ニ止メテ置キマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 如何デゴザイマスカ、今日ハモウ時間モ經過致シマシタカラ此ノ程度ニ止メテ置イテ明日十時カラ開キタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵片桐貞央君) デハ明日十時カラ開クコトニ致シマシテ今日ハ是デ散會致シマス

午後六時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵片桐 貞央君
副委員長 男爵高木 喜寛君
委員 公爵島津 忠承君
侯爵細川 護立君
伯爵有馬 頼寧君
關屋貞三郎君
子爵前田 利定君
子爵新庄 直知君
子爵立花 種忠君
子爵米倉 昌達君
松村眞一郎君
内田 重成君
塚本 清治君

國務大臣

男爵岩倉 道俱君
男爵本多 政樹君
男爵足立 豐君
男爵長 基連君
有賀 光豐君
各務 鎌吉君
中村圓一郎君
石川 三郎君
上松 泰造君
小林嘉平治君
山本 米三君
絲原武太郎君
大西虎之介君

農林大臣 島田 俊雄君

商工大臣 小川郷太郎君

政府委員

農林省米穀局長 荷見 安君

拓務省殖産局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君